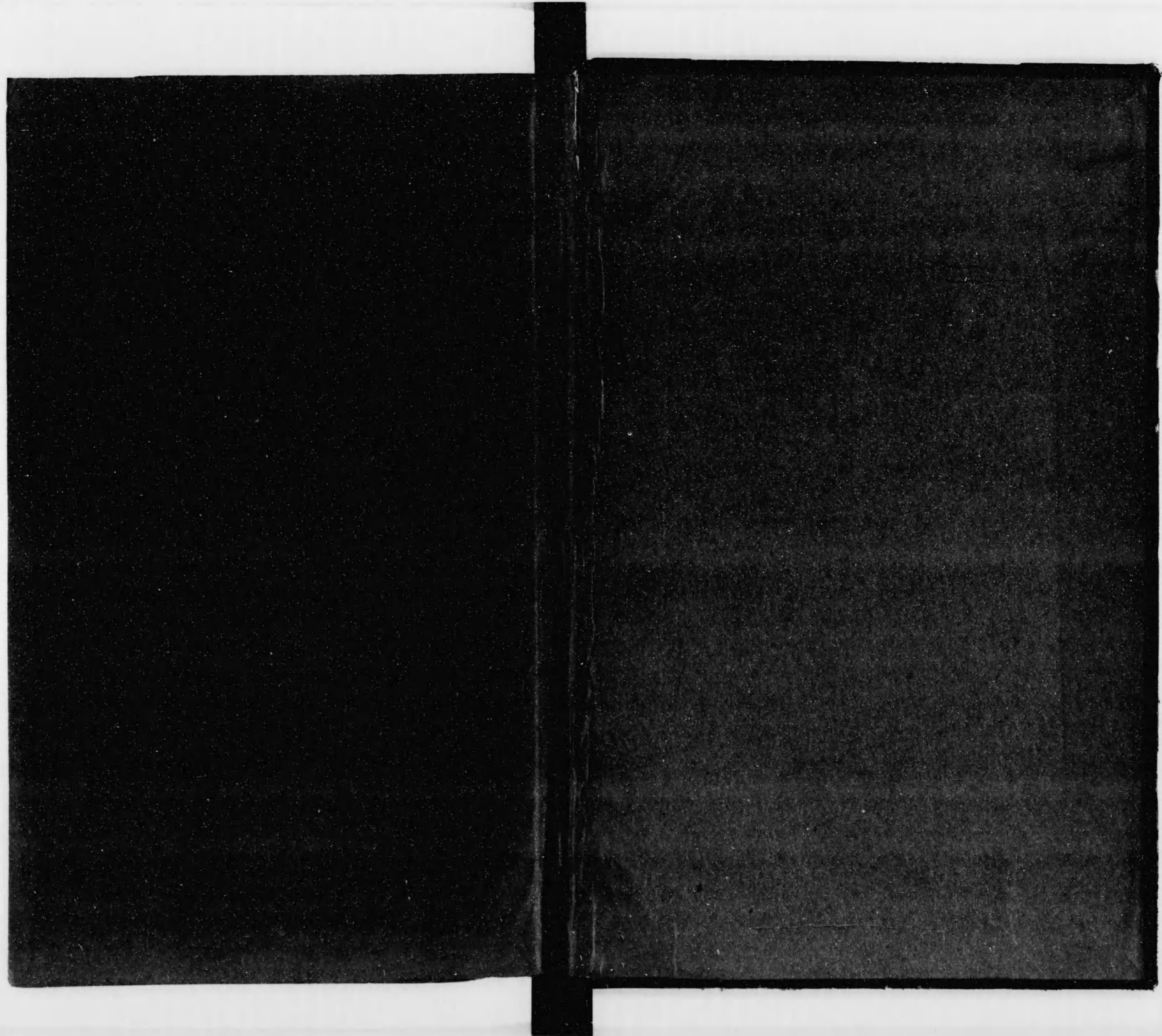


578
79



始





兵庫縣米穀検査満十五年記念誌



上幕府領所領石高「一、五〇〇」ハ「二、七四四」ノ誤



武庫郡領主名欄「古井大炊頭」ハ「土井」ノ誤



加西郡領主名欄「土井大炊頭」ハ「忠興」ノ誤



有馬郡領主名欄櫻井遠江守「中興」ハ「忠興」ノ誤

正○ 誤●

第五頁 武庫郡領主名欄「古井大炊頭」ハ「土井」ノ誤
 第七頁 郡市欄川邊郡ノ前ニ「尼崎市」ノ三字ヲ入ル
 第十五頁 有馬郡領主名欄櫻井遠江守「中興」ハ「忠興」ノ誤
 第廿七頁 加西郡領主名欄土井大炊頭「忠興」ハ「利興」ノ誤
 第三十一頁 飾磨郡一ツ橋領所領石高「三、〇六〇」ハ「二、七四六」ノ誤
 全頁 上幕府領所領石高「一、五〇〇」ハ「二、七四四」ノ誤
 第四十三頁 安栗郡幕府領生野代官所ノ下所領石高「七、九八二」ヲ入ル



下關郡太長野清 事知縣庫兵前



下關三一部服 事知縣庫兵前



下關郡一巳原折 事知縣庫兵



下關一忠吉有 事知縣庫兵前

第五 武庫所
第七 武庫所
第十 武庫所
第十一 武庫所
第十二 武庫所
第十三 武庫所
第十四 武庫所
第十五 武庫所
第十六 武庫所
第十七 武庫所
第十八 武庫所
第十九 武庫所
第二十 武庫所
第二十一 武庫所
第二十二 武庫所
第二十三 武庫所
第二十四 武庫所
第二十五 武庫所
第二十六 武庫所
第二十七 武庫所
第二十八 武庫所
第二十九 武庫所
第三十 武庫所
第三十一 武庫所
第三十二 武庫所
第三十三 武庫所
第三十四 武庫所
第三十五 武庫所
第三十六 武庫所
第三十七 武庫所
第三十八 武庫所
第三十九 武庫所
第四十 武庫所
第四十一 武庫所
第四十二 武庫所
第四十三 武庫所
第四十四 武庫所
第四十五 武庫所
第四十六 武庫所
第四十七 武庫所
第四十八 武庫所
第四十九 武庫所
第五十 武庫所



氏千瀧前 長所查檢穀米縣庫兵前



氏太庫上井 長所查檢穀米縣庫兵前故



氏一寛澤三 長所查檢物穀縣庫兵



氏貞島長 長所查檢穀米縣庫兵前

578-79

緒言

回顧スレバ本縣ニ於ケル米穀検査ハ明治四十一年實施後ノ本年ハ滿十五週年ニ相當スルニ至レリ其ノ間ニ於ケル検査事業ハ幸ニ官民一致ノ協力ニ依リ頗ル順調ニ進展シ良好ナル成績ヲ收メ初期ノ目的ヲ達スルヲ得タルハ縣民ノ一齊ニ祝福ス所ナリトス茲ニ於テ我縣農會、神戸米穀肥料市場、神戸取引所、日本米穀會兵庫縣支部ノ四團體發企トナリテ米穀検査施行滿十五週年祝賀會ヲ開催シ之ヲ記念スルト同時ニ功勞者ニ感謝ノ意ヲ表シ一面此間逝去セシ關係職員ノ追悼會ヲ營ム等ノ計劃ヲ進メラレシガ斯業斯界ノ有志多數ノ協賛セラル、處トナ

大正
12.12.20
内交

リ祝賀會ノ舉行ハ忽ニシテ成立スルニ至レリ因テ之ガ記念トシテ本縣産米ノ改良、検査等ノ成績或ハ全縣下ニ亘ル藩政時代ニ於ケル貢米制度ノ歴史其ノ他米ニ關スル記録諸統計等ヲ蒐メテ之ヲ編纂シ名ケテ兵庫縣米穀検査滿十五週年記念誌トシ之ヲ頒チテ參考ニ供スルコトトセリ

大正十二年十月

編者識

兵庫縣米穀検査滿十五週年記念誌目次

◎卷頭寫眞版

前兵庫縣知事 服部 一三閣下
前兵庫縣知事 清野長太郎閣下
前兵庫縣知事 有吉 忠一閣下
兵庫縣知事 折原巳一郎閣下
故前兵庫縣米穀検査所長 井上庫太氏
前兵庫縣米穀検査所長 前瀧千仞氏
前兵庫縣米穀検査所長 長島 貞氏
兵庫縣穀物検査所長 三澤寬一氏

◎兵庫縣米穀検査所出張所^{派出所}一覽圖

一、本縣産米ノ概要

- (1) 地勢……………一
- (2) 藩政時代ノ管轄區域及米納制度……………二
- (3) 本縣産米改良ノ沿革……………七五

二、米穀檢查

(1)	米穀檢查規則	七七
(2)	兵庫縣告諭	八四
(3)	兵庫縣訓令	八五
(4)	米穀檢查施行手續	八六
(5)	穀物檢查所職制	八九
(6)	穀物檢查所處務規程	九〇
(7)	米穀移出檢查手數料徵收規定	一〇一
(8)	米穀移出檢查手數料徵收手續	一〇二
(9)	米穀檢查所、同出張所、詰所、名稱、位置及所轄區域	一〇五

三、米穀檢查規則中改正

(1)	米穀檢查規則中改正	一一八
(2)	穀物檢查所、同出張所、名稱、位置及所轄區域中改正	一一八

四、米穀檢查事業ノ成績

(3)	移出檢查員派出所、同詰所、名稱、位置中改正	一一九
(4)	米穀檢查施行手續改正	一二二
(5)	米穀移出檢查料徵收規程中改正	一二二
(6)	米穀移出檢查料徵收手續中改正	一二三
(7)	穀物檢查所職制改正	一二三
(8)	穀物檢查所處務規程中改正	一二三
(9)	米穀輸出檢查員被服給與規則	一二四

四、米穀檢查事業ノ成績

(1)	米作付反別、收穫高、年別表	一二六
(2)	郡別米穀生產檢查俵數年別表	一二七
(3)	郡別米穀移出檢查俵數年別表	一三二
(4)	玄米等級種類別移出檢查俵數年別表	一三六
(5)	精米等級種類別移出檢查俵數年別表	一三七

(6)	仕向地別米穀移出検査俵數年別表	一三八
(7)	產地別移輸入米俵數年別表	一四〇
(8)	神戸米穀肥料市場米價平均相場年別表	一四一
(9)	俵米、小作米、刺米品評會開催年別表	一四二
(10)	俵米共同販賣俵數年別表	一四三
(11)	穀蟲驅除成績調査年別表	一四四
(12)	酒造米俵數價格調査年別表	一四四
(13)	農業倉庫入庫米移出検査俵數年別表	一四六
五、神戸米穀肥料市場ノ概要		
	一四七	
六、神戸米穀株式取引所ノ概要		
	一四九	
七、雜件		
(1)	米穀貯藏試験成績	一五〇
(2)	稻種類別作付反別並一反歩收穫高調査表	一七三

(3)	自明治十一年至大正十一年 全國人口及米穀收穫高、貨幣流通高ト米價平均價格表	一八四
(4)	米穀検査施行歴代知事	一八五
(5)	職員異動	一八五
(6)	勤績滿十五年以上職員氏名	二〇三
(7)	十五ヶ年間ニ於ケル死亡職員	二〇七
(8)	現在職員	二一一

目次一終

兵庫縣穀物検査滿十五週年記念誌

一、本縣産米ノ概要

(1) 地勢

本縣ハ四道五ヶ國ニ跨リ氣候風土人情ノ異ナルコト全國ニ其比ヲ見ザル處ニシテ其位置西ハ經度ノ百三十四度十七分(佐用郡四庄村ノ内西大島)ニ起リ東ハ百三十五度二十八分(川邊郡東谷村ノ内黒川)ニ終リ南ハ緯度二十四度十二分(淡路三原郡灘村ノ内潮崎)ニ始マリ北ハ三十四度四十分(城崎郡餘部村ノ内餘部)ニ終リ南方大洋ニ面シ北方日本海ニ瀕シ東北ハ大阪府ト京都府ニ界シ西ハ岡山縣ト鳥取縣ニ接シ面積五百二十八方里〇七ニシテ四市二十五郡ヲ包容ス

- | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 攝津國 | 二市 | 神戸市 | 尼ヶ崎市 | | | | | |
| | 三郡 | 武庫郡 | 川邊郡 | 有馬郡 | | | | |
| 播磨國一圓 | 二市 | 姫路市 | 明石市 | | | | | |
| | 十三郡 | 明石郡 | 美囊郡 | 加東郡 | 多可郡 | 加西郡 | 加古郡 | 印南郡 |
| | | 飾磨郡 | 神崎郡 | 揖保郡 | 赤穂郡 | 佐用郡 | 宍粟郡 | |
| 但馬國一圓 | 五郡 | 城崎郡 | 出石郡 | 養父郡 | 朝來郡 | 美方郡 | | |
| 丹波國二郡 | | 氷上郡 | 多紀郡 | | | | | |

淡路國一圓二郡 津名郡 三原郡
 (2) 藩政當時以來ノ管轄區域及貢米制度ニ關スル事項

戸		神	
藩	領	幕	府
尼崎	遠江守	幕府	幕府
忠興	櫻井	所官代町	大坂
三五	井	二、六二四	七
阪本村	生田宮村	北野村、中宮村、花熊村、荒田村、奥平野村ノ内一部、石井村、夢野村、鳥原村、駒ヶ林村、西尻池村、兵庫ノ津、同地子、今和川新田、立會新田、(兵庫地方石井村、荒田村、鳥原村)元須磨町ノ内白川村、車村、妙法寺村、西須磨村、東須磨村、大手村、板宿村、西代村、	
四斗二升	五斗二升	五斗二升	
乾燥調製ハ殆ド各領主大差ナシ	乾燥調製ニ對シ規定ナキモ刈取リタル稻ヲ稻木ニ架ケ振落シタル後ヨリ乾燥シタル上唐臼ニ掛ケ唐箕撰チナシ	乾燥調製ニ對シ規定ナキモ刈取リタル稻ヲ稻木ニ架ケ振落シタル後ヨリ乾燥シタル上唐臼ニ掛ケ唐箕撰チナシ	
口米五升	口米五升	口米ハ五升	
役人立會檢査ヲ受ケ納付シ入札ニテ賣却シテ買受人宅マテ入	役人立會檢査ヲ受ケ納付シ入札ニテ賣却シテ買受人宅マテ入	役人立會檢査ヲ受ケ納付シ入札ニテ賣却シテ買受人宅マテ入	
明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	

市					古川藩		淺尾藩		旗元	
全	全	全	全	全	利興	大炊頭	土井	蔦田	相摸守	廣孝
兵九郎	鈴木	長谷川	島山	片桐	三三〇	三七三	一、〇二六	池田村	多井畑村	宇治野村
四八〇	三七二	六〇一	五五	三三〇	四斗二升	五斗二升	四斗	四斗	四斗	四斗
西尻池村ノ内	野田村	奥平野村ノ内一部	北野村	池田村	全上	全上	全上	口米四升	口米五升	口米五升
四斗全上	四斗全上	四斗全上	四斗全上	四斗全上	全上	全上	全上	口米四升	口米五升	口米五升
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	口米四升	口米五升	口米五升
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	口米四升	口米五升	口米五升
明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入	明治元年五月廿三日兵庫縣ニ編入

庫		
古川藩	篠山藩	遠江藩
古井 大炊頭 利興	青山 左京夫 太敏	遠江 守忠 興
三三九	二九五	一五、九六二
山田村ノ内東下、	甲東村ノ内神呪寺 鳴尾村ノ内上田	松、東武庫、生津、友行、 瓦木村ノ内下瓦林、上瓦 林、荒木、助兵衛、高木、 頁元村ノ内藏人、伊子子、 小林、鹿嶋、甲東村ノ内 上新田段上、大社村ノ内 廣田、精道村ノ内津知、三 條、本庄村ノ内西青木、 本山村ノ内野寄、岡本、 田邊、北畑、小畑、小路、 森、中野、御影村ノ内郡 家、六甲村ノ内高羽、都 賀、八幡、平野
五斗二升 五合	五斗二升 五合	四斗二升
全上	全上	全上 乾燥調製
全上	二重俵仕立ハ全 上 口米五升	ノハ稍見劣リス ルモノナリシト 又頁元村ノ内小 林鹿嶋ハ一重俵 三ヶ所横繩ヲ掛 ケ搬出シタルモ ノナリ 口米四升
全上	藩役人村役人ノ 立會検査ヲ受ケ 納付シ之ヲ入札 ニテ賣却シテ商 人ノ宅ハ百姓之 ヲ運搬シ殆ド金 納ニ等シ	ニ保管スルモノ トノ町村及數量 ヲ指定シ之ニ依 テ納入スルモノ ナルカ藩庫ニ納 ムルモノハ庄屋 村役人付添尼ケ 崎藩へ出頭役人 ノ検査ヲ受ケ納 付セリ庄屋ニ保 管ノ米ハ藩命ニ テ賣却セントキ ハ百姓ハ買受人 宅迄運搬セシモ ノナリ。
明治四年七月十 四日古川縣トナ リ全年十一月廿 日兵庫縣ニ編入	明治四年七月十 四日篠山縣トナ リ全年十一月十 五日兵庫縣ニ編 入	明治四年七月十 四日尼ヶ崎縣ト ナリ全年十一月 廿日兵庫縣ニ編 入

武	
幕府	領
大阪 谷町 代官 所預	尼櫻 井
一八、〇九八	
四宮町、魚崎村、住吉村 ノ全部、鳴尾村ノ内鳴尾、 甲東村ノ内神呪寺、上原 新田、大社村ノ内越水、越 水岩、杏見、鷺等、精道 村ノ内芦屋、打出、木庄 村ノ内東青木、深江、本 山村ノ内田中、中野、御 影村ノ内御影、東明、六 甲村ノ内德井、篠原、西 郷町ノ内大石、新在家、西 灘村ノ内森、味泥、五毛、 上野、原田、岩屋、河原、 鷺濱、稗田、山田村ノ内 東小部上谷山、下谷山、原 野、中、東下、坂本、小 河、	今津町ノ内津門、鳴尾村 ノ内小松、小曾根、大庄 村ノ内東、西、道意、又 兵衛、今北、芋、東今北、 濱田、東大島、西大島、武 庫村ノ内西尾陽、常松、 常石、時友、武庫、西宮
五斗二升 五合	
全上 乾燥調製	
四ヶ所編ニ二重 俵、内俵ハ三ヶ 所外俵ハ五ヶ所 横繩ヲ掛ケ縦繩 ハ四方掛ケノ上 庄屋年寄樹取ノ 姓名ヲ記シタル 中札ヲ挿入シ外 俵ニ約八寸位ノ 長サニ生産者ノ 氏名ヲ記シタル 竹ノ札ヲ付ケタ リ 口米五升	俵裝仕立方ハ全 上ナルモ藩庫へ 直納ノモノハ嚴 重ニ仕立タルモ 大庄屋又ハ庄屋 ニ保管セシメ商 人ニ賣却スルモ ムルモノト庄屋
代官所及ビ庄屋 ノ命令ニヨリ部 落毎ニ收集シ役 人ノ検査ヲ受ケ 不長ノモノハ再 調一度部落倉庫 ニ納入シ或ル時 ニ代官ノ命ニヨ リ大阪難波ノ倉 庫京都二條ノ城 又ハ江戸等ニ海 路輸送セリ指定 ノ港へ運搬ハ生 産者ノ負擔ナリ	尼ヶ崎へ直納ノ モノト庄屋ノ内 ニ納メ置キ商人 ニ賣却スルモノ トアリ藩ハ年々 ニ保管スルモノ トナリ。
明治元年五月廿 三日兵庫縣ニ編 入明治四年六月 尼ヶ崎藩ニ編入 全年七月十四日 尼ヶ崎縣ニ改稱 全年十一月二十 日兵庫縣ニ編入	明治四年七月十 四日尼ヶ崎縣ト ナリ全年十一月 廿日兵庫縣ニ編 入

郡

全	全	全	全	全	全	旗元	御仙洞	領府幕
平野 九右衛門	青藤藏	青丹後守	青登庸山	青美濃守	青三之助	石美濃守		名古屋藩預
一九二	五〇三	九〇二	一九一	六八三	一、〇五四	二〇〇	三四一	三三二
甲東村ノ内神呪寺	大社村ノ内中 瓦木村ノ内高木	甲東村ノ内下太市樋口 大社村ノ内中	瓦木村ノ内中新田	大社村ノ内中 瓦木村ノ内高木	甲東村ノ内上太市 芝村、大社村ノ内中	六甲村ノ内八幡	山田村ノ内西小部	甲東村ノ内門戸 瓦木村ノ内瓦林
四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	全上	全上	口米四升 俵裝仕立全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
明治元年五月 廿三日兵庫縣 ニ編入							明治二年正月十 五日兵庫縣ニ編 入	明治四年七月十 四日名古屋縣トナ リ全年十一月廿 日兵庫縣ニ編入

川

幕	藩崎ケ尼	全	全	全	全
	興忠守江遠井櫻	佐藤 三左衛門	長谷川 三左衛門	宮崎七 郎右衛門	伏新之介 屋
		七二	一六九	五五三	三七九
東谷村、中谷村、六瀬村 一圓、西谷村ノ内大原野、 長谷、芝辻新田、上佐曾	尼ヶ崎市全部 小田村ノ内久々知、神崎、 西川、長洲、杭瀬、槐ヶ 島、西長洲、今福、額田、 立花村ノ内塚口、東富松、 尾濱、反田、上ノ島、大 西、栗山、水堂、高松、 長尾村ノ内鴻池、荒牧、 萩野、稻野村ノ内野間、 南野、山田、岡田村ノ内 御園	武庫村ノ内西武庫、常石、 守部	武庫村ノ内友行	山田村ノ内藍那	山田村ノ内原野
		四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升
		全上	全上	全上	全上
		全上	全上	全上	全上
全上ナルモ泥除 クト稱シ二重ノ 上ニ蓋ヲ卷キシ	口米五升	全上	全上	全上	全上
庄屋其他町村役 人立會檢査ヲ行 ヒ材ノ郷倉ニ納	諸役人ノ立會檢 査ヲ受ケ藩倉ニ 納ムルヲ常トシ 時ニヨリ郷倉ニ テ賣却スルコト アリ其際買受人 宅へ搬入スルコ トアリ百姓ノ負 擔トス	全上	全上	全上	全上
買米納付セシ殘 餘ヲ小作四步地 主六步ニ分配セ	地主小作ノ分配 ハ全上 明治四年七月十 四日尼ヶ崎縣ト 稱シ全年十一月 廿日兵庫縣ニ編 入				

邊

藩 田 麻	小泉藩	領 橋 ツ 一
重 少 民 青 義 輔 部 木	貞 主 片 篤 膳 正 桐	榮 茂 言 納 大
一、二九七	二〇〇	五、七五七
伊丹町ノ内北村大鹿 西谷村ノ内波豆	小濱村ノ内米谷	長尾村ノ内山本、平井、 中山寺、多田村ノ内満願 寺、矢間、柳谷、東多田、 小濱村ノ内小濱、安倉、 川西村ノ内榮根、加茂、 小花、小戸、出在家、瀧 山、萩原、火打、寺畑、
四斗一升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全 上	乾燥調製普通	乾燥ハ全上ナル モ調製ハ他領ニ 比シ一層嚴重ナ リシト云フ
口米三升 俵裝普通	口米五升 俵裝全上	口米五升 俵裝全上
波豆ハ長尾村平 井次ニ北村大鹿 ハ村ノ郷倉ニ納 メ藩役人出張 却シ買受人ノ内 へ遠近テ間ハズ 領民無賃運搬セ リ	貢米ハ藩役出張 賣却シテ金ヲ持 歸レリ	村ノ郷倉ニ納メ 領主ヨリ値段ヲ 通知シ來ルヲ待 チ賣却、金納ト セリ若シ賣却値 段ガ指定値段ニ 達セザル時ハ領 民ヨリ其不足ヲ 補添シテ納メタ ルモノナリ
明治四年七月十 四日麻田縣ト稱 シ全年十一月廿 日兵庫縣ニ編入 セリ	明治四年七月十 四日小泉縣ト稱 シ全年十一月廿 日兵庫縣ニ編入	明治元年三月三 日尼ヶ崎藩預リ 全年五月廿四日 一ツ橋藩ト稱シ 明治四年十一月 廿日兵庫縣ニ編 入

領 安 田	領 衛 近	領 府
賴 慶 言 納 中	公 卿	領 藩 槻 高
一、二七〇	一、〇二九	一五、五〇九
神津村ノ内中村 團田村ノ内猪名子 小濱村ノ内安倉	伊丹町ノ内伊丹 團田村ノ内御園	利、下佐曾利、香合新田、 境野、玉瀬、切畑、多田 村ノ内平野、西多田、芋 生、赤松、虫生、石道、 若宮、稻野村ノ内昆陽、 寺本、千僧新田、中野、 團田村ノ内瓦ノ宮、小中 島、南清水、口田中、法 界寺、上食満、内食満、 下食満、御園、
五斗二升 五合	五斗二升	五斗二升 五合
全 上	全 上	全 上
口米五升 俵裝普通竹札ヲ 付セズ	口米四升 俵裝全上	口米五升 コトモアリ
村ノ郷倉ニ納入 シ其ヨリ最寄ノ 濱邊ニ運搬、大 阪難波倉庫ニ納 メ中村ノ分ハ猪 名川ニ依リ舟ニ テ長柄ノ代官所 ニ納メタリ	一部ハ伊丹町雜 魚場ヨリ舟ニテ 京都近衛家へ納 メ一部ハ值段ヲ 定メ賣却シテ金 納トセリ	メ六瀬村ノ南部リ廢藩置縣ノ際 ハ下河原へ北部 明治元年六月十 及西谷中谷ハ伊 日、大阪府ニ屬 丹町、北村、其 日、明治二年正月 他ハ神崎濱邊ニ 廿日攝津縣トナ 搬出シ一部ハ大 日、全年七月十日 阪難波ノ倉庫へ 豊崎縣ト改稱全 大部分ハ江戸淺 年八月二日兵庫 草ノ倉庫へ庄屋 縣ニ編入セリ 上乗輸送納付セ リ
明治元年三月三 日尼ヶ崎藩預リ 全年五月田安藩 ト稱シ明治三年 月日不詳兵庫縣 ニ編入	明治三年日不詳 兵庫縣ニ編入セ リ	明治元年六月十 日、大阪府ニ屬 日、明治二年正月 廿日攝津縣トナ 日、全年七月十日 豊崎縣ト改稱全 年八月二日兵庫 縣ニ編入セリ

全	全	全	全	全	全	全	全	旗元
國長 五谷 郎川	元瀧 記川	兵船 庫越	源大 吉崎	竹垣 三右衛門	服部 久右衛門	信安 順部	主安 殿部	柳船 之助
一 二四	五 〇三	一 五一	三 九九	一 八八	六 九三	一 六五	五 九八	二、〇 八七
小田村ノ内高田	小田村ノ内湖江	岡田村ノ内若王寺	伊丹町ノ内辻村 岡田村ノ内上倉満	小濱村ノ内見佐 稻野村ノ内御願塚	神津村ノ内森本 岡田村ノ内上倉満	岡田村ノ内田能	伊丹町ノ内北河原、天津、 岡田村ノ内田能	岡田村ノ内上坂部、森 神津村ノ内下河原 立花村ノ内七ッ松
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗四升	五斗四升	五斗二升 五合
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	全上	依裝全上 口米五升	全上	依裝全上 口米八升	依裝全上 口米五升
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上

藩原半	藩野飯	藩洲大	篠山藩
安攝 信津 發守	保科 彈正 忠正	加藤 遠江 守	青山左京 太夫忠敏
七 一八	二、三 五二	五 九九	六 二三
川西村ノ内久代 神津村ノ内下河原	園田村ノ内富田、戸ノ内 御園、稻野村ノ内池尻、 神津村ノ内西桑津、口酒 井、岩谷、小濱村ノ内米 谷、	稻野村ノ内池尻南野	小濱村ノ内川面
五斗四升	五斗四升	四斗二升	五斗一升 五合
全上	全上	全上	全上
安部ノ依裝ハ仕 立全様ナレ共最 モ粗雜ニシテ安 部家ノ依裝ト其 當時稱セリト 下河原ハ口米八 升其他ハ五升	依裝全上 口米八升	依裝全上 口米五升	依裝全上 口米三升
役人出張屋立 會取立タル上尼 夕崎ハ舟ニテ送 付セリ	各々其村ノ郷倉 ニ納メ置キ役人 立會賣却シ買受 人ノ内ハ運搬セ リ其運搬ハ領民 ノ負擔	地方ニテ賣却 筑前米又ハ肥前 米ヲ購入、大坂 ノ藩倉へ役人ノ 立會檢査ヲ受ケ 納メタリ	村ノ郷倉ニ納メ 其他全上
明治四年七月十 四日半原縣ト稱 シ全年十一月五 日額田縣ト改稱 全年全月廿日兵 庫縣ニ編入	明治三年十二月 廿四日兵庫縣ニ 編入セリ	明治三年十二月 廿四日兵庫縣ニ 編入セリ	明治四年七月十 四日篠山縣ト稱 シ全年十一月二 十日兵庫縣ニ編 入

有			郡					
三	領	府	幕	領	社	全	全	全
鬼九	代官所	谷町	大阪	神多社	多田	三柘三四郎植	孫岡一郎野	木惣右衛門村
		二、八八八		四九八		三三八	五二〇	一〇八
三田町、三輪村、貴志村、藍村、小野村、本庄村、大澤村、中野村、道場村		山口村ノ内上山口、中野、船坂、有馬町 有野村ノ内唐櫃 長尾村ノ内下宅原 道場村ノ内掃田		多田村ノ内新田 東多田	多田院	園田村ノ内穴太	船野村ノ内御願塚ノ一部	船野村ノ内御願塚ノ一部
		五斗二升 五合		五斗		五斗一升 五合	五斗一升	五斗一升
		乾燥調製ニ對スル規定ナキモ稻木架ヲナシノ干ナ夏クシ調製ケ所横繩ヲ結ビハ搖板ニ掛ケ嚴重ニナシタルモノナリ		乾燥調製トモ規定ナク粗雜ノモノヲ納メタルモノ、如シ		依裝全上 口米三升	依裝全上 口米二升	依裝全上 口米二升
		口米五升		口米ナシ		全上	全上	全上
有馬郡三田町ノ倉庫ヘ大部ヲ納メ其他有野村ノ		有馬郡三田町ノ倉庫ニ納ムルノ二様ナリシト		役人庄屋立會檢査ナシ其ヨリ川邊郡神崎濱ニ搬出シ大阪難波倉庫ニ納ムルモノト川邊郡小濱村ノ倉庫ニ納ムルノ二様ナリシト	多田社ヘ直接納付セリ	全上	全上	全上
		明治四年七月十日三田縣ト稱シ全年十一月廿		明治元年五月廿三日兵庫縣ニ屬ス				

郡									
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
九服兵衛部	内青記山	監青物山	三青之助山	綾渡次郎邊	市片正桐	都長五郎	平久右衛門野	六齋藤	三柘藏植
三〇五	九五二	二〇〇	五二六	六四四	四〇七	四〇九	四〇	一八四	一二二
神津村ノ内小阪田	小田村ノ内濱、潮江、次屋	小田村ノ内下坂部	小田村ノ内下坂部濱ノ一部	長尾村ノ内中筋	小田村ノ内常光寺	小田村ノ内金樂寺	小田村ノ内善法寺ノ一部	小田村ノ内善法寺ノ一部	小田村ノ内額田
四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上

明治二年正月廿日攝津縣ト稱シ全年九月豊崎縣ト改稱シ全年八月二日兵庫縣ニ編入セリ

明		市石明		郡	
藩	石	明	藩	崎	尼
致直督衛兵左平松			中	遠	櫻
			興	江	井
				守	
				井	
六〇、〇〇〇			八二九		
明石市全部 明石郡一圓			壺瀨村ノ内 生瀨 名壺		
五斗一升 五合			五斗		
乾燥調製 全上			全上		
依裝全上 口米三升			依裝全上 口米ナシ		
			役人庄屋ノ立會 検査ヲ受ケ其ノ 村ノ郷倉ニ納ム 産米少ナキタメ 金納金千百六圓 二十四錢ヲ納ム		
			明治四年七月十 四日明石縣ト稱 シ今年十一月二 日姫路縣ニ編入 全年十一月九日 飾磨縣ト改稱シ 明治九年八月三 十一日兵庫縣ニ 編入		
			川邊郡安倉ノ倉 庫西成郡豊崎町 長柄ノ倉庫大阪 難波ノ倉庫ニ納ム		
			明治元年三月三 日尼ヶ崎藩預リ 全年五月十四日 田安縣ト稱シ明 治三年正月日不 群兵庫縣ニ編入		
			役人ノ検査ヲ受 ケ其他ノ倉庫ニ 納ム		
			明治二年正月十 五日兵庫縣ニ屬 ス		

馬			
藩	原	半	藩
關安	安	攝	飯
二	津	津	野
郎	守	守	飯
	發	發	科
			保
			正
			彈
			正
			忠
			科
			益
			重
			部
			少
			輔
			青
			木
			民
			義
			隆
			守
			門
			長
四〇二			
長尾村ノ内止宅原			
五斗二升			
乾燥調製 全上			
口米四升			
川邊郡米谷ノ倉 庫西成郡十倉倉 庫ニ納ム			
明治四年七月十 四日兵庫縣ニ編入			
安部家ノ依裝ハ 他ニ比シ稍々粗 雜ナリ 口米四升			
五斗二升			
乾燥調製 全上			
口米八升			
川邊郡安倉倉庫 及豊能郡櫻井谷 倉庫納メ 川邊郡米谷村ノ 倉庫ニ納ム			
明治四年七月十 四日中原縣ト稱 シ今年十一月十 五日額田縣ト改 稱全年十一月二 十日兵庫縣ニ編 入			
有野村ノ内二郎 長尾村ノ内岩谷 道場村ノ内道場、川原、 壺田村ノ一部			
五斗四升			
全上			
依裝全上 口米八升			
川邊郡池田倉庫 ニ納ム			
明治四年七月十 四日麻田縣ト稱 シ今年十一月廿 日兵庫縣ニ編入			
高平村ノ内木暮			
五斗一升 五合			
乾燥調製 全上			
依裝全上 口米三升			
豊能郡池田町ノ 倉庫ハ役人庄屋 ノ立會検査ヲ受 ケ納付シタルモ ノナリ			
五斗一升 五合			
乾燥調製 全上			
全上			
五斗一升 五合			
乾燥調製 全上			
口米三升			
五社、壺瀨村、 生瀨、武庫郡山 田村、上谷上、 豊能郡池田町ノ 倉庫ハ役人庄屋 ノ立會検査ヲ受 ケ納付シタルモ ノナリ			
日兵庫縣ニ編入			
ノ内壺田ノ一部、八多村 ノ内西畑、深谷、屏風、 附物、長尾村ノ内上津、 上村ノ一部、高平村ノ内 川原、末吉、布木、田中、 十倉、酒井、片古、下、 上榎瀨、下榎瀨、市ノ瀨 波豆川、			
三〇、〇〇〇			
義隆守門長			

囊	
明	石
松平左兵衛督直致	
二二、九六三	
與呂木、平井、奥吉川村ノ内竹原、桃尾、中吉川村ノ内法光寺、山ノ上、渡瀬、貸瀬、鍛冶屋、西畑、笥畑、箱木、吉谷、大畑、大澤、湯谷、田谷、北谷村ノ内福井、古川、有安、細川村ノ内大二谷、入野、小二谷、上南、萩谷、下南、原坂、法輪寺、鍛冶、上芝原、下芝原、谷口、増田、佐野、金屋、細川中、西、	
五斗二升	五斗二升
全上	乾燥調製全上
依裝ハ全上	口米五升
南僧尾、北僧尾、全年十一月九日 木津、北畑、行 飾磨縣ト改稱シ 原、東畑、中山、明治九年八月三 換石、石峰、寺 十一日兵庫縣ニ 野瀬、神田ノ二編入 十村 小川組ノ内小川 谷部、増田、谷 口、下芝原、上 芝原、鍛冶分レ、 法輪寺、原坂、 下南、上南、萩 谷、小二谷、大 二谷、入野ノ十 三村ハ明石郡押 部谷村、和田ノ 倉庫ニテ検査ヲ 受ケ納入セリ 其他ハ加東郡太 郎大夫村ニ搬出 全所ヨリ舟ニテ 高砂ニ送り百間 藏ニテ検査ヲ受 ケ納濟明石ニ送 リタルモノ	

美		郡 石			
幕府	領	日照寺	多聞寺	轉法輪寺	大山寺
大阪谷町代官所		全上	全上	全上	寺領
六六〇		二三	二七	五〇	二〇
奥吉川村ノ内長井 中吉川村ノ内長谷 北谷村ノ内野呂、谷新田、 武士山新田、山口新田、 宮村細川村ノ内脇川		明石市ノ内大明石ノ一部	垂水村ノ内多聞	垂水村ノ内名谷ノ中山	伊川谷村前開
三木町、志染村、淡河村、 上淡河村ノ全村、別所村 ノ内小林新田、久留美村 ノ内長屋、宿原久留美、	五斗二升 五合	五斗	五斗	五斗	五斗
乾燥調製ハ 殆ンド全上	乾燥調製ハ 殆ンド全上	全上	全上	全上	調製稍粗雜 乾燥全上
二重依内依ハ横 繩三ヶ所ニ廻外 依ハ横繩五ヶ所 ニ廻リ結ビトシ 縱繩ハ四方掛ト ス口米五升	二重依内依ハ横 繩三ヶ所ニ廻外 依ハ横繩五ヶ所 ニ廻リ結ビトシ 縱繩ハ四方掛ト ス口米五升	全上	全上	全上	依裝稍粗雜 口米ナシ
加東郡太郎太夫 村ノ今ノ市場村 ヘ搬出シ舟ニテ 高砂ニ移送百間 藏ニテ検査ヲ受 ケテ納入シ其ヨ リ海路江戸淺草 倉庫ヘ納ム 編入	加東郡太郎太夫 村ノ今ノ市場村 ヘ搬出シ舟ニテ 高砂ニ移送百間 藏ニテ検査ヲ受 ケテ納入シ其ヨ リ海路江戸淺草 倉庫ヘ納ム 編入	全上	全上	全上	全寺ヘ直納
淡河組三津田、 大戸田、西下村、 東下村、中村、 淡河町、南萩原、 日姫路縣ニ編入	淡河組三津田、 大戸田、西下村、 東下村、中村、 淡河町、南萩原、 日姫路縣ニ編入	明治元年五月廿 三日兵庫縣ト稱 シ明治四年十月 二日姫路縣ニ編 入全年十一月九 日飾磨縣ト改稱 シ明治九年八月 卅一日兵庫縣ニ 編入	明治四年七月 十四日明石縣 ニ編入全年十 一月二日姫路 縣ニ編入全年 全月九日飾磨 縣ト改稱明治 九年八月三十 一日兵庫縣ニ 編入	明治四年七月 十四日明石縣 ニ編入全年十 一月二日姫路 縣ニ編入全年 全月九日飾磨 縣ト改稱明治 九年八月三十 一日兵庫縣ニ 編入	明治四年七月 十四日明石縣 ニ編入全年十 一月二日姫路 縣ニ編入全年 全月九日飾磨 縣ト改稱明治 九年八月三十 一日兵庫縣ニ 編入

藩	草	生
古川藩	三草藩	壬生藩
土井大炊守 忠興	丹羽長門守 氏中	鳥居丹波守 忠寶
一、七、七六	八五二	七、〇三〇
奥吉川村ノ内北大門 中吉川村ノ内上松 北谷村ノ内吉田 口吉川村ノ内横	奥吉川村ノ内、沖、奥谷、	奥吉川村ノ内宮脇、二瀬 川、小屋寺、永門前、毘 沙門、市野瀬、東畑、早 田、栃谷、中吉川村ノ内 奥畑、安場、北谷村ノ内 上荒川、西浦、脇田、上 中、寶樂、口吉川村ノ内 中島、大殿林、南畑、楮 原、馬場、細川村ノ内大 柿、桃津、高篠、
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全上	全上	全上
全上	全上	全上
全上	全上	全上
全上	全上	全上
明治四年七月十日 四日鶴舞縣ト稱 シ全年十一月二 日姫路縣ニ編入 以後全上	明治四年七月十日 四日三草縣ト稱 シ全年十一月二 日姫路縣ニ編入 全年十一月九日 飾磨縣ト改稱明 治九年八月三十 一日兵庫縣ニ編 入	加東郡太郡大夫 明治四年七月十 日壬生縣ト稱 ヨリ丹ニテ高砂 シ四年十一月二 日送リ百間藏ニ テ役人立會檢査 ヲ受ケ納濟トナ ス 日姫路縣ニ編入 全年十一月九日 飾磨縣ト改稱明 治九年八月三十 一日兵庫縣ニ編 入

幕	全	元	旗	會津藩	鶴舞藩
大阪	久留京 左	柳信次郎	肥後守科	井上侍直	鶴舞侍直
	七二六	六、四六六	八九六	一、三〇八	
社町ノ内社町、加茂村ノ 内稻尾、瀧野村ノ内高岡 河合村ノ内新畑、復井、	北谷村ノ内畑枝、熊谷、 山崎、古市	和田ノ近藤、久留美村ノ 内跡部、加佐、平田、大 村、鳥町、口吉川村ノ内 東中、西中、	口吉川村ノ内吉祥寺、北 畑、志殿、蓮花寺、桃坂	口吉川村ノ内久次、里服 善祥寺、笹原、東、保木	別所村ノ内興治、高木、 東這田、西這田、花尻、 石野、下石野、正法寺、 和田ノ近藤、久留美村ノ 内跡部、加佐、平田、大 村、鳥町、口吉川村ノ内 東中、西中、
	五斗二升 五合	五斗一升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	
	全上	全上	全上	全上	
	依裝全上 口米五升	依裝全上 口米三升	全上	全上	
	全上	全上	全上	全上	
各村ノ郷倉ニ一美濃郡幕府領ニ 應村役人ノ檢査全シ ヲ受ケ舟ニテ高	明治元年五月二 十二日兵庫縣ト 稱シ明治四年十 一月一日姫路縣 ニ編入以後全上	明治三年五月十 日兵庫縣ト稱シ 明治四年十一月 二日姫路縣ニ編 入以後全上	加西郡會津藩ニ 全シ	明治四年七月十 四日鶴舞縣ト稱 シ全年十一月二 日姫路縣ニ編入 以後全上	

加

鶴	藩 路 姫	藩 草 三	領 府
井	邦 忠 從 侍 井 酒	中 氏 守 門 長 羽 丹	所 官 代 町 谷
	六、一五〇	三、九八四	四、二八〇
	社町ノ内松尾、瀧野村ノ内上瀧野、下瀧野、光明寺、來住村ノ内西脇、阿形、福田、來住、下來住、小野町ノ内島谷、長尾、後谷、福田村ノ内中古瀬、下東條村ノ内上小田、屋口、脇本、中東條村ノ内森尾、上東條村ノ内長井、米田村ノ内池ノ内、廻淵、下東條村ノ内曾根、池田、豊地、買野、中東條村ノ	社町ノ内山國、下東條村ノ内小田、上東條村ノ内貞守ノ一部、米田村ノ内上久米、下久米、上福田村ノ内上三草、下三草、山口、	粟生ノ一部、大畑、河合中、市場村ノ内太郎大夫、福田村ノ内西古瀬、下東條村ノ内浮坂、萬勝寺、中東條村ノ内神谷、總持院、鴨川村ノ内上鴨川、
	四斗二升	五斗二升 五合	五斗二升 五合
	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
	口米二升 俵裝全上	口米全上 俵裝全上	口米全上 俵裝全上
	村役人立會一應 村ノ郷倉ニ集メ 舟ニテ高砂ニ移 送役人ノ檢査ヲ 受ケテ納濟トセ リ	藩ノ倉庫ニ搬入 シ檢査ヲ受ケテ 納付セリ	砂ニ移送シ藩役 人ノ檢査ヲ受ケ 納付シ其ヨリ江 戸及大阪難波ノ 倉庫ニ送リタル モノ
	明治四年七月十 四日姫路縣下稱 シ全年十一月九 日飾磨縣ト改稱 明治九年八月三 十一日兵庫縣ニ 編入	美濃郡三草藩ニ 全シ	

東

領 橋 ツ 一	藩 野 小	藩 舞
榮 茂 言 納 大	德 末 守 馬 對 柳 一	直 正 從 侍 上
二、四三四	一〇、八五三	五、九一九
瀧野村ノ内河高、福田村ノ内久保木、古川、下東條村ノ内菅田、下番ノ一部、中東條村ノ内東垂水	内新定、岡本、岩屋、大畑、上東條村ノ内森、永福、小分谷、古家、常田、横谷、天神町、米田村ノ内、畑鴨川村ノ内平木、下鴨川、 市塚村ノ内野入、櫻村、山田、池尻、島村、北島、大部前、大部村ノ内敷地、王子、中島、土橋、高田、喜田、北鹿野、小野町ノ内小野、垂井、葉多、中村、奥村、黒川、淨谷、久下山、下東條村ノ内船名、中番ノ一部、社町ノ内家原ノ一部	内新定、岡本、岩屋、大畑、上東條村ノ内森、永福、小分谷、古家、常田、横谷、天神町、米田村ノ内、畑鴨川村ノ内平木、下鴨川、
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
口米全上 俵裝全上	口米全上 俵裝全上	口米五升 俵裝全上
姫路藩ト 全シ	藩ノ倉庫ニ搬入 シ役人ノ檢査ヲ 受ケテ納付セリ	全 上
明治元年一月廿 一日赤穂藩ノ預 一年五月廿四日 一ツ橋藩ト改メ 明治四年十一月 二日姫路縣ト稱 シ全年九月九日 飾磨縣ト改稱明 治九年八月卅一 日兵庫縣ニ編入	美濃郡三草藩ニ 全シ	美濃郡鶴舞藩ニ 全シ

郡

藩生壬	藩 倉 棚	藩 川 古
忠丹鳥 寶守居	功正助之基部阿	興忠守炊大井士
一、二八八	六、一五〇	四、五九三
上東條村ノ内、天神谷、 椅鹿谷、黒谷	社町ノ内出水、喜田ノ内 四戸、加茂村ノ内多井田 來住村ノ内黍田、市場村 ノ内資山、福田村ノ内東 實、上田、下東條村ノ内 下番ノ一部、北山、中東 條村ノ内松澤、厚井、吉 井、國依、小澤、米田村 ノ内久米、上福田村ノ内 木梨、藤田、馬瀬、	加茂村ノ内新町、北野、 河合村ノ内西村、新部、 西森、長町、中島、粟生 ノ一部、福田村ノ内東古 瀬、中東條村ノ内安國寺、 篠、上東條村ノ内西戸、貞 守ノ一部、黒谷、土井、
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
口米全上	口米全上	口米全上
全 上	全 上	全 上
美濃郡壬生藩ニ 全シ	明治元年二月廿 一日赤穂藩預リ 今年四月十四日 棚倉藩ト稱シ、 明治二年八月十 五日兵庫縣ト稱 シ明治四年十一 月二日姫路縣ニ 編入全年全月九 日飾磨縣ト改稱 明治九年八月卅 一日兵庫縣ニ編 入	美濃郡古川藩ニ 全シ

多

領 府 幕	全	全	元 旗
所官代町谷阪大	金 淺 之 野 版 野	銀 鈴 次 木 郎 木	多 八 三 木 郎 木
一三、七八三	二、八七八	四〇九	一、二八六
松原谷村、松井庄村全部 中村ノ内門前、安樂田、 東山、田ノ口、牧野、鍛冶 屋、岸上、間子、天田、高 岸、奥中、徳畑、茂利、中村 町、安坂、純屋、森本、西安 田、日野村ノ内羽山、富田 野間谷村ノ内門田、赤坂、 俵田、下三原、仕出原、大 屋、下村、横屋、中村、坂本 西脇町ノ内上町、黒田庄 村ノ内田高、小苗、大伏	社町ノ内田中、鳥居、貝 原、西垂水、窪田、上中、 梶原、喜田、家原、福田 村ノ内澤部、福吉、	加茂村ノ内曾我、穂積、 社町ノ内野村、福田村ノ 内大門、上福田村ノ内永 富、	大部村ノ内南鹿野、福田 村ノ内東古瀬、戸屋度、 下東條村ノ内中番九戸、
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
口米全上	口米全上	口米全上	口米全上
全 上	全 上	全 上	全 上
村ニテ郷倉ニ搬 美濃郡幕府領ニ 入シ役人ノ検査 全シ ヲ受ケ納入シ加 東郡加茂村ニ搬 出シ舟ニテ高砂 ニ輸送シ全所ヨ リ江戸及大阪ニ 海路轉送セリ	明治元年二月 廿一日赤穂藩 預リ明治四年 十一月二日姫 路縣ト稱シ全 年全月九日飾 磨縣ト改稱明 治九年八月三 十一日兵庫縣 ニ編入	美濃郡壬生藩ニ 全シ	

加		郡	
會	領 府 幕	藩 忍	藩
科 保	所 官 代 野 生	忠 篤 松 敬 之 助 平	氏 長 中 門 守
	四、〇三三	二、〇八四	二、二二七
加茂村ノ内大柳、中山、東 飢坂、西長、東長、下里 村ノ内大村、段下、中西、 牛居、野條、野田、東笠 原、戸田井、琵琶中、西	富田村ノ内西上野、富合 村ノ内別府、常吉、西在 田村ノ内若井、上萬願寺 下萬願寺、大内、多加野 村ノ内四山字五領新田、 芳田村ノ内出會、北條町 ノ内西南、東南、	西脇町ノ内西脇、下戸田、 寺田、蒲江、坂本、	黒田、重春村ノ内高田井 和田、谷
	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
	俵 俵 口米 全上 五升	俵 俵 口米 全上	俵 俵 口米 全上
庄屋ノ内へ集メ 明治元年五月廿 加東郡粟生ヨリ 三日兵庫縣ニ屬 運ビ今所ヨリ舟 明治四年十一 ニテ高砂ノ百間 月二日姫路縣ニ 倉ニ搬入シ検査 編入全年全月九	庄屋取立テ加東 明治元年閏四月 郡瀧野及粟生ヨ 廿八日久美濱縣 ノ百間蔵ニ搬入 八月生野縣ニ編 検査ヲ受ケ納付 入明治四年十一 セリ全所ヨリ江 月二日姫路縣ニ 戸又ハ大阪ノ難 編入全年全月九 波ノ倉庫ニ送り 日飾磨縣ト改稱 タルモノナリ 明治九年八月三 十一日兵庫縣ニ 編入	全 上	全 美濃郡三草藩ト 全シ

郡		可	
草三	藩 川 古	藩 崎 ケ 尼	領 橋 ツ 一
丹 羽	利 大 土 興 炊 守 井	忠 遠 櫻 興 江 守 井	榮 茂 言 納 大
	一、九四一	三、一八一	八、八四一
中村ノ内坂本、黒田庄村 ノ内門柳、福池、船町、	日野村ノ内用、上村、前 島、西田井、市原、大木、 上野中、	中村ノ内中安田、下曾我 井、日野村ノ内小坂、平 野、西脇町ノ内西島、大 野、野間谷村、中野間、 下野間、黒田庄村ノ内大 門、津萬井、	中村ノ内東安田、日野村 ノ内郷ノ瀬、比延庄村全 部、西脇町ノ内島、大垣 ノ内津萬、上戸田、重春 村ノ内坂坂、高松、平野 新田、和田新田、野村、 黒田庄村ノ内喜田、岡、 石原、前坂、
	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
	俵 俵 口米 全上	俵 俵 口米 全上	俵 俵 口米 全上
	高砂ヨリ大阪へ 明治四年七月十 送りタルモノナ 四日尼ヶ崎縣ト 全シ 稱シ全年十一月 二日姫路縣ト稱 ス以後全上	全 上	全 上
	高砂ヨリ大阪へ 明治四年七月十 送りタルモノナ 四日尼ヶ崎縣ト 全シ 稱シ全年十一月 二日姫路縣ト稱 ス以後全上	全 上	全 上

西

領橋ツ一	藩路姫	藩津
榮茂言納大	邦忠從侍井酒	守後肥
一、〇四八	二、六二〇	一、六八二
多賀野村ノ内河内ノ内普光寺、大工、大和村ノ内柳山、寺組、芳田村ノ内上新田、下新田、下郷ノ一部、西在田村ノ内上道山、在田村ノ内上芥田、	富田村ノ内福居、加茂村ノ内岸呂、鎮石、下里村ノ内王子、九會村ノ内上宮木、多賀野村ノ内下野上在田村ノ内下芥田、廣原、此、	笠原、九會村ノ内中野、桑原田、下宮木、繁昌、田原ノ内分郷、鴛野、榮、富合村ノ内都染、朝安、玉野、新家、多賀野村、池上、西野々、嶋滿久、和泉ノ内河原、在田村ノ内殿原、鴨谷、笹谷、佐谷
五斗二升 五合	四斗二升	五斗二升 五合
全 上	全 上	全 上
依裝全上 口米五升	依裝全上 口米四升	依裝全上 口米五升
全 上	全 上	全 上
明治元年五月廿四日一ツ橋藩ト稱シ明治四年十一月二日姫路縣ニ編入 以後全上	明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治四年七月十四日姫路縣ト稱シ全年十一月九日飾磨縣ト改稱 以後全上

二六

郡

藩忍	藩草三	古川藩	領安田
忠篤松 之助平 敬	氏長丹 中門守 羽	忠大土 炊守井 興	頼慶言納中
一、〇五一	二、二九六	八七四	二、五九七
富田村ノ内吉野、賀茂村ノ内福住ノ内北山、下里村ノ内尾崎、九會村ノ内田原、	多賀野村ノ内山田、馬渡谷、國正、芳田村ノ内明樂寺、落方、合山、水尾大和村ノ内中三原組、上三原組、	賀茂村ノ内東横田下里村ノ内三口	高、西高、室、九會村ノ内綱引、富田村ノ内谷、西谷、畑、窪田、汲谷、市村、坂元、谷口、加茂村ノ内山下、西劍坂、西横田、福住ノ内(舊片島)下里村ノ内兩月、倉谷、坂下、段ノ下一部、富谷村ノ内山技、多賀野村ノ内河内、和泉、上野上、在田村ノ内中富、越水、別所、上野、
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全 上	全 上	全 上	全 上
依裝全上 口米全上	依裝全上 口米全上	依裝全上 口米全上	依裝全上 口米五升
全 上	全 上	全 上	全 上
多可郡忍藩ニ全シ	加東郡三草藩ニ全シ	美濃郡古川藩ニ全シ	明治元年二月日不詳龍野藩預リ全年五月廿四日田安藩ト稱シ明治三年十月十五日生野縣ニ編入明治四年十一月二日姫路縣ニ編入以後全上

二七

郡		南		印												
藩	本	福	領	橋	一	藩	路	姫	元	旗						
潤	德	守	榮	茂	言	邦	忠	從	侍	井	酒	守	馬	但	木	八
			三、四〇〇				三六、二五九									
		五二五	曾根町曾根ノ一部				阿彌陀村、米田村、西神吉村、西志方村、大壺村、的形村、北濱村、別所村、東神吉村、志方村、平莊村、上莊村、以上全村、伊保村ノ内中筋、魚崎、魚崎新、東志方村ノ内東中、東飯坂、畑村、雜郷、小野、									
		五斗	五斗二升 五合				四斗二升									
		全上	乾燥調製				乾燥調製 全上									
			依裝全上 口米全上				依裝全上 口米四升									
		全上	高砂百間倉庫				高砂町百間倉ニ 搬入シ藩役人ノ 立會検査ヲ受ケ 納付セリ									
			明治元年六月十日 五日福本藩ト稱 シ明治三年十一 月廿二日鳥取藩 ニ編入明治四年 七月十四日鳥取 縣ト稱シ全年十 一月二日姫路縣 ニ編入以下姫路 藩ニ全シ				明治元年二月日 不詳龍野藩預リ 明治三年正月日 不詳兵庫縣ニ編 入明治四年十一 月二日姫路縣ニ 編入以後全上									

郡		古		加											
寺	領	藩	忍	藩	路	姫	元	旗							
鶴	刀	忠	篤	松	邦	忠	從	侍	井	酒	守	馬	但	木	八
林	山	敬	之	平											
寺	山	敬	助	平											
			三、六五〇				三八、一二三								
			二見村全部 阿閉村ノ内二子				加古川町、水丘村、神野村、八幡村、加古新村、母里村、天満村、平岡村、野口村、別府村、尾上村、高砂町、荒井村、以上全村、阿閉村ノ内本庄、古宮、野添、大中、右田、宮西、鳩里村ノ内北粟津、南粟津、南備後、備後、稻屋、友澤、木村、西河原								
			五斗二升 五合				四斗二升								
			乾燥調製 全上				乾燥調製 全上								
			依裝全上 口米五升				依裝全上 口米四升								
			役人ノ検査ヲ受 ケ二見ノ倉庫ニ 納付シタルモノ ナリ				高砂町百間倉ニ 搬入シ藩役人立 會検査ヲ受ケ納 付セリ								
			多可郡忍藩ニ全 シ				飾磨郡姫路藩ニ 全シ								
			姫路藩ニ全シ												
			明治三年正月日 不詳兵庫縣ト稱 シ明治四年十一 月二日姫路縣ト 稱シ以後姫路藩 ニ全シ												

郡			磨	
本德寺領	龜山寺領	增位寺領	幕府領	一ツ橋領
寺領	寺領	寺領	龍野藩預	大納言茂榮
五〇〇	八三三	二七九	一、五〇〇	三、〇六〇
手柄村ノ内龜山 飾磨町ノ内龜山	曾左村ノ内東坂本西坂本 ノ内一少部分ツ、アリ	水上村ノ内白國	余部村ノ内飾西、實法寺 打越 八幡村ノ内才ノ一部	菅野村ノ内寺 余部村ノ内青山、町田、 八幡村ノ内則直 廣村ノ内小坂
四斗	四斗二升	四斗二升	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全上	乾燥調製 全上	全上	乾燥調製 全上	乾燥調製 全上
口米ナシ	依裝全上 口米四升	依裝全上 口米四升	依裝全上 口米全上	依裝全上 口米五升
全上	今寺へ直納	全寺へ直納	所領ノ貢米ガ全 部集マリタル時 役人が検査チナ シ之ヲ受取り大 阪難波ノ倉庫ニ 送レリ米ノ倉庫 ニアル間ハ庄屋 更替晝夜番チナ セリ	印南郡一ツ橋領 ニ全シ
全上	全上	姫路藩ニ全シ	部落ノ郷倉ニテ 庄屋ノ検査ヲ受 ケ船場ヨリ船ニ テ飾磨港ニ送り 全所ヨリ室津ニ 廻送江戸ニ送レ ニ全シ	明治三年三月廿 六日兵庫縣ニ編 入明治四年十一 月二日姫路縣ニ 編入以後姫路藩 ニ全シ

飾		市路姫
落		姫
邦忠從侍井酒		全市
六九、八九九		水上村、城北村、城南村 家島村、高濱村、妻鹿村 白濱村、八木村、糸引村 四郷村、御國野村、花田 村、谷外村、谷内村、高 岡村、安室村、置鹽村、 鹿谷村、英賀保村、津田 村、返川村、以上全村
飾磨町ノ内宮、大濱、天 神、須加、東堀、玉地、 御幸、清水、英賀、畑江 都倉、惠美酒、曾左村ノ 内六角、刀田、書寫村ノ内 (東坂本ヲ除ク) 余部村 ノ内川西、青山、廣村ノ 内廣畑、手柄村ノ内手柄 栗山、東延木、延木、安 田、西延木、飯田、八幡 村ノ内蒲田、西蒲田、才 ノ大部分		飾磨町ノ内宮、大濱、天 神、須加、東堀、玉地、 御幸、清水、英賀、畑江 都倉、惠美酒、曾左村ノ 内六角、刀田、書寫村ノ内 (東坂本ヲ除ク) 余部村 ノ内川西、青山、廣村ノ 内廣畑、手柄村ノ内手柄 栗山、東延木、延木、安 田、西延木、飯田、八幡 村ノ内蒲田、西蒲田、才 ノ大部分
四斗二升		四斗二升
全上		乾燥調製 全上
口米四升		依裝全上 口米四升
所領ノ貢米ガ全 部集マリタル時 役人が検査チナ シ之ヲ受取り大 阪難波ノ倉庫ニ 送レリ米ノ倉庫 ニアル間ハ庄屋 更替晝夜番チナ セリ		當城下ニ御米倉 ガ四ヶ所アリテ 城内ニ上三方藏 下三方藏、外ニ 船場藏、飾磨町 ニ飾磨藏アリテ 其ノ藏ニ搬入シ テ藩役人ノ面前 ニテ検査チ受ケ テ納付セリ又當 藩ニハ貢米ノ米 札納メ制度アリ テ貢米ノ二分五 厘ノ米札納テア ツテ藩士ニ對シ 貢米ノ未ダ納マ ラザル前ニ米札 則書付チ以テ渡 シタルモノヲ納 米期ニ至リ農家 ハ之ヲ買取リテ 納米ニ換タルモ ノナリ
入		明治四年七月十 四日姫路縣ト稱 シ全年全月九日 飾磨縣ト改稱明 治九年八月三十 一日兵庫縣ニ編 入

郡		
全	元 旗	藩 本 福
夫太三田池	郎三創田池	潤德守馬但田池
七四七	二、九二六	六、一七九
大山村ノ内吉富、 栗賀村ノ内東柏尾、	川邊村ノ内屋形、 甘地村ノ内谷、千原、 鶴居村ノ内鶴居、田中、 小室、野村、澤、今井、	寺前村全村、栗賀村ノ内 栗賀町、福本、加納、柏 尾、寺野、貝野、根字野 山田、中村、長谷村ノ内 長谷、栗淵、川尻、鶴居 村ノ内美佐、福渡、
五	五	五
斗	斗	斗
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ
全	全	各旗元ノ倉庫へ 直納セリ
上	上	明治元年六月十 五日福本藩ト稱 シ明治二年十一 月二十二日鳥取 縣ニ編入明治四 年七月十四日鳥 取縣ト稱シ全年 十一月二日姫路 縣ニ編入以後姫 路藩ニ全シ
明治二年十二月 日不詳兵庫縣ニ 編入全三年八月 廿五日生野縣ニ 編入以後全上	明治二年六月日 不詳兵庫縣ニ編 入全三年生野縣 ニ編入全四年姫 路縣ニ編入以下 姫路藩ニ全シ	

崎 神		
領	府 幕	藩 路 姫
所官代町谷阪大	所官代野生	邦忠從侍井酒
	三、四三七	三三、六九四
山田村ノ内北山田、南山 田	大山村ノ内猪笹、大山、 長谷村ノ内枋原、川上、 越知谷村全村	瀬加村、田原村、八千種 村、船津村、豊臣村、砥 堀村、香呂村、中寺村、福 崎村、以上全村 川邊村ノ内西川邊、淺野 小畑、東川邊、西田中、北 田中、上田中、保木、山 田村ノ内多田、西山田、牧 野、甘地村ノ内甘地、近 年、奥村、坂戸、小谷、
	五斗二升 五合	四斗二升
	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
	口米五升	口米四升
	依裝全上	依裝全上
倉庫ニ輪送セリ	生野代官所ノ倉 庫ニ搬入検査チ 受ケ納付セリ	買米納付手續節 磨郡姫路藩領ニ全シ
入明治四年十一 月二日姫路縣ニ 編入以後全上	大山村、長谷村 越知谷村ノ明治 元年四月廿八 日久美濱縣ニ屬 シ明治二年八月 七日生野縣ニ編 入明治四年日不 詳豊岡縣ニ編入 全年十一月二日 姫路縣ニ編入以 下姫路藩ニ全シ 山田村ノ内八明 治元年五月廿二 日兵庫縣ニ屬シ 明治三年八月廿 五日生野縣ニ編 入明治四年十一 月二日姫路縣ニ 編入以後全上	磨郡姫路藩領ニ 全シ

保	
龜丸	藩田林
京極佐渡守	建部内匠守政世
10,000	10,000
旭陽村ノ内津市場、宮内	林田村ノ内中山下、松山八幡、奥、佐見、六九谷林田新町、林田、上構、中構、下構、久保、越部村ノ内鶯崎、北村、船渡太田村ノ内矢田部、太田東出、東保、東南、勝原村ノ内太田、神岡村ノ内上横内、横内、西横内、奥村、東鶯崎、澤田、入野、寄井、田中、追分、野邊、西島井、筒井、北横内、伊勢村ノ内大堤、大津村ノ内吉備、新宮村ノ内下野、
四斗二升	五斗二升 五合
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
口米四升 裝依全上	口米五升 裝依全上
網干港ノ倉庫ハ 搬入検査ヲ受ケ テ納付セリ全港 明治四年七月十 四日丸龜縣ト稱 シ全年十月十六 日兵庫縣ニ編入 十一月二日姫路 縣ニ編入 以後全上	林田村ノ倉庫及 大津村ノ倉庫ハ 搬入役人立會檢 査ヲ受ケテ納付 セリ 明治四年七月十 四日林田縣ト稱 シ全年十一月二 日姫路縣ニ編入 以後全上

揖	
藩	野龍
斐安守路淡坂脇	
51,386	
龍田村、太市村、班鳩村、揖保村、半田村、石海、譽田村、東栗栖村、揖西村、龍野町、以上全町村旭陽村ノ内和久、高田、坂上、坂出、福井、越部村ノ内馬立、市野保、香取村ノ内香山、上笹、下笹、篠首、小宅村ノ内上富水、下富水、四個、大道、堂本、宮脇、末政、片山、中井、神部村ノ内正條、神部、北山、原、大門、那波野、勝原村ノ内丁、下太田、朝日谷、神岡村ノ内大住寺、余部村ノ内上川原、伊勢村ノ内下伊勢、上伊勢、大津村ノ内平松、西栗栖内ノ内角龜、網干町ノ内新在家、林田村ノ内林山田、口佐見、林谷、太田村ノ内天満山、山田原、矢田部、	
四斗	
全 乾燥調製 上	
口米ナシ	
網干港ノ倉庫ハ 七分、龍野ノ倉 庫ハ三分ヲ搬入 役人ノ面前ニテ 検査ヲ受ケテ納 メタルモノナリシ 明治四年七月十 四日龍野縣ト稱 シ全年十一月二 日姫路縣ニ編入 以後姫路藩ニ全	

郡

旗	領 府 幕	藩 月 日 三	藩
磨播田池	預 藩 野 龍	滋俊守馬對森	徹 朗
三、〇〇〇	五、〇〇〇	一、二七	田井、余部村ノ内上余部 下余部、大津村ノ内、天 滿、長松、
新宮村ノ内新宮、井野原 曾我井、宮内、越部村ノ 内仙庄、段上、中ノ庄、 勢村ノ内上伊勢	小宅村ノ内島田、日飼、 中村、北村、勝原ノ内熊 見、山戸、大津村ノ内西 土井、勳兵衛新田、西栗 栖村ノ内柏野、越部村ノ 内下野田、佐野、細干町 ノ内大江島、余子落、伊 勢村ノ内上伊勢	西栗栖村ノ内牧、時重、 鍛冶屋、栗町、下筋原、 上筋原、	
五斗	五斗二升 五合	五斗二升 五合	
全 乾 燥 調 製 上	全 燥 乾 調 製 上	全 乾 燥 調 製 上	
依 裝 全 上 口 米 ナシ	依 裝 全 上 口 米 五 升	依 裝 全 上 口 米 五 升	
領主ノ倉庫ニ搬 入検査ヲ受ケ直 納	網干港倉庫及那 波倉庫へ搬入シ テ検査ヲ受ケ納 付シ全地ヨリ江 戸又ハ大阪難波 ノ倉庫へ輸送セ シモノナリ	三日月ノ倉庫へ 運搬シ検査ヲ受 ケ納付セリ	ヨリ丸龜又ハ大 阪へ輸送セシモ ノナリ 全年十一月二日 姫路縣ニ編入以 後全上
明治三年月日不 詳兵庫縣ニ屬シ 全年八月廿五日 生野縣ニ編入明 治四年十一月二	明治四年三月日 不詳生野縣ニ編 入全年十一月二 日姫路縣ニ編入 以後全上	明治四年七月十 四日三日月縣ト 稱シ全年十一月 二日姫路縣ニ編 入以後全上	

赤

穂 赤	領 府 幕	藩 路 姫	元
守 後 越 森	所 官 代 町 谷 阪 大	忠 侍 酒 邦 從 井	守
一九、六二二	九、八〇六	二四七	香島村ノ内青島
赤穂町、壇屋、尾崎、新 濱、坂越村、那波村以上 全村、高野村ノ内中山、 目坂、眞殿、木津、上郡 町ノ内竹萬ノ一部、相生 町ノ内相生、船坂村ノ内 梨ヶ原、上栗、下栗、落	矢野村ノ内楠、二ツ木、小 河ノ内親音、眞廣、上土 井、門野、小河、高田村 ノ内中野、佐用谷、與井 新、休地、新山寺、宇野 山、與井、上郡町ノ内山 ノ里、井ノ上、鞍居村ノ 内大杉野、赤松村ノ内細 野、大酒、赤松、苦繩、船 坂村ノ内下、有年村ノ内 原、幸禮東、	室津村全部	
四斗二升	五斗二升 五合	五斗	
全 乾 燥 調 製 上	全 乾 燥 調 製 上	全 乾 燥 調 製 上	
依 裝 全 上 口 米 四 升	依 裝 全 上 口 米 五 升	依 裝 粗 雜	
赤穂町、加里屋 明治四年七月十 ノ倉庫へ運搬役 四日赤穂縣ト稱 入ノ検査ヲ受ケシ全年十一月二 日姫路縣ニ編入	赤穂町、中村ノ 倉庫及那波港ノ 倉庫ニ搬入役人 ノ検査ヲ受ケ納 付シ坂越港及那 波港ヨリ江戸淺 草ノ倉庫及大阪 難波ノ倉庫ニ舟 ニテ送リタルモ ノナリ	大豆ヲ七十一石 二斗米五十二石 四斗藩へ上納	日姫路縣ニ編入 以後全上

		郡		
日三	藩龜丸	藩野龍	藩志安	
馬對森	朗佐京 徹守極	安淡協 斐守坂	孚貞守濃信原笠小	
九、八五二	二八	四二	二、五七九	
三日月村、徳久村、全部 大廣村ノ内新宿、島脇、大 畑、大下り、中安村ノ内 中島、奥多賀、口多賀、土 井、安川、米田、小山、西 庄村ノ内上月、寄延、目	相生町野瀬ノ内	相生町野瀬ノ内	矢野村ノ内三濃山、能下 管谷、下田ノ内下比、高 田村ノ内金島、小野豆、鞍 居村ノ内富満、赤松村ノ 内大技新田、柏野、旭ノ 内小皆坂、全黒石、全市 原、全技位、岩木ノ内銀 治、全倉尾、楠ノ内楠、 全園見、有年村ノ内横尾	行頭、入保ノ内大皆坂、 全金内
五斗二升	四斗二升	四斗二升	五斗二升 五合	
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	
口米全上 裝依全上	口米四升 依裝全上	口米四升 依裝全上	口米四升 依裝全上	
三日月村ノ内乃 井野及久崎村ノ 内久崎倉庫ニ納 入係リ役人ノ檢	那波ノ藩倉ニテ 檢査ヲ受ケテ納 付セリ	那波ノ藩倉ニテ 檢査ヲ受ケテ納 付セリ	有年村ノ横尾ノ 倉庫ニ納ム 手續全上	
明治四年七月十 四日三日月縣ト 稱シ全年十一月	揖保郡九龜藩ニ 全シ	揖保郡龍野藩ニ 全シ	共栗郡安志藩ニ 全シ	

				穂	
藩	崎	尼	家分藩嶋廣	藩	
興忠	守江遠井櫻		發長野淺	儀忠	
	七、八七八		二、九九四		
内細念、船坂村内ノ高山	郡野、竹萬ノ一部、上都 大持、鞍居村ノ内野桑、尾 長谷、金出地、鍋倉、赤 松村ノ内大技、岩木谷ノ 内細念、船坂村内ノ高山	高嶺村ノ内立巖ノ一部、 周匠、若狭野村ノ内下土 井、寺田ノ内上、矢野村 ノ内下田、瓜生、上森、中 野、金地、釜山、高田村 ノ内正福寺、西野山、神 明寺、宇治山、宿、奥、上 郡野、竹萬ノ一部、上都	若狭野村ノ内若狭野、雨 内、野々ノ内宮尾、上松 寺田ノ内下、福井ノ内奥 野山、全田井、出村、八 洞、野々ノ内高野領、入 野、東後明、西後明、	地、別名、八保ノ内名村 全圃、有年村ノ内東有年 ノ内栗栖、東有年ノ内黒 澤、上菅生、下菅生、西 有年、檜原、	
	五斗二升 五合	五斗二升 五合	四斗二升		
	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上		
	口米五升 依裝全上	口米五升 依裝全上	口米四升 依裝全上		
	赤穂町一丁目ノ 倉庫及那波ノ倉 庫ニ納ム手續全 上、納付濟ノ上 本藩へ船ニテ輸 送シタルモノナ リ	赤穂町一丁目ノ 倉庫及那波ノ倉 庫ニ納ム手續全 上、納付濟ノ上 本藩へ船ニテ輸 送シタルモノナ リ	那波ノ倉庫ニ納 ム手續全上納付 ノ上大阪ニ送り タルモノナリ		
	明治四年七月十 四日尼ヶ崎縣ト 稱シ全年十一月 二日姫路縣ニ編 入以後全上	明治四年七月十 四日尼ヶ崎縣ト 稱シ全年十一月 二日姫路縣ニ編 入以後全上	明治二年月日不 詳兵庫縣ニ編入 明治四年九月生 野縣ニ編入全年 十一月二日姫路 縣ニ編入 以後全上		以後全上

尖		郡		
安	藩 崎 山	全	全	元 旗
原笠小	朗忠守前肥田本	伊松 織井	馬主井松	松 井 巨馬之助
	一〇、七〇〇	二、〇〇一	三、一四六	二、三七八
安師村ノ内安志、三森、名坂、富栖村ノ内末廣、栃原、土内村ノ内葛根、神野村ノ内田井、母栖梯、	山崎町、城下村、戸原村全部、河東村ノ内岸田、神谷、矢原、中村、高所、神野村ノ内三津、葛澤村ノ内牛谷、下町、下牧谷、上牧谷、片山、菅野村ノ内、高下、市場、木谷、	佐用村ノ内佐用、圓應寺、下長尾、山田ノ内大部分	長谷村ノ内口長谷、奥長谷、金近、横坂、江川村ノ内福澤、佐用村ノ内上長尾、高田、畑田	平福村ノ内平福、庵、友延、正吉、江川村ノ内大島、末包、流、平谷、大猪伏、長谷村ノ内宗行
	四斗	四斗一升	四斗一升	四斗二升
	乾燥調製 全上	乾燥調製 全上	乾燥調製 全上	乾燥調製 全上
	依裝全上 口米ナシ	依裝全上 口米二升	依裝全上 口米二升	依裝全上 口米五升
安志村ノ内安志ノ藩倉へ搬入役	山崎町ノ内今宿ノ藩倉へ搬入シ役人ノ検査ヲ受ケ納付セリ	全上	全上	幕府領ニ全シ
明治四年七月十日安志縣ヲ置キ全年十一月二日姫路縣ニ編入	明治四年七月十日山崎縣ヲ置キ全年十一月二日姫路縣ニ編入			明治元年六月十七日兵庫縣ニ編入明治三年十一月二日生野縣ニ編入全四年十一月二日姫路縣ニ編入以後全上

用		佐	
藩石明	領 府 幕	藩 志 安	藩 月
督左松 直兵衛平	所官代町谷阪大	眞 信 孚 濃 守	滋 俊 守
二、〇四八	三、五六五	二、二五八	
石井村ノ内水根、奥海、眞上石井、下石井、海内、桑野、江川村ノ内中山	久崎村ノ内、下藤田、中安村ノ内寶藏寺、大廣村ノ内三原、久保、廣山、弦谷、江川村ノ内豊福、仁方、西河内、植木谷、幕山村ノ内平尾、來見、田和、才ノ元、金子、櫻山、	佐用村ノ内山田ノ一部、西庄村ノ内早瀬、仁位、大廣村ノ内三ツ尾、久崎村ノ内上藤田、圓光寺、幕山村ノ内皆田、大垣内、本郷、城垣内、中山	高、力萬、宇根、須安、西大島、小日山、久崎村ノ内久崎、家内、下秋里、上秋里、西新宿、大日山、幕山村ノ内金屋、佐用村ノ内山脇、眞盛
三斗五升	五斗二升 五斗五升	五斗二升	
乾燥調製 全上	乾燥調製 全上	乾燥調製 全上	
依裝全上 口米五升	依裝全上 口米五升	依裝全上 口米全上	
手續給下全上ナ ルモ赤穂町ヨリ 明石ニ船ニテ送 リタルモノナリ	庄屋ノ内へ納入 セシメ係役人ノ 立會検査ヲ受ケ 後久崎へ搬出全 所ヨリ川船ニテ 赤穂町ニ送り全 所ヨリ江戸淺草 ノ倉庫及大阪難 波ノ倉ニ送レリ	庄屋ノ倉庫又ハ 郷倉ニ納入シ係 リ役人庄屋ノ立 會検査ヲ受ケテ 納付セリ	在テ受ケ納付シ 入以後全上 タルモノナリ
明石郡明石藩ニ 全シ	明治四年三月日 不詳生野縣ニ編 入全年十一月二 日姫路縣ニ編入 以後全上	兵庫郡安志藩ニ 全シ	

粟

幕	藩 月 日 三	藩 志
代 町 谷 阪 大	滋 俊 守 馬 對 森	孚 貞 守 濃 信
八、〇九五	三、九三二	五、一九四
安師村ノ内瀬川、富柄村ノ内昔川、河東村ノ内三谷、須賀、神戸村ノ内東安積、下三方村ノ内生栖深ヶ谷、西深、西谷村ノ内日見谷、安賀、齊ノ木上野、有賀谷、皆木、三方村ノ内福野、河原田、奥谷村ノ内飯見、土萬村	安師村ノ内長野、河東村ノ内須賀、葛澤村ノ内下町、大谷、上牧谷、神戸村ノ内五十波、杉ヶ瀬、木ノ谷、奥位、神戸村ノ内安積、開賀、島田、染河内村ノ内下野田、土萬村ノ内土萬、大澤、菅野村ノ内、青木、奥小屋、	菅野村ノ内鹽田、神戸村ノ内市塲、杉田、構須、行名、東、安積、染河内村ノ内、上野田、能内、東河内
五斗二升 五合	五斗二升	五斗二升
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
依裝全上 口米五升	依裝全上 口米四升	依裝全上 口米四升
河東村ノ内須賀ニ集メ検査ヲ受ケ全部出揃ヒタル時ハ船ニテ綱干港ニ送り全所ヨリ大阪難波ノ倉庫ニ輸送シタルモノナリ	山崎町ノ内今宿ノ藩倉へ納入シ役人ノ検査ヲ受ケテ納付セリ	人ノ検査ヲ受ケテ納付セリ
明治元年五月十二日兵庫縣ニ屬シ明治三年八月二十五日生野縣ニ編入明治四年十一月二日姫路縣ニ編入全年九月九日磨縣ト改稱明治九年	明治四年七月十四日安志縣ヲ置キ全年十一月二日姫路縣ニ編入今年九月九日磨縣ト改稱明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	全年九月九日藩磨縣ト改稱全年八月三十一日兵庫縣ニ編入

四二

藩 崎 ケ 尼	領	府
興 忠 守 江 遠 井 櫻	所 官 代 野 生	所 官
二、一四二		
安師村ノ内鹽野、植木野三坂、狭戸、河東村ノ内野々上、葛澤村ノ内上町下町、神戸村ノ内安土、伊和神、野村ノ内清野	葛澤村ノ内中野、上野、小茅野、神戸村ノ内伊和下、三方村ノ内三方町、公文、森添、三河村ノ内船越、繁盛村、全村、西谷村ノ内野尻、原引原、鹿伏、戸倉、道谷、千草村ノ内河呂、岩ノ邊、西河内、河内、西山	ノ内西鹽野、銀山、千種黒土、鷹ノ巣、下河野、七野、室、三河村ノ内上三河、下三河、中三河、西下野、漆野、河崎
五斗二升	五斗二升 五合	
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	
依裝全上 口米四升	依裝全上 口米全上	
全藩ハ網干港ヨリ大阪又ハ尼ヶ崎へ輸送セシモノナリ	全 上	
明治四年七月十四日尼ヶ崎縣ニ屬シ全年十一月二日姫路縣ニ編入全年九月九日磨縣ト改稱明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治四年七月十四日尼ヶ崎縣ニ屬シ全年十一月二日姫路縣ニ編入全年九月九日磨縣ト改稱明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	八月三十一日兵庫縣ニ編入

四三

郡	
領 寺	領 寺
寺 璃 瑠 村 河 三	寺 蓮 青 町 崎 山
五二 三河村ノ内 船越ノ一部	一〇〇 山崎町ノ内 上寺ノ一部
五斗二升	四斗
全上	乾 稍 燥 粗 雜
口米ナシ	依裝稍粗雜 口米ナシ
全寺へ直納	全寺へ直納
明治元年七月十日久美濱縣ニ屬シ明治二年八月七日生野縣ニ編入明治四年十一月二日姫路縣ニ編入全年全月九日飾磨縣ト改稱明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治四年七月十四日山崎縣ヲ置キ全年十一月二日姫路縣ニ編入全年全月九日飾磨縣ト改稱明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入

城	
府 幕	所 官 代 濱 美 久
二八、六五〇	
坂、三江村ノ内法花寺、祥雲寺、南谷、馬路、鎌田、下宮、田鶴野村ノ内山本、金剛寺、森、下鶴井、五莊村ノ内森津、瀧新堂、岩熊、板江、伊賀谷、下陰ノ幾部、江野、中竹野村ノ内林ノ幾部、奥佐津村ノ内本見塚、三河、土生、畑、香住村ノ内森、七日市、香住、若松、一日市、下濱、矢田長井村ノ内九斗山、八原中野、小原、藤、余部村ノ内鏡、余部、八代村ノ内大岡寺、藤中、猪爪、日高村ノ内久田谷、九斗岩中、地下、日置、夏栗道場、三方村ノ内知見、篠垣、佐田、森、山野、庄境、海老原、栗山ノ一部、清瀧村ノ内頃垣、栃本、名色、山室、十月、太田、	
四斗二升	
全 乾燥調製 上	
依裝二重依内依ヲ三ヶ所外依ヲ五ヶ所横繩ヲ掛ケ之ヲ賣却シテケ縦繩ハ横繩三ヶ所ニ引掛ケニ方掛トス 口米四升	
庄屋ノ倉庫ニ搬入シテ検査ヲ受ケ之ヲ賣却シテ金納トナセリ	
八代村、日高村三方村、清瀧村ハ明治元年四月廿八日久美濱縣ニ屬シ明治二年八月七日生野縣ニ編入明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入 其他ノ各村ハ明治元年四月二十八九日久美濱縣ニ屬シ明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	

郡				
全	全	全	元 旗	藩 石
八杉 太原 夫原	兵四杉 衛郎原	助小 三出 郎	助之要極京	和久守岐讚
一三五	一五一	五四八	一、三二	五、七六七
八代村ノ内谷	八代村ノ内 河江ノ内幾部、奥八代ノ内幾部	八代村ノ内中 日高村ノ内山本、水上、	香住村ノ内間室、油真長井村ノ内三谷、加鹿野守栖、大野、大谷	野村 内竹野、切濱、濱須井、奥須井、宇日、田久日、奥佐津村ノ内準入上岡、下岡、丹生地、米地、九斗、口佐津村ノ内相谷、安木、訓谷、無南垣、浦上、上計、沖ノ浦香住村ノ内境、日高村ノ内霄田、江原、石立、國分寺、福布ノ内幾部
四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升	四斗二升
全 乾燥調製上	全 乾燥調製上	全 乾燥調製上	全 乾燥調製上	全 乾燥調製上
口米四升 依裝全上	口米四升 依裝全上	口米四升 依裝全上	口米四升 依裝全上	口米四升 依裝全上
八代村領主ノ倉庫ニ持參シ検査ヲ受テ納付セリ	八代村領主ノ倉庫ニ持參シ検査ヲ受テ納付セリ	日高村領主ノ倉庫ニ搬入検査ヲ受ケテ納付セリ	養父郡糸井村領主ノ倉庫ニ持參シ検査ヲ受ケテ納付セリ	庄屋ノ倉庫ニテ役人立會検査ヲ受ケテ納付セリ
上	明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全	明治元年四月廿八日久美濱縣ニ屬シ明治二年八月十日生野縣ニ編入	明治三年十月日不詳久美濱縣ニ屬シ明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全上	明治四年七月十日豊岡縣ト稱シ全年十一月二日豊岡縣ニ編入

崎			
出	藩 岡 豊	領	
石 仙	厚 高 守 彈 飛 極 京	所 官 代 野 生	
	九、九四五	三、〇一〇	
中竹野村ノ内下塚、金原東大谷、轟、小丸、鬼神谷、須谷、芦屋、阿金谷和田、羽入、松本、草飼圓通寺、林ノ内幾部、竹	豊岡町全部、八條村ノ内大磯、小尾崎、九日市、上中、下町、妙樂寺、新田村ノ内河谷、中谷、百合地江本、今森、鹽津、立野三江村ノ内庄境、梶原、日撫、六地藏、田嶋野村ノ内舟町、宮嶋、野上、一日市五莊村ノ内高屋、正法寺戸牧、福田、上陰、中陰、下陰ノ内幾部	八代村ノ内奈佐路、河江ノ内幾部、奥八代ノ内幾部、日高村ノ内伊福、三方村ノ内十二所、伊府、荒川、芝、猪子垣、廣井殿、觀音寺、羽尻、田ノ口、阿瀬、金山、栗山ノ内幾部、津日瀧村ノ内石井	
	四斗一升 五合		
	全 乾燥調製上		
	口米三升	依裝ハ一重ニテ 豊岡町ノ藩倉ニ横繩五ヶ所掛縱 搬入シ検査ヲ受ケテ納付セリ	
		明治四年七月十日豊岡縣ト稱シ全年十一月二日豊岡縣ニ編入	

幕	郡 石 出		
	領 府 幕	元 旗	藩 石 出
生	所官代野生	部織出小	和久守岐讃石仙
	一、七二九	二、二八〇	三、七三三
	八鹿町、建屋村、大屋村、南谷村、西谷村、宿南村、關宮村、以上全村、養父市場村ノ内養父市場、藪	合橋村ノ内矢根、奥矢根、唐川、資母村ノ内木村、太田、中田村ノ一部	出石町、小坂村、宇植村全部、神美村ノ内宮内、坪井、袴狭、口小野、奥小野、田多、安長、立石、森尾、三宅、市場、奥野、上鉢山、下鉢山、香住、長谷ノ一部、合橋村ノ内水石、畑、出合、市場、日殿、河本、西谷、天谷、南尾、出合、資母村ノ内中山ノ一部、坂津、奥赤、赤花ノ一部、坂野、虫生、口藤、中藤、奥藤
	四斗二升	四斗二升	四斗二升
	全 乾燥調製	全 乾燥調製	全 乾燥調製
	依裝全上 口米四升	依裝全上 口米四升	依裝ノ仕立ハ全 上ナルモ縦繩四 方ナリト 口米四升
	庄屋ノ内ハ集メ 檢査ヲ行ヒ之ヲ 賣却シテ金納ト ナセリ	倉見領主ノ倉庫 ハ搬入シ檢査ヲ 受ケテ納付セリ	出石町ノ藩倉ハ 搬入シ檢査ヲ受 ケテ納付セリ
	全ジ	全ジ	全ジ
	明治元年七月十日久美濱縣ニ屬シ明治四年十月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	城崎郡旗元領ニ屬シ明治四年十月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治四年七月十日出石縣ト稱シ全年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全上

養 父		
元 旗	藩 石 出	領 府
清 出 小	和久守岐讃石仙	所官代野
一、三九八	二、三五六	一五、八五三
養父市場村ノ内大藪、大塚、廣谷村ノ内上野、稻津、畑、上箇、伊佐村ノ内大江、岩崎	廣谷村ノ上野ノ一部、左近山、玉見、新津、口大屋村、全村、高柳村ノ内朝倉、米里、養父市場村ノ内奥米地、中米地、鐵米地、口米地、	崎、糸井村ノ内高生田一部、市場、竹田、内海、朝日、和田、室尾、林垣、大藏村ノ内宮田、高瀬、宮内、岡、法道寺、高田、畑、廣谷村ノ内上野ノ一部、淺野、大坪、伊豆、小城、高柳村ノ内小山、國木、高柳、八木、今瀧寺、伊佐村ノ内淺間、伊佐、上小田、下小田、坂本
五斗二升 五合	五斗二升 五合	五斗二升 五合
全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上	全 乾燥調製 上
依裝全上 口米五升	依裝全上 口米五升	依裝全上 口米五升
養父市場村領主ノ倉庫ニ搬入檢査ヲ受ケテ納付セリ	出石町藩ノ倉庫ニ運搬シ檢査ヲ受ケテ納付セリ	生野町ニ運搬シ檢査ヲ受ケテ納付セリ
明治二年六月廿五日久美濱縣ニ屬シ明治四年十月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	城崎郡出石藩ニ全ジ	明治元年七月十日久美濱縣ニ屬シ明治四年十月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入

郡 方 美		郡 來 朝	
藩 岡 豐	藩 岡 村	藩 山 篠	藩 山 篠
厚高守彈飛極京	濟義守幡因名山	忠太左青	忠太左青
四、一五四	一、〇〇〇	三、一五一	三、一五一
照來村全部、射添村ノ内、担岡、八田村ノ内宮脇、内山、温泉村ノ内竹田、井土、春來、歌長、敷久谷、熊谷、伊南、金屋、今岡、大庭村ノ内用土、古市、新市、境、藤尾、邊池、正法庵、高末、對田濱阪町ノ内指抗、田中	村岡町、兔塚村、熊次村小代村、以上全部、射添村ノ内、長板、熊波、和田、入江、川會、丸味原、長瀬、高津、長須、味取、山田、境、温泉村ノ内檜尾	粟賀村ノ内和賀、梁瀬村ノ内矢名瀬、瀧田、大垣新堂、大内、監田野、東河村ノ内野村、中村、和田、久田和、宮、白井	西濱村全部、濱坂町ノ内落坂、芦屋、清富、三尾赤坂、和田、大庭村ノ内三谷、戸田、七釜、朽谷二日市、福富、久谷、温泉村ノ内湯、八田村ノ内千谷、千原、鐘尾、岸田石橋、海上、前、越坂
五斗二升	四斗	五斗二升	五斗二升
乾燥調製	乾燥調製他領ニ比シ緩カリシガ如シ	乾燥調製	乾燥調製
依裝ハ一重依橫繩五ヶ所結ビ縱繩ナシ	依裝ハ二重ニシテ五ヶ所結ビ一ト筋ニテ縱繩ニ方掛口米ナシ	依裝一重橫繩五ヶ所縱繩ナシ	依裝仕立ハ全上ナルモ縱繩ナシ
大庭村ノ内對田濱阪町温泉村ノ内細田ノ藩倉ヘシ全年十一月二日入シ藩役人及庄屋立會檢査テ受ケ納付セリ	庄屋ノ手元ニ集メ役人立會檢査テ受ケテ藩ノ倉庫ニ運搬納付セリ	庄屋ノ手元ニ集メ役人ノ檢査ヲ受ケ納付ノ手續ヲ爲シ之ヲ賣却シテ金納ト爲シタルモノナリ	生野町代官所ノ倉庫ニ搬入檢査ヲ受ケ納付ス時トシテハ銀納及大豆ヲ納付スルコトヲ命ジタルモノナリ
明治四年七月十日豊岡縣ニ編入以後全上	明治元年六月十日村岡藩ト稱シ明治四年七月十四日村岡縣ト改稱全年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全上	明治四年七月十日篠山縣ト稱シ全年十一月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治二年十二月日不詳久美濱縣ニ屬シ明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全上

郡 來 朝		郡	
藩 山 篠	領 府 幕	全	全
忠太左青	所 官 代 野 生	京 極	小 出
三、一五一	一七、五二七	一、〇六九	一、四〇七
粟賀村ノ内和賀、梁瀬村ノ内矢名瀬、瀧田、大垣新堂、大内、監田野、東河村ノ内野村、中村、和田、久田和、宮、白井	牧田村、與布土村、竹田村、中川村、山口村、生野町、梁瀬村ノ内金浦、未歲、大月、樂音寺、小谷、東河村ノ内柳原、岡田、粟賀村ノ内早田、柴	糸井村ノ内高生田、寺田林垣	大藏村ノ内土田、平野、東谷、寺谷、上野ノ一部
五斗二升	五斗二升	五斗二升	五斗二升
乾燥調製	乾燥調製	乾燥調製	乾燥調製
依裝全上	依裝仕立ハ全上ナルモ縱繩ナシ	依裝全上	依裝全上
庄屋ノ手元ニ集メ役人ノ檢査ヲ受ケ納付ノ手續ヲ爲シ之ヲ賣却シテ金納ト爲シタルモノナリ	生野町代官所ノ倉庫ニ搬入檢査ヲ受ケ納付ス時トシテハ銀納及大豆ヲ納付スルコトヲ命ジタルモノナリ	糸井村林垣ノ領主ノ倉庫ヘ搬入檢査ヲ受ケテ納付セリ	大藏村ノ内土田領主ノ倉庫ヘ搬入檢査ヲ受ケテ納付セリ
明治四年七月十日篠山縣ト稱シ全年十一月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治元年七月十日久美濱縣ニ屬シ明治二年八月七日生野縣ニ編入明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入明治九年八月三十一日兵庫縣ニ編入	明治二年十二月日不詳久美濱縣ニ屬シ明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全上	明治二年十二月日不詳久美濱縣ニ屬シ明治四年十一月二日豊岡縣ニ編入以後全上

氷

象	藩	原	柏
圖平松	親	信	守
	雲	出	田
	織		
		一四、四八七	
	船城村ノ内 長三、新才、牛河内、山田、石才、内朝日、春日部村ノ内 七日市、野上野、多利、多田	柏原町ノ内 柏原、北中、奥、下小倉、和田村ノ内 應地、沼貫ノ内 稻畑、上久下村ノ内 阿草、下瀬、太田、新井村ノ内 母坪、生郷村ノ内 木郷、北野、大崎、久下村ノ内 池谷、北島、金屋、山崎、奥野々、成松町ノ内 大岡、葛野村ノ内 柿芝、長野、小川村ノ内 井原、岩屋、栗住野、西芦田、日曠久、田井繩、東芦田、棧敷、船城村ノ内 坂、野山、石才、佐治町ノ内 佐治、奥彌久、澤野、神樂村ノ内 檜倉、大名草、大稗、遠阪村ノ内 遠阪、山垣、黒井町ノ内 古河、前山村ノ内 上鴨坂、下鴨坂、	五斗二升 五合
		乾燥ハ稻架ニ架ケテ干シ扱落シタル後 摺チ爲シ唐箕選チナシタル後 搗杖ニ掛ケテ精選チナシタルモノナリ	乾燥ハ稻架ニ架ケテ干シ扱落シタル後 摺チ爲シ唐箕選チナシタル後 搗杖ニ掛ケテ精選チナシタルモノナリ
		依装仕立ハ全上ナレモ 縦繩ハ二方掛ナリトス	依装ハ二重依内 依ハ三ヶ所 横繩ヲ掛ケ外依ハ五ヶ所 掛ケトセリ 四方掛ケトセリ 小口カトリハ八ヶ所 又ハ九ヶ所 掛ヒニテ 順次引掛ケテ 終ルモノトス
		藩倉へ直納セシモノナリ	藩倉へ直納セシモノナリ
		明治四年七月十日 柏原縣ヲ置キ 全年十一月二日 豊岡縣ニ編入 明治九年八月三十日 兵庫縣ニ編入	明治四年七月十日 豊岡縣ニ編入 明治九年八月三十日 兵庫縣ニ編入

藩	牧	鶴	岡
順	忠	守	前
肥	野	水	
			正信守書
		七、二六〇	九、六三三
		黒井町ノ内 黒井野村、平松、美和村ノ内 勅使、酒梨、白毫寺、國須ノ内 國須、棚原、東中、袖津	黒井町ノ内 黒井野村、平松、美和村ノ内 勅使、酒梨、白毫寺、國須ノ内 國須、棚原、東中、袖津
		四	
		斗	
		全 乾燥調製 上	
		依装仕立 全上 縦繩ハ四方掛トス 口米ナシ	
		全 上	モノナリ
			明治九年八月三十日 兵庫縣ニ編入

全	旗元	堂上	藩谷長湯	藩	上	山	藩	田	三
志井	佐野	荻原	英之助	太清	若狭守	稻垣	隆義	長門守	九鬼
五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、九四〇		二、二八九			六、〇〇〇	
沼貫村ノ内稻畑 生郷村ノ内本郷	新井村ノ内鶴野、大新屋 生郷村ノ内稻畑	吉見村ノ内上垣 竹田村ノ内中竹田	竹田村ノ内下竹田 美和村ノ内東勅使		成松町ノ内成松、黒田、 上成松、葛野村ノ内大谷 三原、中野、上新庄			幸世村ノ内伊佐口、香夏 絹山、棧敷ノ内北油頁、 南油頁、水上、生郷村ノ 内市邊、權田、石負	
五斗全上	五斗全上	五斗全上	五斗全上		五斗全上			五斗二升 五斗全上	
口米ナシ	依裝ハ旗元以 下全上 口米ナシ	依裝全上 口米ナシ	依裝全上 口米ナシ		依裝全上 口米ナシ			依裝全上 口米五升	
全上	全上	全上	全上		全上			全上	
			明治四年七月十 四日湯長谷縣ト 改稱全年十一月 二日以後全上		明治四年七月十 四日山上縣ト改 稱全年十一月二 日豊岡縣ニ編入 明治九年八月三 十一日兵庫縣ニ 編入			明治四年七月十 四日三田縣ト改 稱全年十一月二 十日兵庫縣ニ編 入	

全	全	全	全	全	全	全	全
寛本	藤乘	川近	杉越	須淡	水長	安熊	柴七
司多	之取	江勝	前浦	路守	左野	吉藤	九郎
二、〇〇〇	一、〇〇〇	七〇〇	一、三七〇	四〇〇	四〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
市邊、美和村ノ内勅使	前山村ノ内上竹田、徳尾	鴨庄村ノ内南、上牧、戸平 北奥、春日部村ノ内小多利	小川村ノ内岩屋、和田村 ノ内小野尻、小畑、山本 福田、幸世村ノ内鴨内、 吉見村ノ内岡本、鴨庄村 ノ内岩戸	沼貫村ノ内新郷	沼貫村ノ内新郷	沼貫村ノ内新郷、谷稻畑 幸世村ノ内加茂	沼貫村ノ内小野、朝坂、 葛野村ノ内中野、三方、 中上下新庄
五斗全上	五斗全上	五斗全上	五斗全上	五斗全上	五斗全上	五斗全上	五斗全上
口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
							明治元年四月 廿八日久美濱 縣ヲ置キ明治 二年八月十日 生野縣トナリ

紀 多	郡				
藩 山 篠	全	全	全	全	全
敏忠夫太京左山青	川勝 鎗太郎	松野八郎兵衛	牧相模守	市岡 左太夫	備後守
五〇、八三六 福住村ノ内(安口、西野 々々、原山、奥、原山中、 原山下)ヲ除ク一回	五〇〇	一、〇〇〇	五〇〇	三〇〇	二、九〇九
五斗二升 五合	五斗	五斗	五斗	五斗	五斗
乾燥調製 全上	全上	全上	全上	全上	全上
口米五升 口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ
全上	全上	全上	全上	全上	全上
地主六歩小作四歩 明治四年七月十 四日篠山縣ト稱 シ今年十一月二 日豊岡縣ニ編入 明治九年八月三 十一日兵庫縣ニ 編入					

全	全	全	全	全	全	全	全	
川勝	武庫田 兵	安藤 駿河守	諏訪 金三郎	織田 上野介	平岩 金右衛門	永見 貞之丞	諏訪 母衣之助	能勢 大隅守
	六二	三〇〇	三〇〇	三、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	二〇〇	四三三
鴨庄村ノ内喜多、吉見村 ノ内梶原、春日部村ノ内	黒井村ノ内稻塚、船城村 ノ内歌道、谷、朝日、	久下村ノ内大河 上久下村ノ内上瀧、下瀧 上久下村ノ内上瀧	久下村ノ内玉巻 上久下村ノ内上瀧、下瀧	久下村ノ内谷川、南島、 山崎、小川村ノ内井原、 村森、奥、和田村ノ内梶 前川、北和田	遠坂村ノ内中佐治	神樂村ノ内總持、稻土、 遠坂村ノ内山恒、	上久下村ノ内青田	佐治町ノ内重原 神樂村ノ内稻土、小稗
五斗	五斗	五斗	五斗	五斗	五斗	五斗	五斗	五斗
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ	口米ナシ
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
<p>明治四年十一 月二日豊岡縣 トナリ明治九 年八月三十一 日兵庫縣ニ編 入</p>								

郡	津名郡	三原郡
龜岡藩	德島藩	三原藩
松平圖書頭正信	蜂須賀中納言茂昭	
五五〇	三八、一七一	二五、四五〇
福住村ノ内安口、西野々 原山奥、原山中、原山下	津名郡一圓	三原郡一圓
五斗	五斗一升	
乾燥調製	乾燥調製共嚴重 ニシテ搗板ニ掛 ケ糶小米批米等 除去セシモノナ	乾燥調製共嚴重 ニシテ搗板ニ掛 ケ糶小米批米等 除去セシモノナ
全上	口米ナシ	全上
藩ノ倉庫へ直納 手續ハ全上	庄屋五人組立會 取立チナシ洲本 ノ倉庫及福良ニ 搬出シ検査ヲ受 ケテ納付シ大阪 難波ノ藏又阿波 德島藩ノ藏へ納 付セシモノナ	庄屋五人組立會 取立チナシ洲本 ノ倉庫及福良ニ 搬出シ検査ヲ受 ケテ納付シ大阪 難波ノ藏又阿波 德島藩ノ藏へ納 付セシモノナ
明治四年七月十日 四日龜岡縣ト稱 シ全年十一月二 日豊岡縣ニ編入 明治九年八月三 十一日兵庫縣ニ 編入	津名郡ノ内志筑 町、中田村、生穂 村、佐野村、釜口 村、假屋町、浦村 岩屋町、淺野村、 仁井村、野島村、 齊波村、室津村、 尾崎村ハ明治三 年七月十七日兵 庫縣ニ屬シ明治 四年十一月十五 日名東縣ニ編入 明治九年八月三 十一日再ビ兵庫 縣ニ編入三原郡 一圓及津名郡ノ 内前記各村ヲ除 ク外ハ明治四年 七月十四日名東 縣ニ屬シ明治九 年八月三十一日 兵庫縣ニ編入	津名郡ノ内志筑 町、中田村、生穂 村、佐野村、釜口 村、假屋町、浦村 岩屋町、淺野村、 仁井村、野島村、 齊波村、室津村、 尾崎村ハ明治三 年七月十七日兵 庫縣ニ屬シ明治 四年十一月十五 日名東縣ニ編入 明治九年八月三 十一日再ビ兵庫 縣ニ編入三原郡 一圓及津名郡ノ 内前記各村ヲ除 ク外ハ明治四年 七月十四日名東 縣ニ屬シ明治九 年八月三十一日 兵庫縣ニ編入

參考

文政ノ頃我國農政學者佐藤信淵翁ノ著ハセル農政本論ニ於テ武家政治ノ年貢米徵集率ヲ定メ
ラレタル方法ニ付テ右ノ如ク述ベラレタリ依テ茲ニ諸君ノ參考ニ資セントス

根元取箇法

武家ノ政事トナルニ及テハ諸國種々殊異ナルコト有テ審ニスルコトヲ得ヘカラス今代徳川氏ニ至テ上田一段
ノ石盛ヲ十五トシテ其内ヨリ六ヲ取テ根取ト云フ是根高ノ事ニテ年貢トス乃四公六民ノ法ナリ上田一段ノ三
百歩也其一步毎ニ糶壹舛ツ、生スルヲ例トシテ一段ノ糶三石ナリ此ヲ半スリニシテ糶米一石五斗アリ故ニ此
ヲ十五ノ盛ト名ク此内ヨリ其一段ヲ作ル人足ヲ大約三十人掛ルト見テ一人ノ扶持米ヲ一日分三合七勺五撮ト
定テ三十日分凡一斗一舛二合五勺也是ニテハ不足ナレトモ百姓ハ野菜等ヲ雜テ食料トスルカ故ニ百姓扶持ハ一
日三合五勺五撮トスルコト古法也又別ニ種糶ヲ一段分一斗トシテ此糶米五舛ヲ除キ又一斗三舛七合五勺ハ肥
養農具代等ノ手當ニ賜ヒ都合三斗引テ残り一石二斗也此ヲ二ツ分テ六斗ヲ年貢ニ納メ六斗ヲ百姓ノ得分トス
由テ六斗ヲ一石五斗ニテ除クモ即四ツ取也是ヲ根取ノ法ト名ク實ニ是万民安堵ノ良法也不昧軒翁云上代ハ
年貢ヲ稻ニテ上納セリ中頃ヨリ糶米トナリ後又米納ト成リシヨリ此根取ノ法ハ起レルナリ然ルニ近來ニ至リ
取箇ハ石高ヲ用ユルカ故ニ此法ハ取箇帳ノ差引ニハ用ユレトモ其他ニハ用ヒサル法トナレリ今ニ至テハ夫食種
糶肥養農具代等ノ差別モナク五公五民ニ取ルコト爲テ動モスレハ六公四民ニ當ル處モアリトカヤ近來ノ割合
ニテハ上田一反十五ノ盛ナレハ七斗五舛取ヲ以テ高ニ五ヲ取ルノ法トナレリ或覺書ニ云理石ヲ以テ論スレハ
元來給地ノ石盛ヲ極ムル時ニ上田一步ノ地ニ步竿ヲ入テ坪刈ノ糶一舛アル地所ハ一段ノ糶三石ナリ是ヲ五分

摺り積レハ一石五斗ナルカ故ニ十五ノ盛ハ極メテ四六民ノ取箇ヲ着タル也然ルニ後ニ至リテ右一石五斗ノ内ヲ七斗五舛迄ハ取テモ苦シカルマシト考テ此ヲ定格ノ根取ト立テ取箇ノ元法トナセリ此法ニテハ勘定ノ理屈ハ宜シカルヘシ然レモ少思ナル法ト謂サルコトヲ得ス故ニ理取ノ法ト成テヨリ百姓ノ人別ハ漸々衰耗ニ及ヘリ能々勘辨アル可キコト也玄明窩翁曰理石取ハ法ノ苛ク爲リタルハ論ナシ然モ予熟按ニ百姓ノ衰微スルハ必シモ取箇ノ強キニ因ルノミニ非ス其仔細ハ予先年中田四反ヲ同郷農夫ニ貸シテ作ラセタリシニ大約年ニ六七石ノ米ヲ生スルノミニテ豊熟ノ年ニモ八石以上ノ米ヲ得ルコトナシ由テ其田ヲ取リ揚ケテ予自ラ作リテ試ミタリ其法先ツ其刈跡ヲ正月ヨリ縦横ニ深ク耕シ蒸シ腐リタル厩肥ヲ饒カニ入レ耙リ錯テ土ト調和シ三月上旬ヨリ水ヲ泄シ乾田トナシ又縦横ニ犁返シ太陽ニ晒スコト五六十日許五月初ニ水ヲ灌テ精細ニ耕シ糞草ヲ多ク用テ混合シ然シテ後ニ苗ヲ刺シ培養ト耘籽ニ懇到ヲ盡シタリケレハ其秋ハ十二石八斗餘ノ米ヲ得タリ翌年ハ別シテ耕耘ヲ精クシ糞養ヲ厚シテ手入ヲ細ニセシカハ十三石二斗餘ノ米ヲ生セリ是レヨリ以後年々十二三石ニ下リタルコトナシ然レバ百姓ヲ富マス法ハ取箇ヲ低クスルノ謂ニ非スシテ其實ハ全ク耕種ノ術ノ精密ニシテ農業ヲ勉勵スルコトニ有ルコトヲ察スヘシ田畑ヲ始テ石盛ヲ付タルハ坪刈ノ粒數ヨリ出タル事ニテ君民上下然セサルヲ得サルノ理ニシテ人生ヲ安靜シ太平ヲ永續スルノ良法也然レハ能村方盛衰ノ様子ト作物利潤ノ厚薄ヲ考合セサレハ一概ニハ推付難シ且又取箇ヲ極メタリト云モ年數ヲ經ルルハ土地變化シ稅則ヲ改ムヘキ所アリ又其處ノ極テ隆盛ナルニ就テハ上田十五ノ盛ヨリ倍シテ高キ土地モ又コレアリ甲洲ノ万刀筋ノ麥田ハ二十一ニ麻田ノ盛ハ二十三蘭田ハ二十六七ナルアリ是尙毛作ナルヲ以テ也大和國ハ二十七八ノ盛アリ越前國稻畑ニハ三十八九ノ盛アリト云凡土地ノ物産ハ一坪ヨリ生スル處ヲ檢閲ニシテ一段ヨリ出ル數ヲ量リ其一段ノ產物

ノ價銀ヲ以テ米ヲ買フトモハ何程ナルコトヲ能察シ其割合ヲ以テ石盛ヲ仕出シ其村高ニ結フテ古來ノ定法トス今夫草綿ヲ作ルヲ以テ例スレハ先ツ一坪ノ畑ニ三條ノ畦ヲ作リ一畦ニ綿十六本ツ、植ルルハ三畦四十八本ナリ此綿一本ニ桃十五ツ、生スルルハ四十八本ニテ七百二十アリ其内ノ三分ノ一二百四十ヲ虫食糞トシ此ヲ除キ残り四百八十ナリ此桃一箇ニ平均三分ツ、實綿ヲ吹クト積ルルハ其實綿百四十四枚アリ然レハ一段三百坪ニテハ四十三貫二百目也此ヲ六百目一斤ト積ルルハ七十二斤アリ實綿七十二斤ハ繰綿ニスルモ又七十二斤餘アル者也繰綿ハ二百目ヲ一斤トス大和國實綿六百目ヲ繰綿ニスレハ大概二百五十日アリ其他畿内諸國ハ五百三四十目甲斐信濃等ハ二百二十目程ナリ凡其實綿六百目ヲ世俗ニ一把ト稱ス其一斤ノ價銀一匁五分ツ、ト見積ルルハ七十二斤ノ價銀百八十目ナリ此銀ニテ一石五十目ノ米ヲ買フルハ二石一斗六舛ヲ得ヘシ此米ヲ一段ノ田ニ出來タル者ト見テ石盛ヲ直スルハ乃二十一盛ナルコトヲ知ル可シ何レノ物産モ此法ヲ用テ石盛ヲ付ルルハ皆其相當ヲ得ヘシ若又其體ナル當リ物モナク唯其形貌ノ繁昌ナルヲ見込ミ實利ノ有無多少ヲ審ニ算當セス推量ノミニテ石盛ヲ極ルルヲ無証付ト名ケ甚禁スヘキ事ナリ且又坪刈ト云フモ一枚ノ田畑ノ中ト云モ五處ニテ刈レハ五處ノ異アリ七處ニテ刈レバ七處ノ異アリテ處ニ從ヒ別々ニ立毛ノ甲乙出ル者ナルヲ以テ體ナルコトモ定メ難シ若シ然ルヘキコトナクハ處々ニテ坪刈シ能ク平均シテ極ムヘキ事ナラスヤ我家ニテ門人ニ教ルニハ必上中下ノ三處ニテ坪刈ヲナシム檢地ニ從事スル者ハ能勘辨ス可キ事ナリ

夏 成

信淵按ニ右ハ漢土ニテモ夏稅秋糧ト稱シテ夏ハ畑方ノ年貢ヲ收メ秋ハ田方ノ賦稅ヲ納シム所謂夏稅ハ即今ノ

夏成也ノ皇國ハ嵯峨帝弘仁二年菅清公藤内磨僧空海等ニ命シ賦稅徭役ノ事ヲ改正ス此時ヨリ夏ハ麥ヲ正稅ノ如ニ納メシム故ニ時モ復上古ト變リ稅法重クナリテ万民ノ衰弊ヲ起ストノ謗アリ是ヲ夏成ノ始トス今ノ世ニ至ラハ關東ノ永取上方ノ三分一銀納出羽奥州ノ半石代甲州ノ大切小切等皆是畑年貢ナレモ唯關東ノミ夏成ト稱シテ益前ニ納メ其他ノ諸國秋糧ト一度ニ此ヲ上納ス又西海道ノ諸州ニハ夏石ト稱シテ元祿年中迄ハ麥ヲ納メタル處アリ然レ今ハ其事モ休テ納ルコトナシ且關東ノ夏成モ麥ヲ納ルコトシテ唯其畑取永ノ内ヲ夏納ムルニ由テ夏成ト稱スルノミ他國ハ皆秋成ト一同ニ此ヲ納テ少シク遲速アルマテノコト也故ニ關東ニ夏成アレモ別ニ取箇ノ強キニ非ルコトヲ知ルヘシ然レモ麥納ハナシト云モ諸國一體作物ノ取箇ハ皆悉秋成ノ内ニ籠リ古代ノ制トハ大ニ變リ稅則ヲ甚強クシテ夏稅秋糧ヲ一同ニ取立ルヲ以テ其實ハ關東ノ夏成ヲ取立ルト割合ハ異ナルコトナシ故ニ嵯峨帝ノ御世ニ始メテ麥納ノ割起リシカトモ是時代ノ租稅ハ至テ輕キコトニテ今ノ取箇ニ比スルハ三四分ノ一ニモ及ハス此ニ因テ觀ルルハ夏稅ニ麥ヲ納ルモ百姓ノ衰弊スル程ノ理ナシ然ルニ万民困窮スルノ謗アリト云ヘリ故ニ取箇ヲ増加スル事ハ信ニ容易ナラサルコトヲ察セヨ不味軒翁云凡百姓ヲ撫御スルニハ斷ノ非ス愚人ニ錢ヲ懷中セシムルハ動モスレハ奢侈ノ念ヲ起シ或ハ酒食ニ耽リ或ハ博奕ヲ行フ事アリ皆是風ヲ敗リ俗ヲ傷ルノ元ナリ民事緩クスヘカラス百姓其業ヲ勵ムルハ季春ニハ芸菘^{ウツクサ}松子^{マツゴ}等ノ利アリ首夏ニハ蠶豆菘豆等豐熟シ五月ハ麥ヲ採リ且眞綿紅花藍葉麻早蕎麥早大豆其他種々ノ蔬菜瓜茄子等モ漸々熟シ頗大益アリ然レハ古來ノ引キ付ナシト云モ能教諭スルルハ夏成モ亦納ムヘカラスルノ理ナシ首夏ヨリ深秋ニ至ル迄ノ間

久シク錢ヲ貯置キハ或ハ無益ノ散財有テ田畑ノ年貢ヲ一同ニ上納スル時ノ難澁モ亦出來ル者也土地ヲ領スル者ノ熟慮アルヘキ所ナリ

上方田畑米取三分一ノ銀納或ハ十分一大豆納且上方ハ關東ヨリハ石代ニ割増シ出羽奥州ハ一倍違ノ説

上方ハ田畑皆米ニテ年貢ヲ納メ唯木綿ヲハ檢見取ニス木綿モ亦米取也然レモ畑ハ米ノナキヲ以テ田畑石盛總取米ノ高ヲ三分ニシテ其一分ヲ石代ニテ銀納ニス即是畑年貢ナリ所謂畑年貢モ米ニテ納ムルト云モ此ヲ銀納ニスルヲ以テ關東ノ永納ニ同シ然レモ其畑高ノ多少ニ拘ハラズ其村田畑ノ總取米高ノ三分ノ一ヲ石代ニテ銀納スルヲ以テ關東ノ永納ト異ナルノミ右石代ヲ最初ノ米一石銀四十八匁ノ定直段ヲ以テ上納セリ然ルニ享保十九寅年ヨリ他所ノ石代同様ニ御勘定所伺ノ上其年ノ上米ヲ平均シ其直段ヲ以テ上納スルコトニ改マル最初ノ石代米一石銀四十八匁替ト極メタルコトハ關東ノ永一貫文米二石五斗替ニ對用スル積リヨリ始レリ其譯ハ米一石銀四十八匁替ハ永一貫文ニ米二石二斗五斗替ニテ即チ畑永二石五斗替ニ對用ス其仔細ヲ論センニ凡永一貫文米一石五斗替ハ田畑同厘ヲ得ルノ假直段ナリ上方關東遠國共ニ畑方ハ六分迄ノ定法ニテ二石五斗ノ六分ハ一石五斗ニテ即關東畑永ノ實直段ナリ上方ノ土地ハ田畑共一統ニ上々地ノ多キカ故ニ大概二割増ト見テ米直段モ關東ヨリ二割増ヲ積リ一石五斗ハ即一石二斗五斗ノ三割増ノ石代ニテ上方關東鈞合セテノ直段也即米一石銀四十八匁替ハ金一兩米一石二斗五斗ニ當ル又出羽奥州モ上方トハ一倍違ト見テ出羽奥州ノ米二百石ハ上方ノ百石ニ對用スル積リナリ關東ハ金一兩米一石五斗ナレハ一石ハ銀四十匁替ニテ出羽奥州ハ金一兩米二石

五斗替ナレハ米一石ハ銀二十八匁ノ直段ナリ故ニ半石半永安直段モ右ノ割合ニテ見レハ固ヨリ止ムヲ得サルノ勢ニテ田畑同厘ト見テ過不足ノ無キ次第ナリト知ルヘシ右ノ上方三分一銀納ノ石代米一石銀四十八匁ト極リシ譯ヲ審ニスルニ先其假取米二十五石ノ三分一八石三斗三匁ヲ定トシ其三分二ノ十六石六斗六匁六合六匁六撮ヲ法トシテ除キ此ヲ右ノ二十五石ニ乗スレハ十二石五斗ト云フ畑方百石ヲ永二十貫文トスルヨリ一石貳斗三匁ヲ法ニ記シテ畑方五十石ハ永十貫文ノ地ナリ右十二石五斗ノ永十貫文ニ對用スルニ依テ一石二斗五匁ハ永一貫文ニ當ル是三分一銀納四十八匁ノ濫觴也公納銀ノ直段六十匁ヲ實トシ一石二斗五匁ヲ位トシテ除クトキハ即一石ノ米代ハ四十八匁ト出ツ上方ハ銀違ナルヲ以テ公納モ銀ヲ用フ昔ハ金一兩ハ銀六十匁ヨリモ高直ナリシヲ御救ノ爲メニ六十匁替ノ定法トシテ百姓ヲ潤シ給フ趣旨ナレモ今ハ却テ害トナル事也又其三分一銀納十分一大豆納ニ成シテハ遙カ後布告ニナリシ事ニテ近頃出來タル法ナリ玄明窩翁云上方ノ三分一銀納ヲ定直段四十八匁ト極メタルハ關東ノ畑永ヨリ二割増ナル段別ノ釣合ヲ茲ニ記シテ以テ初心ノ校合ニ供ス其算當左ノ如シ上畑一段歩上方

此代永百九十二文但シ三分一直段四十八匁替ニテ金一兩 此分米六斗

米一石二斗五升

此取米二斗四升

石盛 六ツ

免 四ツ

但シ上方ニハ永取リト云事ハナケレモ關東ノ釣合ヲ見センカ爲メ假ニ永ニ付立タルナリ

上畑一反歩關東 此永百六十文但畑米金一兩ニ米一石二斗替ナリ

此分米六斗

石盛

免 四ツ

但シ關東ニ畑米ト云ハ無キナレモ上方トノ釣合ヲ見センカ爲メ假ニ永ニ米ヲ付立タルナリ右上方ノ段取貳斗四匁ニ四十八匁ヲ乘スレハ十一匁五分二厘トナル此ヲ公納銀六十匁ニ除クキハ永百九十二文トナル又關東ノ反取貳斗四匁ヲ實直段一石五斗ヲ以テ除キナハ永百六十文トナリ又此ニ二割増加レハ百九十文トナリ又其公納六十匁ニ二割減ヲ乘スルキハ四十八匁トナル何レモ關東ヨリ二割高ノ勘定ナリ又其三分一銀納ノ中ヲ十分一大豆納ニスルモアリ或ハ大豆ノ直段ニ書出シ上ミニテ極ル所モアリ或ハ古來ノ引付アリテ定直段ニテ納ル處モアリ或ハ總米高ノ十分一ヲ大豆ノ石代ニテ納ル處モアリ或ハ引付ニテ正大豆ニテ納ル村モアリ或ハ大豆銀納モ正大豆納モ共ニナキ處モアリ或ハ十分一ハ大豆納ニテ引殘リハ米納トスル村モアリ或ハ譯有テ定石代銀納ハ數定リ本納ノ内モ銀納トスル村モアリ又ハ年ノ凶荒ニ因テ青米等多ク上納成難キニ就キ願ヒ石代ト云テ其數ヲ極メ銀納トスル事モ是アリ又廻米ノ成難キ土地或ハ其處悉ク畑ノミニテ皆銀納ノ村モアリ古來ノ仕來リニテ種々殊異ナル納分ノアル者ナリ右三分一銀納ノ謂レハ上方筋中國西國ノ耕地ヲ平均スルニ大約田方ハ三分二畑方ハ三分一ノ積ヲ右ノ如ク極メタル事ナルヘシ抑此上方ノ田畑共米取三分一銀納トシ關東ニハ田方米取リ畑方永取リト定メタルハ年久シキ事ニテ何レノ頃ヨリ始レルニヤ審ニ知ヘカラスト云モ能行届キタル仕法ニテ擾乱時世ニハ件々以テ企テ及ヘキノ業ニ非ルナリ然レハ此又鎌倉北條執權時代ヨリ遺傳ノ制度ナルヘシ

出 目 米

此出目米ト云者ハ關東領内ニハ絶テナキ事ニテ關外ノ遠國此例アリ私領ハ關東ニモ大抵皆アリ年貢米ノ石數

ニ掛テ納ルコナリ尤モ員數ハ區々ニテ定マルコアルコナシ出羽國ハ本途ノ年貢米一石ニ二舛ツ、ノ出目米ナリ奥州白河郡ニ見取三斗三舛ニ二舛ノ出目米アリ駿遠三ノ三國ハ古來本石納トナリシヲ元祿十六年ヨリ斗立ノ上ニ一俵ニ二舛ノ出目ヲ掛テ外物トシテ取立ルコトナレリ昔ハ延米ト稱シ員數ヲ定メス斗樹ニ米ヲ入レ次第山盛計ニシテ納メシカ故ニ三斗五舛入ノ一俵ハ四斗餘モ有リシ由ニテ百姓ノ難儀ヲ憐愍アリテ延米ヲ止ラレタリ故ニ今ハ延米ノ名ナシ然レモ出目米延米ハ一物兩名ノミ又上野國綠野郡ニハ延大豆延真綿アリ尤大豆ハ一俵ニ一舛一合二勺五撮ツ、延真綿ハ百八十斤五十八匁八分五厘三毛ツ、ナリ又同國高崎領ノ延米壹石ニ四斗六舛ツ、出目アリ此ヲ四六ノ延ト云フ

關 東 込 米

此ハ藏納メニ在ルコニテ口米トモ名ケ關東ハ御藏米一俵三斗五舛ニ付テ一舛ツ、ニテ一石ニ貳舛八合五勺七撮ナリ上方筋ハ一石ニ三舛ツ、奥州田村石河ノ二郡ハ一石ニ六舛ツ、同國信夫伊達宇多ノ三郡ハ一石ニ五舛白河岩瀬二郡ハ三舛甲州ハ一石ニ四舛五合四勺上州群馬郡ハ六舛或ハ四舛貳合納ル村アリ抑此關東込米ハ鎌倉時代ヨリ有リシ事ニテ地方役人ノ役所入用并ニ筆墨等ノ雜用ナリシカ享保年中ニ至リ神尾若狹守ノ取計ヒニテ役所ノ諸雜用ハ上ヨリ成サレテ口米口永ハ悉取立ニナル役人ニハ賜ハラサル事ト成レリ又甲州ノ口米ハ公納口三舛口ト二口アリ其仔細ハ口米ノ多キ土地ナルヲ以テ先ツ米壹石ニ三舛ヲ三舛口ト唱ヘテ此ヲ代官ニ下シ置レ別ニ一舛五合四勺ヲ公納口ト稱シテ上ニ納ルナリ然ルニ近來ハ二口共ニ悉上納スルコトニ成テ名目ノミ殘レリ倍其三舛口ハ石代ニテ金納シ公納口ハ米納ニス又奥州筋ノ五舛六舛ノ口米モ三舛ハ石代金納ニシテ其餘ハ米納ナリ

口 永

此ハ關東及諸國共ニ本永一貫文ニ付三十文ツ、掛ルヲ並トス然レモ奥州石河郡ハ本永十六貫文ノ口永一貫文ツ、掛ルヲ以テ本永一貫文ニ口永六十二文五分ニ當ル又白河郡ハ本永一貫文ニ口永四十一文六分一厘六毛掛ル右様ニ古來ノ引付ニテ異ナル類モ有ルモノナレモ大抵三舛ノ口永三十文ツ、口永ハ往古鎌倉時代ヨリノ遺法ナリト云フ然ルニ寛永新錢ノ比鉅ハ一貫文ニ三十文ノ口永ヲ九六錢ニ直シ三十一文二分五厘ツ、取立ルコトナリシカ其後享保五子年ヨリ復往古ノ如ク永鏹共ニ口永三十文ツ、ニ布告アリ今ハ大概何レノ國モ三十文ツ、也予曾テ四海ヲ遊歴シテ遍リ國土ノ形勢ヲ熟覽スルニ遠國代官ノ支配所ハ大抵皆諸侯領國ノ間ニ介シテ犬牙相接ス而シテ其高或ハ五万石或ハ十万石ノ地往々土壤膏腴物產豐饒人民殷盛ニシテ繁華都會ノ大邑多シ然ルニ支配ノ代官僅十四五人ノ奴僕ニテ其地ヲ治テ此ヲ侵ス者アルコトナキハ國家綱紀嚴整ナルヲ以テ大諸侯ト云凡其威ヲ畏ル、カ故ニ所謂代官ノ支配スル土地ハ縣令其人ヲ得テ能其百姓ヲ率育スルキハ小人數ニテモ守ルコトヲ得ヘシト云凡或ハ此ヲ永ク諸侯ニ託シテ人民ヲ撫御セシムルニ至テハ全ク此ヲ封シタルト異ナルコトナシ故ニ太平ノ世ノ政ハ朽索ノ六馬ヲ馭スルカ如キ者ナリ

錢 給 之 始 末

田地ノ高ヲ錢ニテ算ヘシコトハ天下既ニ霸府ニ皈シタル後ニ出來タルコトニテ北條氏鎌倉執權ノ頃ヨリ始マリ蓋本朝ニ於テ錢ヲ鑄タルコトハ上古ノ世ニ未曾有也然凡推古舒明二帝ノ御世ヨリ隋及唐國へ使ヲ遣ハサル、一數

ナリシヲ以テ隋五銖錢唐開元錢等漸々多ク渡リ來テ通用セシカ故ニ齊明天智二帝ノ頃ニハ唐渡ノ銅錢頗ル
 世ニ通用シ其後天武天皇白鳳三年ニ至リ對馬國始テ白銀ヲ出セシヨリ銀錢銅錢ヲ鑄テ通用セシト見ヘタリ
 天武天皇白鳳十二年四月壬申詔ニ云ク自今以後必用銅錢莫用銀錢ト且持統天皇八年ニモ拜鑄錢司ノ事アリ又
 文武天皇二年十二月庚子始置鑄錢司ト記セリ然レ此時代ニ鑄錢スル所ノ銅ハ日本ニハ未タ出サル時ナレハ
 定テ唐渡ノ銅ヲ用ヒタル事ナル可シ且其錢文字モ審カナラス其後元明天皇ノ時武藏國ヨリ始テ銅ヲ出セシヲ
 以テ年號ヲ和銅ト改メ鑄錢司ヲ京都ニ置キ和同開珍錢ヲ鑄ル是ヲ皇國錢ノ始トス初和同開珍ノ錢ハ銀銅二種
 并ニ行ル然ルニ同三年九月乙丑ニ詔ヲ下シテ銀錢ヲ禁止セリ其後聖武天皇二十一年奥州ヨリ始テ黃金ヲ出セ
 リ然レ此當時佛教ヲ尊信スル極メテ盛ニシテ悉皆佛感ノ所爲ナリトシ國家融通ノ事ニハ構ヒ給ハス尋テ銅
 ヲ以テ大佛像ヲ鑄造シ是ヲ國分寺ニ安置ス是レヨリ以後ハ貴賤上下皆此レニ効ヒ諸國諸邑數多ノ銅佛ヲ鑄テ
 此ヲ安置シ人ニ見セルヲ譽レトスルノ惡習トナリ銅佛ヲ鑄ル極メテ多ク鑄錢司ノ用銅盡テ其業大ニ衰微シ
 其後淡路廢帝天平寶字四年ニ金銀銅三種ノ錢ヲ鑄ル銅錢ヲ万年通寶ト云ヒ銀錢ヲ天平元寶ト云ヒ金錢ヲ開基
 勝寶ト云ヒ其後稱徳天皇天平神護元年ニ神功開寶錢ヲ鑄ル桓武天皇延暦十五年ニ隆平永寶ヲ鑄ル嵯岐天皇弘
 仁九年富壽神寶ヲ鑄ル僧空海字ヲ作ルト日本記ニ見ヘタリ其後仁明天皇承和二年ニ承和昌寶ヲ鑄造シ嘉祥元
 年ニ長年大寶ヲ鑄ル清和天皇貞觀元年ニ饒益神寶ヲ鑄造シ同十二年ニ貞觀永寶ヲ鑄造ス宇多天皇寬平年中ニ
 鑄寬平大寶醍醐天皇延喜七年ニ延喜通寶ヲ鑄ル村上天皇大德二年ニ乾元大寶ヲ鑄ルト拾芥抄ニ見ヘタリ此乾
 元大寶ト延喜通寶ニハ銅錢鉛錢ノ二種アリ信淵熟古錢ノ今ニ存スル者ヲ觀ルニ其性純雅精好ナルモ和同開珍
 ヲ第一トス信ニ唐ノ高祖ノ時ニ鑄造セル開元通寶錢ト伯仲スヘシ按ニ舊唐書高祖即位仍用隋五銖錢武德四年
 七月廢五銖錢行開元通寶給事歐陽珣製詞及書其字含八分及隸體云其後御世ノ累ルニ從ヒ鑄錢司衰微シテ其錢
 下品ト爲リ愈後レタルハ愈惡シ寬平通寶以下延喜通寶乾元通寶等ノ如キハ其性薄惡ニシテ皆衰世ノ風アリ鉛
 錢ハ殊ニ卑シ然レ此宇多醍醐二帝共ニ英明ノ君ニアシマシテ能國政ヲ勤メ給ヘリ斯カル英明ノ天子ノ御世ニ
 鑄造極メテ惡カリシ譯ハ佛像ニ鑄造スルニ銅ノ費ルコト甚多キ故也是レヨリ以後ハ外國ト互市交易スルコト益盛
 ニナリシニ由テ漢土ノ錢多ク渡リ來リ都鄙通用不自ナカリシカハ和錢漢錢益行レテ國家安寧也其後白河天
 皇佛教ヲ尊崇スルコト言語ニ絶セシコトニテ佛事ニ國家ノ財用ヲ靡耗シ銅佛ヲ鑄造スルコト大小三千以上ニ及ヘリ
 故ニ銅山ヲ掘リ採ルコト極メテ多ク其本ヲ涸竭セシムルニ至レリ其レニ由テ本邦鑄造ノ銅錢鉛錢愈薄惡ニ爲テ
 世上皆唐渡錢ノミヲ貴ヒシヲ以テノユヘニ皇國錢ハ賤キコト甚シ後鳥羽天皇建久四年ニ異國錢ノ通用ヲ嚴ク制
 禁セラレシコト法晋至要ニ見ヘタリ是レヨリ以後ハ異國錢ヲ渡シ來ルコトナク皇國錢モ又漸々消耗シテ七八十年
 ヲ經ルノ間ニ四海皆錢ノ乏キニ難澁シ世上一統諸產物賣買融通ニ手支ヘナスニ至レリ此ニ由テ異國錢通用止
 ノ制禁ヲ免シ給フト云ヒ錢相場意外ニ貴ク出羽奥州等偏鄙ノ土地ハ別シテ錢ノ拂底ナルニ手窘テ金一兩唐渡
 錢七百文通用ノ相場アリト云フ今ノ人此說ヲ聞ハ驚異シテ妄語ナリトシ信スル者有マシケレ此愚老ハ先祖代
 ヲ出羽國ニ居住スルコト二百年ニ及ヘリ故ニ我家ニハ種々ノ古記録多シ且又同國雄勝郡杉宮村三輪大明神ノ社
 記ニ此等ノ事ヲ記スルコト甚審カ也殊ニ奥州伊達郡信夫郡宇多郡ハ今モ七百文替ノ出目ヲ出ス法アリテ甚出目
 金ヲ上納ス中編ノ七百文出目ノ條ト互校シテ予カ言ノ妄ナラサルヲ知ヘシ田地ノ高ヲ錢ニテ算ヘシコトハ龜山

ナリシヲ以テ隋五銖錢唐開元錢等漸々多ク渡リ來テ通用セシカ故ニ齊明天智二帝ノ頃ニハ唐渡ノ銅錢頗ル
 世ニ通用シ其後天武天皇白鳳三年ニ至リ對馬國始テ白銀ヲ出セシヨリ銀錢銅錢ヲ鑄テ通用セシト見ヘタリ
 天武天皇白鳳十二年四月壬申詔ニ云ク自今以後必用銅錢莫用銀錢ト且持統天皇八年ニモ拜鑄錢司ノ事アリ又
 文武天皇二年十二月庚子始置鑄錢司ト記セリ然レ此時代ニ鑄錢スル所ノ銅ハ日本ニハ未タ出サル時ナレハ
 定テ唐渡ノ銅ヲ用ヒタル事ナル可シ且其錢文字モ審カナラス其後元明天皇ノ時武藏國ヨリ始テ銅ヲ出セシヲ
 以テ年號ヲ和銅ト改メ鑄錢司ヲ京都ニ置キ和同開珍錢ヲ鑄ル是ヲ皇國錢ノ始トス初和同開珍ノ錢ハ銀銅二種
 并ニ行ル然ルニ同三年九月乙丑ニ詔ヲ下シテ銀錢ヲ禁止セリ其後聖武天皇二十一年奥州ヨリ始テ黃金ヲ出セ
 リ然レ此當時佛教ヲ尊信スル極メテ盛ニシテ悉皆佛感ノ所爲ナリトシ國家融通ノ事ニハ構ヒ給ハス尋テ銅
 ヲ以テ大佛像ヲ鑄造シ是ヲ國分寺ニ安置ス是レヨリ以後ハ貴賤上下皆此レニ効ヒ諸國諸邑數多ノ銅佛ヲ鑄テ
 此ヲ安置シ人ニ見セルヲ譽レトスルノ惡習トナリ銅佛ヲ鑄ル極メテ多ク鑄錢司ノ用銅盡テ其業大ニ衰微シ
 其後淡路廢帝天平寶字四年ニ金銀銅三種ノ錢ヲ鑄ル銅錢ヲ万年通寶ト云ヒ銀錢ヲ天平元寶ト云ヒ金錢ヲ開基
 勝寶ト云ヒ其後稱徳天皇天平神護元年ニ神功開寶錢ヲ鑄ル桓武天皇延暦十五年ニ隆平永寶ヲ鑄ル嵯岐天皇弘
 仁九年富壽神寶ヲ鑄ル僧空海字ヲ作ルト日本記ニ見ヘタリ其後仁明天皇承和二年ニ承和昌寶ヲ鑄造シ嘉祥元
 年ニ長年大寶ヲ鑄ル清和天皇貞觀元年ニ饒益神寶ヲ鑄造シ同十二年ニ貞觀永寶ヲ鑄造ス宇多天皇寬平年中ニ
 鑄寬平大寶醍醐天皇延喜七年ニ延喜通寶ヲ鑄ル村上天皇大德二年ニ乾元大寶ヲ鑄ルト拾芥抄ニ見ヘタリ此乾
 元大寶ト延喜通寶ニハ銅錢鉛錢ノ二種アリ信淵熟古錢ノ今ニ存スル者ヲ觀ルニ其性純雅精好ナルモ和同開珍
 ヲ第一トス信ニ唐ノ高祖ノ時ニ鑄造セル開元通寶錢ト伯仲スヘシ按ニ舊唐書高祖即位仍用隋五銖錢武德四年
 七月廢五銖錢行開元通寶給事歐陽珣製詞及書其字含八分及隸體云其後御世ノ累ルニ從ヒ鑄錢司衰微シテ其錢
 下品ト爲リ愈後レタルハ愈惡シ寬平通寶以下延喜通寶乾元通寶等ノ如キハ其性薄惡ニシテ皆衰世ノ風アリ鉛
 錢ハ殊ニ卑シ然レ此宇多醍醐二帝共ニ英明ノ君ニアシマシテ能國政ヲ勤メ給ヘリ斯カル英明ノ天子ノ御世ニ
 鑄造極メテ惡カリシ譯ハ佛像ニ鑄造スルニ銅ノ費ルコト甚多キ故也是レヨリ以後ハ外國ト互市交易スルコト益盛
 ニナリシニ由テ漢土ノ錢多ク渡リ來リ都鄙通用不自ナカリシカハ和錢漢錢益行レテ國家安寧也其後白河天
 皇佛教ヲ尊崇スルコト言語ニ絶セシコトニテ佛事ニ國家ノ財用ヲ靡耗シ銅佛ヲ鑄造スルコト大小三千以上ニ及ヘリ
 故ニ銅山ヲ掘リ採ルコト極メテ多ク其本ヲ涸竭セシムルニ至レリ其レニ由テ本邦鑄造ノ銅錢鉛錢愈薄惡ニ爲テ
 世上皆唐渡錢ノミヲ貴ヒシヲ以テノユヘニ皇國錢ハ賤キコト甚シ後鳥羽天皇建久四年ニ異國錢ノ通用ヲ嚴ク制
 禁セラレシコト法晋至要ニ見ヘタリ是レヨリ以後ハ異國錢ヲ渡シ來ルコトナク皇國錢モ又漸々消耗シテ七八十年
 ヲ經ルノ間ニ四海皆錢ノ乏キニ難澁シ世上一統諸產物賣買融通ニ手支ヘナスニ至レリ此ニ由テ異國錢通用止
 ノ制禁ヲ免シ給フト云ヒ錢相場意外ニ貴ク出羽奥州等偏鄙ノ土地ハ別シテ錢ノ拂底ナルニ手窘テ金一兩唐渡
 錢七百文通用ノ相場アリト云フ今ノ人此說ヲ聞ハ驚異シテ妄語ナリトシ信スル者有マシケレ此愚老ハ先祖代
 ヲ出羽國ニ居住スルコト二百年ニ及ヘリ故ニ我家ニハ種々ノ古記録多シ且又同國雄勝郡杉宮村三輪大明神ノ社
 記ニ此等ノ事ヲ記スルコト甚審カ也殊ニ奥州伊達郡信夫郡宇多郡ハ今モ七百文替ノ出目ヲ出ス法アリテ甚出目
 金ヲ上納ス中編ノ七百文出目ノ條ト互校シテ予カ言ノ妄ナラサルヲ知ヘシ田地ノ高ヲ錢ニテ算ヘシコトハ龜山

天皇ノ御代ニ鎌倉執權北條相摸守時宗弘長年中ニ使ヲ漢土ニ遣ハシ黄金ヲ彼國ニ送り銅錢ト交易シ來テ世上ノ難澁ヲ融通セシカハ天下ノ人民皆大ニ歡テ時宗ヲ欣戴セリ是時代ヨリ田地ノ高ヲ錢ニテ算フ其概畧ハ田地ノ五段ヲ唐渡錢一貫文ト定メタル法也令義解ノ稅則ハ上田一段ノ取箇ヲ二十五盛トシ中田ハ二十下田ハ十五下々田ハ十トシテ次第ニ八乘ノ二割落也此四等ノ地ヲ平均スレハ一段ノ田ヨリ糶ヲ二石ツ、生スル算當ナリ故ニ大約一段ノ高ヲ二石ト見テ五段ヨリ十石ノ糶ヲ出スヲ法トシ郡府ノ取箇ハ五公五民ノ稅則ナルヲ以テ五段ノ田地ハ高十石ノ内年貢ヲ五石上納ス此ヲ石代上納ニスルハ唐渡錢一貫文ヲ納メシム一貫文ハ金一兩ナルカ故ニ乃チ金一兩ニ糶五石替ノ相場也故ニ田五反ハ八十石ノ土地ニテ乃唐渡錢一貫文ノ領地也後醍醐天皇鎌倉ヲ滅シテ一旦天下ヲ恢復シ給ヒ建武元年ニ乾坤通寶ト云フ銅錢ヲ鑄テ楮幣ト并用ヒ給ヒケルカ間モナク足利尊氏カ反逆ニ由テ國家大ニ乱レ天皇京都ヲ捨テ逃去リ給ヒ其事即止ト大日本史ニ見ヘタリ信淵熟此時代ニ錢給ノ事ヲ記シタル諸稅ヲ按ニ新編纂圖ニ云高時カ領地二十八万七千貫米納ニスルハ五斗入ニテ二百八十七万俵也金納ナレハ二十八万七千兩也其田數百四十三万五千町步也但シ一貫文田五段ノ積リナリ或云ク青砥藤網カ所領三万四千貫ト此等ハ餘リ多キニ過キタリ或ハ書損ナルヘシ又元應年中楠正成カ所領河内國七千貫ト一貫文五段ノ定額ニテ乃千石ノ地ナルヲ以テ楠ノ七千貫ハ今ノ七万石ニ當ル實ニ然ルヘキノ所領高ナリ其後百年許リヲ經ルノ間ニ錢甚拂底ニナリテ上下難澁スルヲ甚シ此ニ由テ足利將軍義政使ヲ明國ニ遣ハシテ錢ヲ乞得タリト日本ノ國牒ヲ汚セシコ此ヨリ甚シキハナシ愧ヘキノ至リナリ其應永十年八月三日大風ニテ相州三崎浦ニ唐船一艘漂着ス時ニ鎌倉管領足利左衛門督滿兼其船中ヲ檢スルニ唯永樂通寶百方ヲ積載セタルノ

ミニテ他物ハ更ニナシ由テ此趣ヲ京師ニ註進ス新將軍義持ノ下知ニテ悉此ヲ滿兼ニ賜リケレハ此錢大ニ東國ニ通用セシト信淵按ニ此事武家盛衰記及關東古記ニ載スルコ甚詳ナリ然レモ其錢ヲ永樂通寶ト記シタルハ甚謬レリ何トナレハ本朝應永十年ハ明ノ成祖ノ永樂元年ナリ且又大明會典云永樂九年鑄永樂通寶ト然レハ此應永十年ハ永樂通寶ヲ未タ鑄造セサル九年前ニ當レリ爭フテカ數百萬ノ永樂錢ヲ船ニ積載テ他國ニ乗出ルコヲ得ン乎是時代ニ三崎ニ積來レル者ハ必ス宋元時代ノ錢ニ洪武通寶等混リタル者ナルヘシ永正五年室町家ノ條目ニ撰錢ノ儀ハ元^{宋神宗} 元祐^{宋哲宗} 大觀^{宋徽宗} 太平^{宋聖宗} 大定^{金世宗} 正隆^{金陽王} 新渡^{洪武明太祖} 永樂^{明成祖} 宣德^{明宣宗} 錢以下可取渡事其惡錢賣買一切可停止事トアルヲ見レハ是時代ハ漢魏六朝以來ノ諸錢存スル者ハ皆通用セシモ論ナシ然レモ其中ニ於テ永樂錢ハ其性モ善ク殊ニ極メテ多カリシヲ以テ世上一統此錢ヲ貴ヒ一文ヲ以テ他ノ錢四文ニ當ルコト爲テ四當錢ノ號ヲ得タリ且此永樂錢一貫文ヲ金一兩ニ充ルカ故ニ今ノ世ニ於テ此例遺リ金一兩ヲ永一貫文ト定ムルコトハ成レル也又錢ヲ九十六文ニテ百文ト算フルコトハ關東管領上杉氏ノ家臣長尾意玄入道ト云者ノ仕出シタルコトニテ最初ハ關東ノミニテ如斯算ヘ用ヒタルコトナリト今ハ奥州白河領ヨリ關東八州東海道東山道畿内ノ諸國マテモ九六錢ヲ用ルニ至レリ其後天正六年ニ天正通寶ヲ鑄造シ銀錢銅錢共用ヒ慶長通寶ハ慶長十一年ニ鑄造シ永樂錢四當ノ通用ヲ停止セラレテ普通ノ錢一文當リニ用ルコトニナレリ元和二年ニ元和通寶ヲ鑄造アリテ此新錢ヲ古錢ト共ニ用ユル永樂錢ヲ錢同様に用フヘキ布告アリシカモ其余性ノ善キヲ以テ此ヲ貴フ者頗多ク國所ニ依テ通用ノ輕重アリ中國ニテハ永樂錢一貫文米六石代トセリ大阪冬陣ノ時ハ米七石代又夏陣ノ時ハ六石ナリシト云フ然レハ四當ノ通用停止ニ成テモ此錢ノ位ハ猶モ常ノ錢ヨリハ貴カリシ也

其後寛永十三年ニ至リ京都大佛ノ銅像ヲ毀チ寛永通寶錢ヲ鑄造セラル其性純雅ニシテ上品ナルコト永樂ハ勿論古來種々ノ唐渡錢等ノ比スヘキニ非レハ此錢大ニ流行シテ永樂錢ハ遂ニ廢ルニ至レリ予以上ノ諸件ニ就テ再ヒ錢給ノコトヲ按ニ中古ノ世ニ田地ヲ何町何反或ハ幾代ト算シタルヲ鎌倉時代ヨリ何貫文何百文ト稱スルコトナリタルモ此ヲ永ト唱ルコトハ遙其後ニ永樂錢ノ盛ニ通用セシ時ヨリ出來タル名目ニテ鎌倉時代ニハ決シテナキコト也何トナレハ北條時宗カ漢土ヨリ買取リタルハ悉ク遼金等ノ時代ノ錢ニテ明永樂年中ヨリハ百四五十年前ノ事ナルヲ以テナリ永何貫ト唱フ可キ縁ナシ然モ其室町家ノ中業ヨリ足利織田豊臣ノ三代七八十年ノ間永樂通寶盛ニ世ニ通用シテ諸國皆此錢ヲ珍重セシカ故ニ錢給ヲ總テ永何貫何百ノ領地ト唱フルコト成レル者也今代モ諸國唱來ル名目ニ回循セラレテ最初ハ知行ヲ渡スニ永一貫文ヲ總ナレハ四貫文金ナレハ一兩ツ、納ル場所ヲ高五石トシテ渡スコト開初ノ國ノ例トセリ然ルニ貞享元祿ノ頃ヨリシテ間違ナル事出來テ上方筋ノ知行渡ニ小物成永一貫文ヲ高二石五斗トシテ渡セシコトアリ是ヨリ以後ハ間違ノ儘ニシテ上方筋ノ小物成ハ一貫文ヲ二石五斗替トシテ渡スコト成レリ甚疎脱ナル通法ト云ヘシ若夫以後石代納ノ村方ヲ知行ニ渡スコト有ルニ本途ノ高ヲハ五石代ニシテ渡シ小物成ヲハ二石五斗代トシテ渡サンコトハ甚如何ハシキ事ニ非ス乎故ニ中編小物成ノ條下ニ又詳カニ之ヲ論載セリ又仙臺伊達家ニテ知行高百石取ヲ十貫文ノ給分ト云フ千石取ヲ百貫文ノ給分ト云イ然レモ百石取ハ五斗入百俵ノ米ヲ取ノミニテ給錢ト云ハアルコトナシ是悉米取ナルカ故ナリ又秋田ノ佐竹家ニテハ錢給ノ唱ハナケレモ知行高百石ノ田地ヨリ三斗入二百俵ノ米ヲトリ且又別ニ永錢十貫文ヲ取テ此ヲ小役銀ト名ク是故ニ他國ノ稅則ニ比スル寸ハ度外ニ強キ取箇ニテ倍增ナルニ似タリ然レモ彼國ノ田畑

ハ畝歩ノ尺寸皆極テ延テ年々米ヲ生スルコト夥ク大約年々貢米ヲ八九倍或ハ十倍ヨリ十二三倍モ生スル處アリ故ニ年貢ヲ出スコトハ安ケレモ米ノ直段極メテ下直ニシテ或ハ金一兩ニ米十石以上ナルコトアリ是ヲ以テ高一石ノ田地ヨリ永百文ノ小役銀ヲ上納スルヲ百姓共ノ皆甚シク困窮スル由也又貫高ノ石高ニ直リタルハ豊臣秀吉公ヨリ始マレリ是時増田右衛門長東大藏等勘定ノ事ニ奉行タリ此二人ハ當時名譽ノ算者ナリシヲ以テ彼等カ考ヨリ出タリト云フ天正六年島津義之ニ攝津國ニ於テ飼馬料一万石ノ地ヲ充テ行ハレタル等其他諸大名ニ賜リタル知行目錄アリ家正日記ニ天正ノ初マテハ知行高何貫文トアリシヲ同十八年徳川氏關東入國ヨリ家人ニ采地ヲ賜ルニ何万何千石誰々ト見ユ是全ク錢給ノ石高ニ直リタルハ上方ヨリ始リタルコトニテ關東ニテ始リタルニ非ス愚老年遊歷中上總國山ノ邊郡早船村南白龜村同國地生ノ郡坂本村地引村等ニ於テ天正十八年ニ淺野彈正長東大藏カ繩入ニシタル水帳ヲ視シニ皆石高ヲ以テ記セリ此其徵ト爲ベシ又淡路米ニ付テ左記ノ如ク述ベラレタリ

五 六 之 法

上世諸冊ニ尊ノ天下ヲ修治シ給ヒシトキ先ツ淡路ヨリ始メ給ヒキ故ニ古來我ガ朝ニ於テハ二尊ヲ崇敬シ此洲ヲ尊重セラル、コト他ニ異ナル所アリキ上古ヨリ御百姓田打始メ庄司ナルモノアリ此庄司ハ神國耕作ノ元祖トシテ専ラ農事ニ勵ミ五穀ノ種ヲ全國ニ弘メ調物ヲ捧ケタル功ニ依リ一國ヲ領セシメラル子孫世々庄司ノ稱ヲ賜リ聖武天皇ノ御宇天平五年癸酉八月稱徳天皇ノ御宇神護景雲二年戊申トニ御綸旨ヲ賜リ以來久敷朝廷ノ御料米ヲ獻納セリ尙建久三年壬子四月二日源賴朝ノ朱印ヲ龜山天皇ノ御宇文永元年三條ノ小鍛治宗近ノ寶劔

ヲ拜シ康永元年足利尊氏ノ下文ヲ領收シタルコト農政本論及淡路要録ニ詳カニシ今沼島浦太左衛門ハ其後裔ナリト云ヒ傳フ抑淡路ハ四面海ヲ環ラシ山嶽秀麗河又清洲景趣ノ美ナル事全國ニ冠タリ加フルニ氣候溫和土質肥沃ノ白質土ニシテ本邦土性四十八等中第一ニ位シ養水ノ流通亦宜クシ實ニ無類ノ耕作地タリ故ニ淡路米ハ日本各地米ノ首位ニアリ甘味佳良其質堅緻日本全國ノ大商地タル大阪ノ市場ニ於テモ肥後肥前等ノ上米ヨリ價格貴ク人々爭フテ之需ム米ニ對スル藩政時代ニ於ケル制度ハ不明ナルモ姫路藩及龍野藩林田藩領民ヨリ領主へ指上ケタル一札中米ニ關スル事項ヲ拔萃スレハ左ノ如シ

姫路藩

- 一 御米撰様并に舂目等御定めノ通り隨分念入俵拵へ迄右を蟻成義仕間敷候事
- 一 稻毛油斷苜取御來拵申候節相互に吟味仕り少にても疎畧仕候者御座候得者仲間より急度可申上候事
- 一 御米取立計申節隘米御座候得者假令少分に而も米主方へ返し可申候

龍野藩

- 一 御年貢不致皆濟内に穀物一切他所へ出すべからざる事
- 一 附米納の節惡米無之舂目不切様隨分可致吟味事
- 一 俵拵の義二重菰堅横繩小口かゞり可仕船積の節は別して可入念事

林田藩

- 一 御年貢免狀相渡候上大小百姓の出作のもの迄爲致拜見可申事
- 一 御年貢并に小成物臨時納物ともわり付相濟み候はゞ惣百姓一人前に寫得心の上銘々印形取置後日出入無之様可仕納付差支候はゞ親類五人組庄屋年寄とも辨納可仕候勿論御年貢皆納不仕以前穀物一切他賣は不致候事
- 一 御年貢の儀は隨分米性相撰荒碎青米等之分撰出し繩俵入念二重菰小口くゞり等村々同様仕立舂目欠減無之様計立中札表に何年何月何村某と書記可申候

糶麥も同様仕立入念相納可申事

右條目の趣少も違背仕間敷候年々正月中村中大小の百姓不殘寄合役人にも爲讀聞五人組長印形仕可候萬一心得違仕被仰渡之趣一事たりとも相違のもの於有之は組合一同村役人迄何等の御料にも可被仰付候依之五人組合連印仕差上申處如件

(3) 本縣産米改良ノ沿革

本縣ハ古來優良米ノ産地ニシテ夙ニ世人ノ稱賛ヲ博シ藩政時代ニ於テハ別記ノ如ク百有餘藩ニ岐レタルモ各藩トモ米ニ對スル制度ハ相當嚴重ナル取締ヲ爲シタルニヨリ取引市場及需用者一般ニ歡迎セラレタル處ナリシガ明治維新後貢米制度ノ廢止セラレテ以來乾燥調製俵裝トモ生産者ノ任意タルヲ以テ自然ニ組織ニ陥リ明治二十四五年ヨリ全三十年ノ頃ニ至リ最モ甚シクシテ市場ノ聲價ヲ墜シ需用者ノ信用ヲ失フニ至レリ茲ニ於テ産米改良ヲ唱フルノ聲ハ需給者ノ間ニ喧シク縣ハ之ガ對策トシテ各方面ニ渉ル調査ヲ講セラルニ當リ縣農

會ハ明治四十年總會ノ決議ニヨリ速ニ検査ヲ施行シテ産米ノ改良ヲ行ハレシムコトヲ建議シ各郡ニ於テハ同業組合、地主會、産米改良會、聯合地主會等ヲ組織シ検査ニ因リ小作者ノ受クル勞費ノ補償等ヲ協定シテ一齊ニ検査規則ノ發布ヲ要請シ取引市場モ亦相呼應シテ其必要ヲ唱導スルニ至リ遂ニ縣ハ明治四十年ノ縣會ニ米穀検査費ヲ提案シテ協賛ヲ得明治四十一年一月縣令第八號ヲ以テ米穀検査規則ヲ發布シテ全年産米ヨリ検査ヲ實施シテ産米ノ改良初メテ其緒ニ着キ漸次改良ノ効果ヲ收メツ、アリシガ大正二三年ノ頃一時進歩ノ遅々タルノ狀況ヲ呈シ今年三月訓令第九號ヲ發シ以テ職員ノ戒飾ト奮勵ニ資セラレ爾來多少ノ曲折ハ見タルモ當局者ノ指導獎勵其宜キヲ得タルト各級農會并ニ篤農家有志者及運輸取引其他關係機關ノ多大ナル援助ト當業者一般ノ自覺ト相待ツテ圓滿ニ進展シ其成績良好ニシテ市場ニ於ケル聲價ト需用者ノ信用ヲ向上シ殊ニ酒造米トシテハ全國ニ名聲ヲ博シ各地ノ銘酒家ハ競テ本縣産米ヲ使用シ釀造ヲ爲サントスル盛況ヲ呈シ其需用ハ年ト共ニ増加ノ趨勢ニアリ

一、米穀検査

兵庫縣令第八號(大正六年三月二十日縣令一六改正)(大正十一年六月五日)
(大正七年七月二十五日縣令四九改正)(縣令二六號改正)
 米穀検査規則左ノ通定ム

明治四十一年一月三十一日

兵庫縣知事

服部

一

三

(1) 米穀検査規則

第一條 本縣産米ハ本則ニ依リ検査ヲ受ケタルモノニ非サレハ賣買授受シ又ハ縣外ニ移出スルコトヲ得ス但一俵未滿ノ端米ハ此限ニ在ラス

第二條 検査ハ生産検査、移出検査ノ二種トス

生産検査ハ自家用以外ノ玄米ニ就キ生産地ニ於テ之ヲ行ヒ大粒、小粒ニ分チ合格、不合格ヲ定ム但生産者ノ請求アルトキハ合格ノモノニ就キ甲、乙、丙ノ三種ニ區別スルコトアルヘシ

移出検査ハ縣外ニ移出スル玄米及ヒ精米ニ就キ港灣、停車場其他樞要ノ地ニ於テ之ヲ行ヒ合格、不合格ヲ定メ尚合格ノモノニ就キ更ニ大粒、小粒ニ分チテ玄米ニハ一等ヨリ四等、精米ニハ一等ヨリ五等ノ等級ヲ附ス

縣内移送ノモノト雖モ米穀ヲ汽車積ミ電車積ミトシ又ハ海路船積ミトスルトキハ總テ縣外移出ト看做ス陸路ニ依リテ神戸市内ニ移入スルモノ、神戸市ヲ通過スルモノ亦同シ

農業倉庫ニ入庫スル米穀ニ付テハ出願ニ依リ入庫ノ際移出検査ヲ受クルコトヲ得

第三條 検査ハ左ノ事項ニ就キ之ヲ行フ

品質、粒形、乾燥、調製、容量、俵裝

第四條 検査ヲ受クヘキ米穀ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、乾燥ヲ良好ナラシムルコト

- 二、青米、粃、稗、碎米、土砂、塵芥等ノ除去ニ努ムルコト
- 三、異種米ハ勿論同種米ト雖モ新古米、今摺米其他品位ノ差異甚シキモノヲ混入セサルコト
- 四、精米ハ純良ヲ主トシ糠及搗粉ノ附着ヲ少カラシムルコト
- 五、一俵ノ容量ハ四斗トナスコト

六、俵裝ハ左ノ方法ニ依ルヘシ但精米ニ限り叭又ハ袋ヲ用ヒ容量ハ慣行ニ依ルコトヲ得

内俵ハ乾燥セル藁ヲ用ヒ四箇所編トシ重量五百匁乃至六百匁トス外俵ハ乾燥セル「スグリ」藁ヲ用ヒ四箇所編トシ重量ハ四百匁乃至五百匁トス

棧俵ハ乾燥セル藁ヲ用ヒ徑八寸乃至九寸

重量ハ一箇五十匁乃至七十匁トスルコト

繩ハ能ク打柔クタル藁ヲ以テ製シ摺掛ケトナシ横繩、縦繩トモ周リ一寸以上一寸二分以内トス

横繩ハ五箇所各二廻リ結トス縦繩ハ二筋ヲ以テ四方掛ケトシ中央横繩ヲ除キ其他ノ横繩ニ悉ク引掛ケ

四ツ目結トシ中央横繩ノ上ヲ更ニ二廻リ緊縮ス但生産検査ノ俵裝ニハ二方掛ケトシテ検査ヲ受クルコトヲ得

検査ノ證印アル俵、叭、袋ハ之ヲ抹消スルニアラサレハ再ヒ包裝ニ用ユルコトヲ得ス

第五條 生産検査ヲ受ケントスルトキハ生産者ハ丈夫ナル白紙(長約三寸五分 幅約九分)ヲ以テ縦横結止メニ卷封ヲ爲シ且ツ左ノ様式ニ依ル票箋ヲ俵口ノ結繩ニ結付ケ生産検査員ノ證印ヲ受クヘシ

(用紙西ノ内、仙花紙、傘紙ノ類長約四寸、幅約一寸七分)

明治何年産米

國郡市町村大字名

重量皆掛十何貫何百匁

生産者(代理者)

明治何年何月何日

氏

名印



第六條 生産検査員ニ於テ生産検査ヲ行ヒタルトキハ每俵合格不合格及粒種(大粒、小粒)ヲ定メ尙請求

アルトキハ甲、乙、丙ニ區別シ前條ノ卷封並ニ票箋ニ各其印章ヲ押捺ス

移出検査員ニ於テ移出検査ヲ行ヒタルトキハ合格、不合格及粒種(大粒、小粒)等級ヲ定メ各俵口ニ其印章ヲ押捺ス再検査其他ノ事故ニ依リ解俵シタルトキハ更ニ卷封ヲ爲サシメ封印ヲ施ス

第七條 検査済ノ米穀ニシテ俵裝毀損又ハ其他ノ事故ニ依リ改俵シタルトキハ其事實ヲ申出テ更ニ検査ヲ受クヘシ證印磨滅シ若クハ封紙、票箋毀損亡失シタルトキ亦同シ

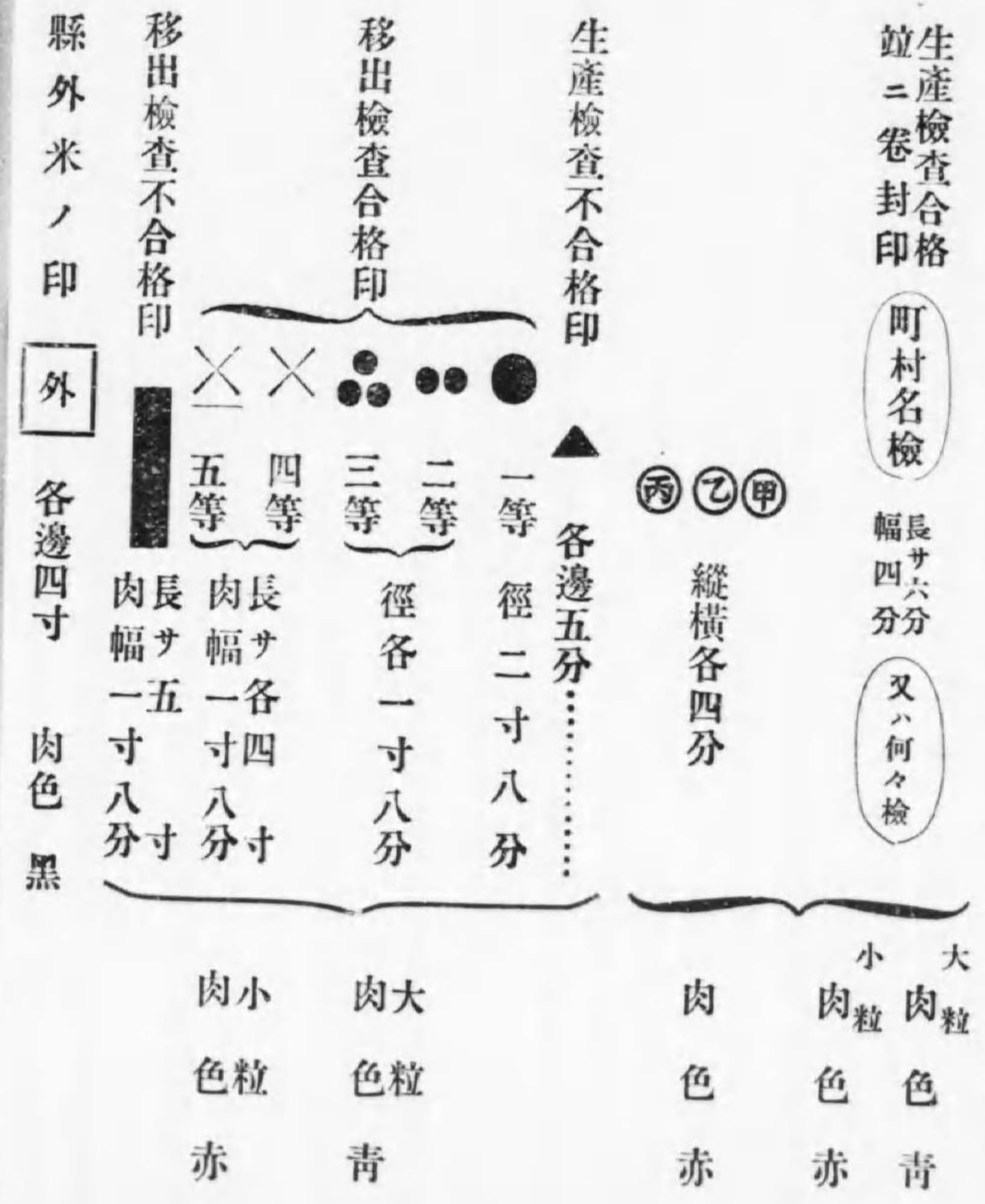
第八條 他府縣産米、朝鮮米、臺灣米若クハ外國米ヲ縣内ニ移入シ又ハ縣外ニ移出セントスルトキハ移出地名、數量、産地名ヲ具シ最寄検査所ニ届出スヘシ

他府縣産米ニシテ其證憑ナキモノヲ縣内ニ移入シタルトキハ届出俵面ニ證印ヲ受クベシ此ノ手續ヲ怠リタルモノハ本縣産米ト看做ス

神戸市内ハ前二項ノ適用ニ付テハ縣外ト同視ス

第九條 產地又ハ自家ノ徽標、印章ヲ俵、叭、袋ノ表面ニ附記押捺セントスルモノハ願書ニ其實形圖ヲ添ヘ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 検査ニ使用スル證印ノ形狀及肉色ヲ定ムルコト左ノ如シ



第十一條 移出検査ヲ受ケントスルモノハ左ノ書式ニ依リタル頭書ヲ最寄検査所ニ差出スヘシ
(書式)

移出検査願

明治何年産
一 梗(糯) (陸) 玄(精) 米 何 俵
此検査料金何程
一 所在地 何郡市町村大字又ハ何々停車場等
一 仕向先 何府縣又ハ港灣名
右御検査相願候也

年 月 日 住 所 某印

兵庫縣穀物検査所何々移出検査員派出所(詰所)御中

第十二條 移出検査ニ限リ受檢者ハ左ニ掲タル検査料ヲ納附スヘシ但シ農業倉庫入庫米ノ移出検査ニハ之ヲ要セス

一 俵、一叭、一袋ニ付 金 五 錢
納附ノ手續等ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 検査ハ検査員之ヲ行フ但監督員ニ於テモ検査ヲ行フコトアルヘシ
検査済ノ検査ト雖モ必要アリト認ムルトキハ再検査ヲ爲スコトアルヘシ
前項ノ再検査ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條 監督員及ヒ検査員ハ自己ノ權利義務ニ關係アル検査ヲ検査スルコトヲ得ス但此場合ニ於テハ最寄
検査員代ツテ其検査ヲ行フ

第十五條 監督員及ヒ検査員其職務ヲ行フトキハ左ノ證票ヲ携帯スヘシ

(三寸)

三寸

(面表)
第 號
米穀検査監督員證
職氏名

(面表)
第 號
米穀検査員ノ證
職氏名

(面裏各)
兵 庫 縣 印
年 月 日 交 付

第十六條 第一條、第七條、第九條、第十三條第三項ニ違背シ又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ科料又ハ
拘留ニ處ス

- 一、検査ヲ免ル、ノ目的ヲ以テ詐偽ノ手段ヲ行ヒタルモノ
- 二、検査済ノ俵米ニ故意ヲ以テ濕氣ヲ施シ若クハ他物ヲ混シタルモノ又ハ抽出減量シタルモノ
- 三、検査済ノ俵米ニ對シ異種米又ハ等差アル米ヲ混合シタルモノ

四、検査上使用ノ印形、證票ヲ變更シ又ハ之ト類似ノモノヲ行使シ若クハ封紙裏紙ヲ再用シタルモノ
附 則

第十七條 本則ハ明治四十一年生産ノ米穀ヨリ施行ス

外國向キ袋米ニ對シテハ本則ヲ適用セス

精米ハ明治四十年以前ノ生産ニ係ルモノト雖モ明治四十一年十一月一日以後ニ於テ縣外ニ移出スル場合
ハ移出検査ヲ施行ス

城崎郡、出石郡、養父郡、朝來郡、美方郡ノ産米ニ付テハ大正六年生産ノ分ヨリ本則ヲ適用ス但シ精米
ハ大正五年以前ノ生産ニ係ルモノト雖モ大正六年十一月一日以後ニ於テ縣外ニ移出スル場合ハ移出検査
ヲ行フ

大正六年十月三十一日迄ニ城崎郡、出石郡、養父郡、朝來郡、美方郡ニ移送スル米穀ニ付テハ従前ノ例
ニ依ル

大正五年以前ニ生産シタル城崎郡、出石郡、養父郡、朝來郡、美方郡ノ米穀ヲ他ノ郡市ニ移入スルトキ
ハ他府縣米ニ準シ之ヲ取扱フ

本則第十二條ノ改正ハ大正六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則第一條第二條第六條第八條第十條第十二條第十六條ノ改正ハ大正七年九月一日ヨリ之ヲ施行ス本令
ハ大正十一年生産ノ米穀ヨリ之ヲ施行ス

(2) 兵庫縣告諭第一號

米穀ハ本縣重要ノ物産ニシテ平年ノ收穫高約二百萬石ニ達ス故ニ其價格ノ昂低ハ管ニ當業者ノ損益ヲ來タス
 ノミナラス縣經濟上至大ノ關係ヲ有スルハ言ヲ俟タサルナリ然ルニ維新後貢米制度ノ廢止ニ伴ヒ米質乾燥、
 調製、俵裝等漸次粗惡ニ流レ益々聲價ヲ失墜シ不知不識ノ間ニ多大ノ損失ヲ招キツ、アルハ掩フヘカラサル
 ノ事實ナルヲ以テ之レカ改良ニ關シ多年勸誘獎勵怠ラサリシモ奈何セン滔々タル流勢ハ一土一塊ノ能ク支フ
 ル處ニアラス古來世人ノ稱贊ヲ博シタル播州米、攝津米、淡路米等ノ名聲ハ著シク失墜シ防長米、大分米、
 備前米等ノ爲メニ壓倒セララル、ノ悲況ヲ呈セリ蓋シ是等ノ諸縣ハ或ハ檢査令ヲ布キ或ハ全縣ヲ通スル同業組
 合ヲ設ケ以テ一律ノ下ニ檢査ヲ行ヒ銳意改良ニ努メタルノ結果ニ外ナラザルナリ殊ニ三重、香川、島根、等
 苟クモ産米ニ剩餘アリテ縣外ニ輸出スルノ地方ニ在リテハ檢査令ヲ布キテ檢査ヲ施行セサルナク其結果何レ
 モ良好ニシテ著シク聲價ヲ發揚シタリト聞ク乃チ今ヤ米穀檢査ハ本縣ノ輿論トナリ縣農會ハ總會ノ決議ヲ以
 テ本官ニ之カ施行ヲ建議シ各郡ニ於テハ同業組合、地主會、又ハ産米改良會等組織セラレ縣下聯合地主會ハ
 其ノ決議ニヨリテ檢査令發布ノ必要ヲ陳情シ地主ハ自ラ進ンテ小作人愛護ノ方法ヲ講スヘキヲ盟フ等縣民ノ
 本令發布ヲ希望スル誠ニ切ナルモノアリ仍テ檢査費ノ支出ヲ縣會ニ提議シタルニ幸ニ大多數ヲ以テ可決セラ
 ル、ヲ得タリ之レ茲ニ縣令第八號米穀檢査規則ヲ發布スルニ至リタル所以ナリトス當業者宜シク此主旨ヲ體
 シ檢査規則ノ定ムル所ニ基キ今ヨリ充分ノ準備ヲ整ヘ米質、乾燥、調製、俵裝等ニ改良ヲ加ヘ從來ノ惡弊ヲ
 一洗シ殊ニ地主ト小作人ノ關係ニ至ツテハ相互ノ融和ヲ謀リ地主タルモノハ檢査令ノ發布ヲ奇貨トシ苛誅ニ

涉ルカ如キ不都合ナク小作人タルモノハ維新前ニ於ケル貢米制度ノ當時ニ鑑ミテ熱心改良ニ努メ和衷協同以
 テ本令ノ施行ヲ圓滿ナラシメ本縣産米ノ聲價ヲ發揚シ大ニ福利ノ増進ヲ期スヘシ

明治四十一年一月三十一日

兵庫縣知事

服部 一三

(3) 兵庫縣訓令甲第三號

郡役所 市役所 町村役場 警察署 警察分署

本縣重要ノ物産タル米穀ノ改良ヲ圖リ其聲價ヲ發揚スルハ目下ノ急務ニ屬ス乃チ縣令第八號ヲ以テ米穀檢査
 規則ヲ發布シ併セテ一般ニ諭告スル所アリシト雖トモ想フニ當業者積年ノ習慣ハ一朝ニシテ改メ難キモノア
 ルヘク創始ノ際幾多ノ障礙ヲ醸生スルノ虞ナキヲ保セス宜シク各級農會地主會産米改良會等ヲ督勵シ周到ノ
 注意ヲ以テ支障ヲ未然ニ防遏シ以テ多數ノ不合格米ト違犯者ヲ出サシメサルニ努ムヘキハ勿論豫メ適當ノ方
 法ニヨリ規則發布ノ主旨ヲ說示スル等今日ヨリ充分ノ準備ヲ整ヘ殊ニ地主ト小作人ノ關係ニ付テハ慎重ノ調
 査ヲ遂ケ親密ナル融和ヲ謀リ協同一致指導誘掖ノ任ニ當リ圓滿ニ其效果ヲ收メ本令ノ目的ヲ達スルニ於テ遺
 憾ナキヲ期スヘシ

明治四十一年一月三十一日

兵庫縣知事

服部 一三

兵庫縣訓令甲第九號

兵庫縣米穀檢査所

本縣米穀檢査規則實施以來局ニ當ル者ノ熱心ナル指導獎勵ト周到ナル注意トニ依リ相當ノ成績ヲ舉ケ來シハ

洵ニ欣フヘキコトナリトス然ルニ近時巷間ノ傳フル所ニ依レハ一部ノ地方ニ在リテハ漸ク検査ノ統一ヲ缺キ等級ノ正確ヲ失シ爲ニ市場ノ聲價ニ影響スル處尠カラサルモノアリト巷説固ヨリ悉ク信スルニ足ラスト雖亦其ノ因由ノ事實ナクムハアラス殊ニ實施後數年ニ及ヘハ法ノ勵行漸次緩慢ニ流レムトスルハ一般ノ通弊ナルヲ以テ米穀検査ノ事亦此ノ數ニ漏レサルヘケレハ此ノ際大ニ戒飭ヲ要スヘキコトナリトス

事ニ検査ニ從フ者ハ宜シク細心ノ注意ト一層ノ奮勵トヲ以テ公平ニ正確ニ寬嚴度ヲ失セズ克ク検査ノ主旨ヲ體シ苟クモ違算ナキヲ期シ其ノ目的ヲ達成スルニ努ムヘシ

大正三年六月五日

兵庫縣知事

服部

一三

訓令乙第六四三號

(大正七年七月三十一日) (大正十一年三月三十一日) (訓令乙九五五號改正) (訓令乙二七四號改正)

産業部

穀物

検査所

米穀検査施行ノ手續左ノ通り定ム

明治四十一年五月二十七日

兵庫縣知事

服部

一三

(4) 米穀検査施行手續

- 第一條 米穀検査規則(以下規則ト稱ス)ニ定ムル検査ハ本手續ニ依リ親切ヲ旨トシ最モ公平ニ執行スヘシ
- 第二條 検査ハ出願ノ順序ニヨリ執行スヘシ但受檢ノ準備完カラサル向ニ對シテハ出願順序ニ依ラサルコトヲ得

第三條

規則第二條ノ合格、不合格ハ別ニ定ムル所ノ標準米ニ據ルヘシ生産者ノ請求ニ依リ生産検査合格米ノ區別ヲ爲ストキハ左ノ標準ニ據ルヘシ

甲 玄米移出合格二等級以上ノモノ

乙 玄米移出合格三等級以上ノモノ

丙 玄米移出合格四等級以上ノモノ

移出検査員ハ生産検査員カ前項ニ依リ附シタル甲乙丙ノ區別ニ拘束セラル、コトナシ移出合格米ノ等級ハ左ノ標準ニ依リ區別スヘシ

玄米

一等米 品質優良、粒形整一ニシテ乾燥調製、俵装ノ共ニ完全ナルモノ

二等米 品質、粒形、乾燥、調製、俵装ノ一等ニ亞クモノ

三等米 品質、粒形、乾燥、調製、俵装ノ二等ニ亞クモノ

四等米 品質、粒形、乾燥、調製、俵装ノ普通ナルモノ(大正七年七月三十一日改正)

精米

一等米 品質優良、色澤單純、粒形整一ニシテ乾燥、調製、包装ノ共ニ完全ナルモノ

二等米 品質、色澤、粒形、乾燥、調製、包装ノ一等ニ亞クモノ

三等米 品質、色澤、粒形、乾燥、調製、包装ノ二等ニ亞クモノ

- 四等米 品質、色澤、粒形、乾燥、調製、包裝ノ三等ニ亞クモノ
- 五等米 品質、色澤、粒形、乾燥、調製、包裝ノ四等ニ亞クモノ
- 第四條 検査ハ見刺ヲ用ヒ毎俵二箇所以上ヲ検査ヘシ但時宜ニ依リ解俵セシメ検査ヲ行フコトヲ得
- 第五條 検査ノ爲メ抽出シタル刺米ハ漏洩セサル様其ノ俵中ニ刺戻スヘシ
- 第六條 容量検査ハ十俵未満ハ一俵以上、五十俵未満ハ二俵以上、百俵未満ハ五俵以上、百俵以上ハ之ニ準シ樹廻シヲ行フヘシ但時宜ニ依リ衡器ヲ以テ總數ヲ検査スルコトヲ得
- 第七條 俵裝ハ規則第四條第六號ニ依リ其適否ヲ検査スヘシ
- 第八條 検査ノ際ハ出願人又ハ其ノ代理人ヲシテ立會ハシムヘシ
- 第九條 再検査ヲ行ヒタル場合ニ於テ検査證印ヲ改ムルノ必要アリタルトキハ前検査ノ證印ヲ抹消シ更ニ適當ノ證印ヲ押捺スヘシ
- 前項ノ顛末ハ毎月二回以上穀物検査所長ニ報告スヘシ
- 第十條 規則第十四條第二項ノ場合ハ最寄検査員ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ
- 前項ノ通知ヲ受ケタル検査員ハ直ニ検査ヲ執行スヘシ
- 第十一條 検査ノ顛末ハ總テ手帳ニ記載シ置クヘシ
- 第十二條 監督員又ハ検査員ニ於テ規則違犯者ヲ發見シタルトキハ其證憑ヲ蒐集シテ所轄警察官署ニ告發ノ手續ヲ爲スヘシ

兵庫縣告示第二〇二號

兵庫縣穀物検査所職制左ノ通定ム

大正十一年三月三十日

兵庫縣知事

有 吉 忠

一

(5) 兵庫縣穀物検査所職制

- 第一條 穀物検査所ハ産業部ノ主管ニ屬シ穀物検査ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二條 穀物検査所ニ出張所派出所詰所ヲ設ク其ノ名稱、位置、所轄區域ハ別ニ之ヲ告示ス
- 第三條 穀物検査所ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 所長 技師 出張所長 技手 検査員 主事補
- 第四條 所長ハ知事ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス
- 第五條 技師ハ所長ヲ補佐シ所長事故アル時ハ其職務ヲ代理ス
- 第六條 出張所長ハ所長ノ指揮ヲ承ケ出張所ノ事務ヲ整理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス
- 第七條 技手ハ所長及出張所長ノ指揮ヲ承ケ検査事務又ハ検査ノ監督ニ從事ス
- 第八條 検査員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ生産検査及移出検査ニ從事ス
- 検査員ハ上司ノ指揮ヲ受テ穀物生産改良ノ獎勵ニ從事スベシ
- 第九條 主事補ハ所長又ハ出張所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

本職制ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年九月十日兵庫縣告示第五四七號兵庫縣穀物検査所職制ハ之ヲ廢止ス

廳達第十七號

(大正七年七月三十一) (大正十一年三月三)
(日廳達二〇號改正) (十一日達六號改正)

兵庫縣穀物検査所處務規程左ノ通り定ム

産 業 部
穀 物 檢 査 所

明治四十一年五月十一日

兵庫縣知事

服 部 一 三

(6) 兵庫縣穀物検査所處務規程

- 第一條 穀物検査所ニ於テ掌理スヘキ事項左ノ如シ
 - 一 産米並俵装改良ニ關スル件
 - 二 標準米ノ撰擇検査用具ノ配付ニ關スル件
 - 三 技手、検査員配置ニ關スル件
 - 四 検査事務ノ講習打合等ニ關スル件
 - 五 検査料ニ關スル件
 - 六 産穀改良會、小作人獎勵會等ニ關スル件

- 七 米穀ノ市況調査ニ關スル件
 - 八 検査成績書ノ編成及統計報告ニ關スル件
 - 九 其ノ他穀物検査ニ關スル必要ノ事項
- 第二條 所長ハ左ノ事項ニ限り専行スルコトヲ得但事ノ重要ナルモノハ此ノ限ニアラス
- 一 職員ノ處務分掌ニ關スル件
 - 二 技手検査員及主事補ノ勤務地指定ニ關スル件
 - 三 職員ノ管内出張ニ關スル件
 - 四 職員ノ病氣、忌引、除服出仕等ニ關スル件
 - 五 検査事務ニ關スル諸報告處理ノ件
- 第三條 出張所長事故アルトキハ上席者其ノ職務ヲ代理ス
- 第四條 左ノ事項ハ出張所長之ヲ専行スルコトヲ得
- 一 職員ノ部内出張ヲ命スル件
 - 二 職員ノ病氣、忌引等ニ關スル件
 - 三 検査助手ノ任免其ノ他小使人夫ノ備入及解備ニ關スル件
- 前項第三號ノ事項ハ其ノ都度所長ニ報告スヘシ
- 第五條 出張所長ハ毎月五日限り前月分ノ検査成績ヲ所長ニ報告スヘシ

移出検査所ノ設アル郡ノ出張所長ハ他府縣又ハ検査未施行地ヨリ移入スル米穀ノ俵數ヲ取調ヘ前項ノ例ニ依リ所長ニ報告スヘシ

第六條 検査所及出張所ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

- 一出勤簿
- 一職員名簿
- 一出張命令簿
- 一生産検査報告綴
- 一移出米検査簿
- 一移入米調査簿
- 一文書收受發送件名簿
- 一物品整理簿
- 一郵便切手受拂簿
- 一各所往復書類綴
- 一職員進退ニ關スル文書綴
- 一報告書綴
- 一願届書綴
- 一經費ニ關スル帳簿
- 其ノ他必要ナル簿書

第七條 移出検査員派出所又ハ詰所ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

- 一出勤簿
- 一移出米検査簿
- 一移入米調査簿
- 一各所往復書類綴
- 一報告書綴
- 一郵便切手受拂簿

第八條 生産検査員ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

- 一生産検査簿
- 一通達書綴
- 一生産検査報告控綴

第九條 技手、検査員ニ於テ規則違反者ヲ告發シタルトキ其ノ他重要ト認ムル事項ハ其ノ郡度所長ニ報告スヘシ

前項検査員ヨリ提出報告書類ハ總テ出張所長ヲ經由スヘシ

第十條 本規程ニ掲クルモノ、外ハ本縣處務規程ヲ準用ス

第十一條 左ノ帳簿及報告書ハ別紙様式ニ依ルヘシ

- 一 生産検査簿
- 一 移出米検査簿
- 一 移出検査成績報告
- 一 移入米調査簿
- 一 出張所長ノ報告書様式ハ前項ニ準スヘシ
- 一文書ノ收受發送及會計ニ關スル帳簿様式ハ別ニ之ヲ定ム

様式 (用紙半紙)

検査月日	總俵數	生産検査簿				受檢者氏名		
		内		譯				
		合格	不合格	合格	不合格			
十一月一日	五〇	二八	二	三〇	一八	二	何	
同日	三〇	一八	二	二〇	九	一	、	
日計	八〇	四六	四	五〇	二七	三	三〇	二
日計								人

備考 本簿ニハ日計月計通計ヲ付シ月計通計ハ朱書スヘシ

以下同シ

様式 (用紙半紙)

何月分生産検査成績報告 (何市町村)					
検査總俵數		大		小	
合格	不合格	合格	不合格	計	受檢人員
一、〇〇〇	五〇〇	二五	五二五	四五〇	二五
計	計	計	計	計	四七五
一〇〇					

右報告候也

年 月 日

生産検査員

何

某

兵庫縣穀物検査所何出張所長宛
様式 (用紙美濃紙)

移出米検査簿 (粳玄米ノ部)											
検査月日		仕向先		大		小		大		小	
總數		總數		譯		譯		計		計	
一等二等三等四等合格計		一等二等三等四等合格計		不合格		不合格		不合格		不合格	
十二月一日	兵庫										
同同	大阪										
日計											

備考 粳、糯、陸米ノ各玄米、精米ニ區別シ口座ヲ設ケ記載スルモノトス精米ハ各五等迄ノ欄ヲ設
シ

様式 (用紙美濃紙)

何月分移出検査成績報告 (粳玄米)							
移出地名		大		小		計	
總數		總數		總數		總數	
一等二等三等四等合格計		一等二等三等四等合格計		一等二等三等四等合格計		一等二等三等四等合格計	
不合格		不合格		不合格		不合格	
何地							
計							

右及報告候也

年 月 日

何地移出検査員派出所(又ハ詰所)

移出検査員 何

某印

兵庫縣穀物検査所何地出張所長宛

備考 粳、糯、陸米ヲ各玄米、精米ニ區別スヘシ

様式 (用紙半紙)

移入米調査簿			
移入月日	生産地名	俵數	移入者姓名
十二月一日	何々		何々
摘要			

同	計	二日	大阪府下 何々町村					
---	---	----	--------------	--	--	--	--	--

備考 米穀検査規則第八條ノ證印ヲ押捺シタルモノアルトキハ其ノ俵數ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
様式 (用紙半紙)

何月分移入米調査報告	
生産地名	俵數人員摘要
計	

右報告候也
年 月 日

何地移出検査員派出所(又ハ詰所)

移出検査員 何

某印

兵庫縣穀物検査所何地出張所長宛
物品整理簿(甲)(備品) (用紙半紙)

年月日	事由	取扱 主任受高	拂高	現在高	摘要
四十年四月十日	出張所ノ分記載例分 任縣出納吏ヨリ受	①	五	五	
四十年四月十日	破損ニ付返納			一	検査所分任縣出納吏へ返納何々
同					

物品整理簿(乙)(消耗品) (用紙美濃紙)

月日	摘要	受數	拂	殘量	出張 所長主任	受取人官職氏名印
四一	記載例 前年度越高	二、〇〇〇		二、〇〇〇		
同五	購入	五、〇〇〇		七、〇〇〇		
同二五			五〇〇	六、五〇〇	①	監督員何某渡
月分計						

職員出勤簿様式 (用紙西ノ内)
(表 面)

三	二	一	月	日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
					職	氏	名																											

(裏面)

月次	事故	出勤	遅参	出張	忘引	賜暇	病氣	事故	備考
一	月								
二	月								
三	月								

職員名簿様式 (用紙美濃紙)

明治四十	年	月	日	事	由	詰	所	俸給額	職名	氏	名
------	---	---	---	---	---	---	---	-----	----	---	---

同	四	十	日	年							
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

事由欄ニハ任命依頼免職、何々へ轉勤、御用ノ都合ニヨリ退職、何職兼務等ト記入ス
本簿ハ職名毎ニ口座ヲ設クヘシ

出張命令簿様式 (用紙半紙) 出張所ノ分

命令	月	日	出張所長	受命者	職氏名	事由	旅費請求月日	明治四十	年	月	日
命令	月	日	出張所長	受命者	職氏名	事由	旅費請求月日	明治四十	年	月	日

文書收受件名簿 (用紙美濃紙)

日 月	日 月	日 月	日 月	發 番	發 事	發 差	發 宛	發 名	發 處	發 調	發 理	發 期	發 完
日	月	日	月	號	件ノ	出 人	宛	名	者理處	調	理	限 期	了 理
一	月	二	月	一	記載例 小作米品 評會ノ件	何々出張 長	所	長	印	一回 六月二日		何月何日	完 了
二	月	三	月	二	標準米ノ 件ニ付照 會	所 長	各郡出張 所長	印	何々ヨリ 何々ヨリ	二回 何々ヨリ	三何々出 張所長へ 照會月日 郵便	何月何日	完 了
三	月	何々	月	三	何々届 伺	某	所	長	印	何々ヨリ	何々ヨリ	何月何日	完 了

郵便切手受拂簿 (用紙美濃紙)

月 日	發 送	先 用	件 種	類 目	受 拂	殘
四 一	越 高		種 類	字 數	受 拂	殘
同 同	何 々	何々ノ件	一 種	四 夕 内	二〇〇〇	二〇〇〇
同 五	受 入	參錢切手一〇枚	同		三〇〇	二二七〇

兵庫縣令第六十六號

(明治四十二年縣令第十七號ニテ一部改正)

米穀移出検査料徴收規程左ノ通定ム

明治四十一年八月三十一日

兵庫縣知事 服 部 一 三

(7) 米穀移出検査手数料徴收規程

- 第一條 米穀移出検査料ハ米穀検査所及出張所又ハ特ニ指定シタル移出検査員派出所同詰所ニ於テ之ヲ徴收ス
- 第二條 移出検査ヲ受ケントスルモノハ穀物検査所及出張所、派出所又ハ詰所ニ検査料ヲ納付シ領收證票ヲ受ケ之ヲ検査願書ニ貼付シ移出検査員派出所又ハ詰所ニ差出スヘシ
- 第三條 領收シタル検査料ハ何等ノ事由アルモ検査着手後ハ之ヲ還付セス
- 第四條 検査規則第七條又ハ第十三條ニ依ル再検査ニ對シテハ移出検査料ヲ徴收セス
- 第五條 領收證票ハ亡失毀損スルコトアルモ再渡ヲ爲サス但汚損又ハ毀損ノ領收證票ニシテ原形ヲ存スルモノニ限り引換ヲナスコトアルヘシ
- 第六條 領收證票ハ左ノ如シ

縱 九 分



分二寸一横

種	類	一	五	十	五	百
類	俵	俵	俵	俵	俵	俵
類	色	紅	綠	青	紫	樺
類	色	色	色	色	色	色

兵庫縣訓令甲第二十九號(大正十一年三月三十日訓令五號改正)

米穀移出検査料徴收手續左ノ通定ム

明治四十一年八月三十一日

産 業 部
穀 物 檢 査 所
兵 庫 縣 知 事 服 部 一 三

(8) 米穀移出検査手数料徴收手續

- 第一條 移出検査料ノ徴收ハ穀物検査所長及出張所長ニ於テ取扱フヘシ
- 第二條 前條ノ現金ハ縣出納吏ニ於テ領收スヘシ
- 第三條 縣出納吏ハ穀物検査所主事補及出張所主事補ヲ以テ之ニ充ツ
出張所々在地外ニ於テ縣出納吏ヲ置クノ必要アルトキハ特ニ命シタル移出検査員ヲ以テ之ニ充ツ
前項縣出納吏ニ於テ領收シタル現金ハ五日毎ニ所屬出張所縣出納吏ニ送付スヘシ
- 第四條 領收證票用紙ハ其必要ニ應シ穀物検査所ヨリ出張所ニ配付スヘシ
- 第三條第二項ノ場合ニ於ケル領收證票ハ所屬出張所ヨリ配付スヘシ
- 第五條 出張所長ハ第一號式ニ依リ領收證票用紙ノ受拂ヲ翌月五日限り穀物検査所長ニ報告スヘシ
- 第三條第二項ノ移出検査員ハ前項ニ準シ翌月三日限り出張所長ニ報告スヘシ

- 米穀移出検査料徴收規程第五條但書ニヨリ引換ヲ爲シタル汚損又ハ毀損ノ領收證票ハ消印ノ上前各項ノ報告書ニ添付スヘシ
- 第六條 派出所又ハ詰所ニ於テ検査願書ヲ受理シタルトキハ領收證票ノ調査ヲ遂ケ検査済ノ上其證票ニ消印スヘシ
- 前項検査済ノ願書ハ十日毎ニ取纏メ第二號式ノ送付書ヲ添ヘ所屬出張所長ニ差出スヘシ
- 第七條 本手續ニ規定スルモノ、外總テ兵庫縣會計規則並ニ收入支出證明規程ニ準據スヘシ

第一號式

何月中領收證票用紙受拂計算書

種 類	何月中領收證票用紙受拂計算書	
	前月ヨリ 越 高	本月受高 計
一 俵 分		
五 俵 分		

十 俵 分	五 十 俵 分	百 俵 分

右之通候也

明治四十年 月 日

兵庫縣穀物検査所何出張所長

何 某印

兵庫縣穀物検査所長宛

第二號式

願書通數		自月日移出米検査願書送付書	
立	檢	米	俵
		精	米
			計數
			米

右及送付候也

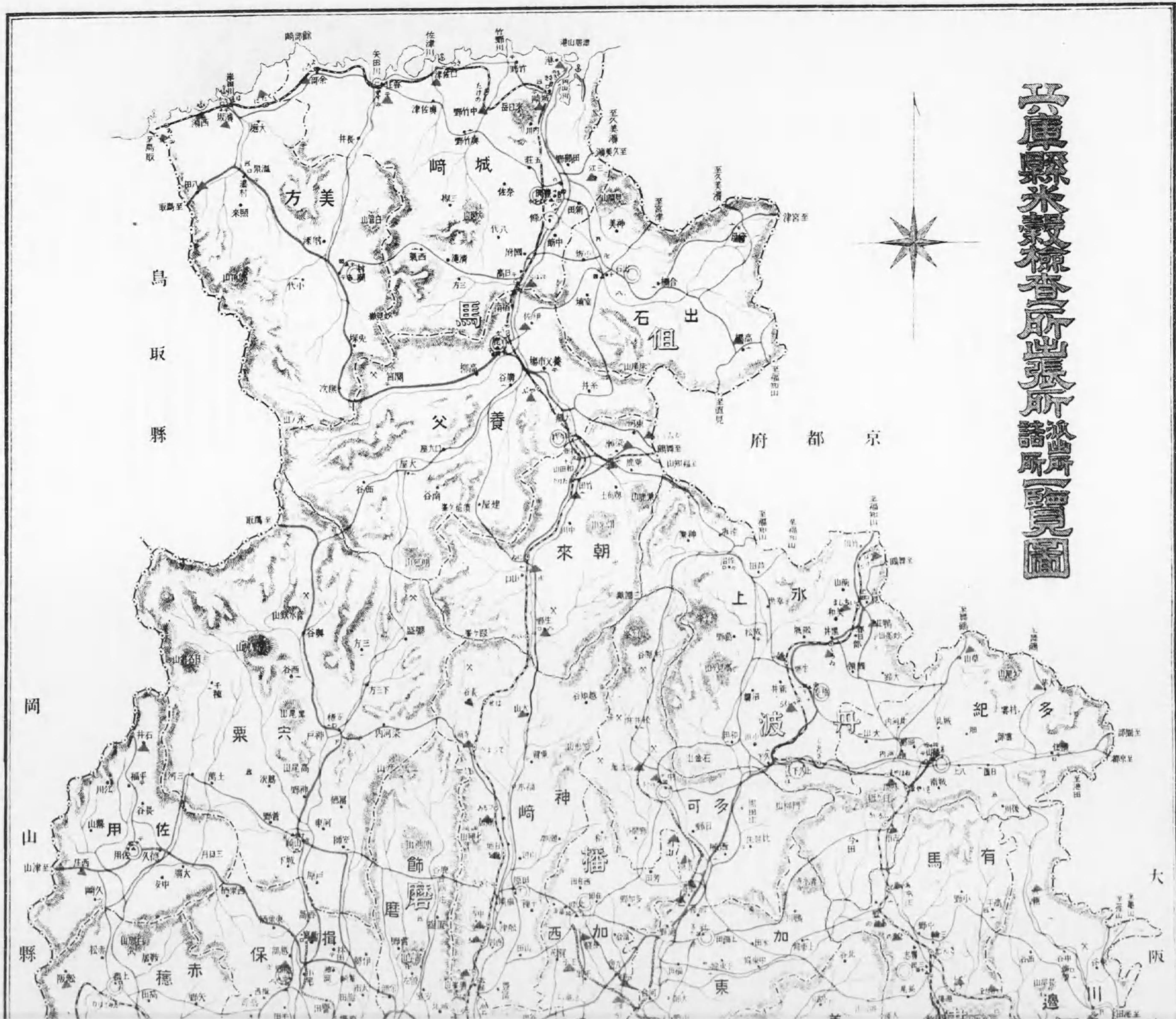
明治四十年 月 日

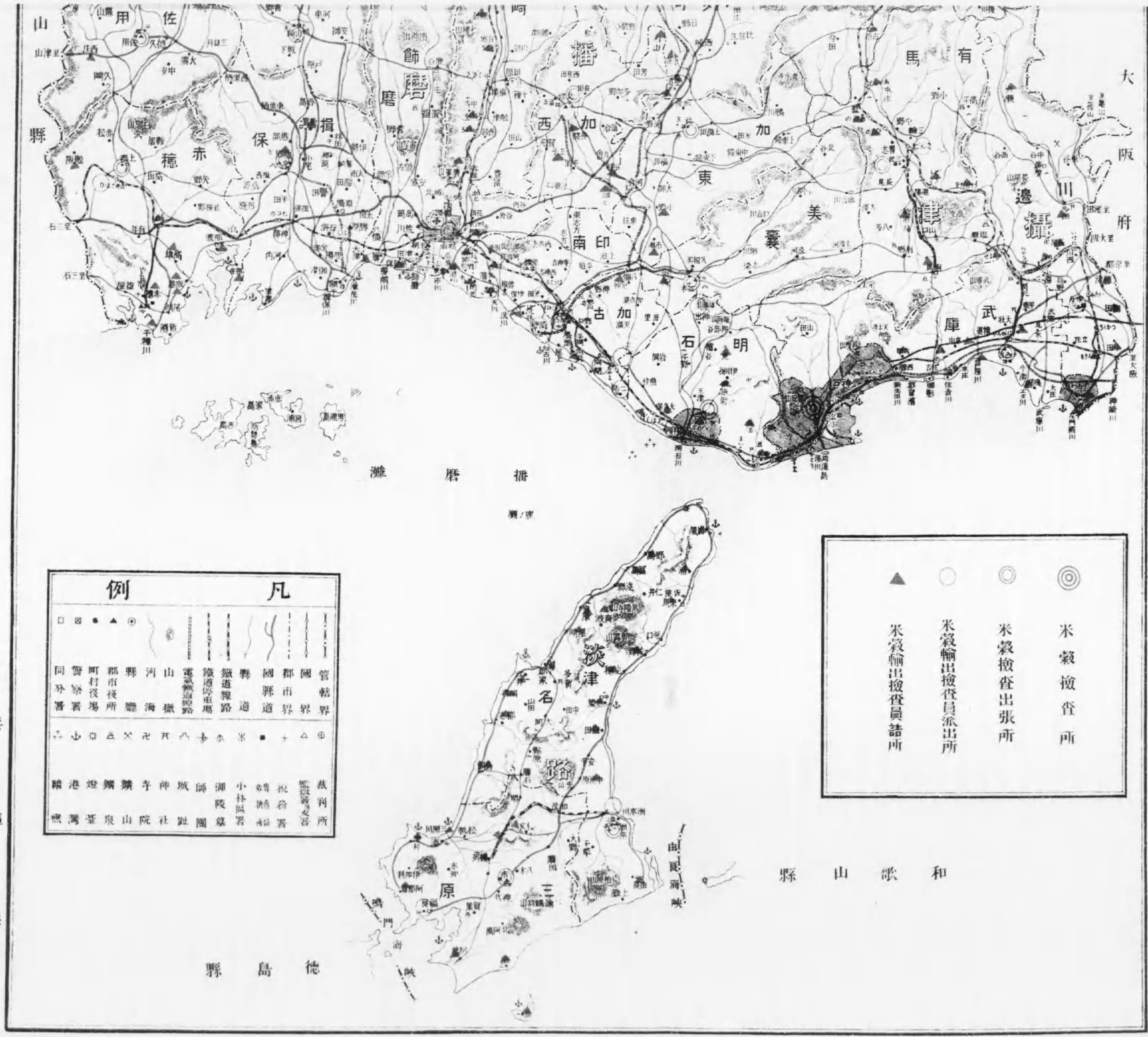
兵庫縣穀物検査所何々移出検査員派出所(又ハ詰所)

移出検査員 何 某印

兵庫縣穀物検査所何出張所長宛

兵庫縣米穀検査所出張所諸所覽圖





願書通數	至月日移出米検査願書送付書
玄米	米俵
検査所	計數
米俵	米

右及送付候也
明治四十年 月 日

兵庫縣穀物検査所何出張所長宛

兵庫縣穀物検査所何々移出検査員派出所(又ハ詰所)
移出検査員 何 某印

兵 庫 縣

(9) 兵庫縣告示第二一六〇號

兵庫縣米穀検査所同出張所ノ名稱位置及所轄區域左ノ通定ム

明治四十一年五月十五日

名 稱	位 置	服 部	所 轄 區 域
兵庫縣米穀検査所	兵庫縣廳內	兵庫縣知事	神戶市、一
兵庫縣米穀検査所西宮出張所	武庫郡西宮町		武庫郡
兵庫縣米穀検査所伊丹出張所	川邊郡伊丹町		川邊郡
兵庫縣米穀検査所三田出張所	有馬郡三田町		有馬郡
兵庫縣米穀検査所明石出張所	明石郡明石町		明石市
兵庫縣米穀検査所三木出張所	美囊郡三木町		美囊郡
兵庫縣米穀検査所社出張所	加東郡社町		加東郡
兵庫縣米穀検査所中村出張所	多可郡中村		多可郡
兵庫縣米穀検査所北條出張所	加西郡北條町		加西郡
兵庫縣米穀検査所加古川出張所	加古郡加古川町		加古郡
兵庫縣米穀検査所魚橋出張所	印南郡阿彌陀村		印南郡
兵庫縣米穀検査所姫路出張所	姫路市		姫路市、飾磨郡

兵庫縣米穀檢查所辻川出張所	神崎郡出原村	一〇六
兵庫縣米穀檢查所龍野出張所	揖保郡龍野町	
兵庫縣米穀檢查所上郡出張所	赤穂郡上郡町	
兵庫縣米穀檢查所佐用出張所	佐用郡佐用村	
兵庫縣米穀檢查所山崎出張所	宍粟郡山崎町	
兵庫縣米穀檢查所柏原出張所	水上郡柏原町	
兵庫縣米穀檢查所篠山出張所	多紀郡篠山町	
兵庫縣米穀檢查所洲本出張所	津名郡洲本町	
兵庫縣米穀檢查所市村出張所	三原郡市村	
兵庫縣米穀檢查所豊岡出張所	城崎郡豊岡町	
兵庫縣米穀檢查所石出出張所	出石郡出石町	
兵庫縣米穀檢查所八鹿出張所	養父郡八鹿町	
兵庫縣米穀檢查所和田山出張所	朝來郡枚田村	
兵庫縣米穀檢查所村岡出張所	美方郡村岡町	

兵庫縣告示第四〇八號
明治四十一年九月 告示第四百十六號
 同 四十二年十一月 同第五百三十二號
 同 四十二年四月 同第五百五十六號
 同 四十二年七月 同第三百二十七號
 同 四十二年十二月 同第五百四十九號
 改正追加

兵庫縣穀物檢查所移出檢查員派出所同詰所ノ名稱位置左ノ通定ム

明治四十一年九月五日

兵庫縣知事 服部 一三

移出檢查員派出所

名	稱	位	置
兵庫縣穀物檢查所天王谷	移出檢查員派出所	武庫郡	山田村
兵庫縣穀物檢查所三田驛	移出檢查員派出所	有馬郡	三田驛
兵庫縣穀物檢查所明石港	移出檢查員派出所	明石郡	明石市
兵庫縣穀物檢查所三木驛	移出檢查員派出所	美囊郡	三木驛
兵庫縣穀物檢查所土山驛	移出檢查員派出所	加古郡	土山驛
兵庫縣穀物檢查所加古川驛	移出檢查員派出所	加古郡	加古川驛
兵庫縣穀物檢查所二見港	移出檢查員派出所	加古郡	二見港
兵庫縣穀物檢查所高砂港	移出檢查員派出所	加古郡	高砂港
兵庫縣穀物檢查所寶殿驛	移出檢查員派出所	印南郡	寶殿驛
兵庫縣穀物檢查所姫路驛	移出檢查員派出所	飾磨郡	姫路驛
兵庫縣穀物檢查所野里驛	移出檢查員派出所	飾磨郡	野里驛
兵庫縣穀物檢查所飾磨港	移出檢查員派出所	飾磨郡	飾磨港

兵庫縣穀物檢查所福崎驛移出検査員派出所	神崎郡	福崎驛
兵庫縣穀物檢查所社口驛移出検査員派出所	加東郡	社口驛
兵庫縣穀物檢查所大門口驛移出検査員派出所	加東郡	大門口驛
兵庫縣穀物檢查所西脇驛移出検査員派出所	多可郡	西脇驛
兵庫縣穀物檢查所北條町驛移出検査員派出所	加西郡	北條町驛
兵庫縣穀物檢查所法華口驛移出検査員派出所	加西郡	法華口驛
兵庫縣穀物檢查所龍野驛移出検査員派出所	揖保郡	龍野驛
兵庫縣穀物檢查所網干驛移出検査員派出所	揖保郡	網干驛
兵庫縣穀物檢查所網干港移出検査員派出所	揖保郡	網干港
兵庫縣穀物檢查所菅崎驛移出検査員派出所	揖保郡	菅崎驛
兵庫縣穀物檢查所篠山町驛移出検査員派出所	多紀郡	篠山町驛
兵庫縣穀物檢查所上郡驛移出検査員派出所	赤穂郡	上郡驛
兵庫縣穀物檢查所谷川驛移出検査員派出所	水上郡	谷川驛
兵庫縣穀物檢查所篠山驛移出検査員派出所	多紀郡	篠山驛
兵庫縣穀物檢查所豐岡驛移出検査員派出所	城崎郡	豐岡驛
兵庫縣穀物檢查所洲本港移出検査員派出所	津名郡	洲本港

兵庫縣穀物檢查所福良港移出検査員派出所

三原郡

福良港

移出検査員詰所

名

稱

位

置

兵庫縣穀物檢查所西宮驛移出検査員詰所	武庫郡	西宮驛
兵庫縣穀物檢查所西宮港移出検査員詰所	武庫郡	西宮港
兵庫縣穀物檢查所住吉驛移出検査員詰所	武庫郡	住吉驛
兵庫縣穀物檢查所芦屋驛移出検査員詰所	武庫郡	芦屋驛
兵庫縣穀物檢查所今津港移出検査員詰所	武庫郡	今津港
兵庫縣穀物檢查所西灘村移出検査員詰所	武庫郡	西灘村
兵庫縣穀物檢查所東須磨村移出検査員詰所	武庫郡	須磨町
兵庫縣穀物檢查所神崎驛移出検査員詰所	川邊郡	神崎驛
兵庫縣穀物檢查所神崎渡船塢移出検査員詰所	川邊郡	神崎渡船塢
兵庫縣穀物檢查所伊丹驛移出検査員詰所	川邊郡	伊丹驛
兵庫縣穀物檢查所池田驛移出検査員詰所	川邊郡	池田驛
兵庫縣穀物檢查所吳服橋移出検査員詰所	川邊郡	川西村
兵庫縣穀物檢查所鼓瀨移出検査員詰所	川邊郡	多田村

兵庫縣穀物檢查所尼崎港移出檢查員詰所	尼崎市	尼崎港
兵庫縣穀物檢查所長巳橋移出檢查員詰所	尼崎市	尼崎町
兵庫縣穀物檢查所武田尾驛移出檢查員詰所	川邊郡	武田尾驛
兵庫縣穀物檢查所園田村移出檢查員詰所	川邊郡	園田村
兵庫縣穀物檢查所神津村移出檢查員詰所	川邊郡	神津村
兵庫縣穀物檢查所六瀬村移出檢查員詰所	川邊郡	六瀬村
兵庫縣穀物檢查所生瀨驛移出檢查員詰所	有馬郡	生瀨驛
兵庫縣穀物檢查所相野驛移出檢查員詰所	有馬郡	相野驛
兵庫縣穀物檢查所藍本驛移出檢查員詰所	有馬郡	藍本驛
兵庫縣穀物檢查所新道場驛移出檢查員詰所	有馬郡	新道場驛
兵庫縣穀物檢查所馬口驛移出檢查員詰所	有馬郡	馬口驛
兵庫縣穀物檢查所廣野驛移出檢查員詰所	有馬郡	廣野驛
兵庫縣穀物檢查所道場驛移出檢查員詰所	有馬郡	道場驛
兵庫縣穀物檢查所明石驛移出檢查員詰所	明石郡	明石市
兵庫縣穀物檢查所大久保驛移出檢查員詰所	明石郡	大久保驛
兵庫縣穀物檢查所大久保港移出檢查員詰所	明石郡	大久保港
兵庫縣穀物檢查所別所驛移出檢查員詰所	美薈郡	別所驛
兵庫縣穀物檢查所垂水驛移出檢查員詰所	明石郡	垂水驛
兵庫縣穀物檢查所鹽屋驛移出檢查員詰所	明石郡	鹽屋驛
兵庫縣穀物檢查所瀧野驛移出檢查員詰所	加東郡	瀧野驛
兵庫縣穀物檢查所粟生驛移出檢查員詰所	加東郡	粟生驛
兵庫縣穀物檢查所小野町驛移出檢查員詰所	加東郡	小野町驛
兵庫縣穀物檢查所市場驛移出檢查員詰所	加東郡	市場驛
兵庫縣穀物檢查所野村驛移出檢查員詰所	多可郡	野村驛
兵庫縣穀物檢查所長驛移出檢查員詰所	加西郡	長驛
兵庫縣穀物檢查所網引驛移出檢查員詰所	加西郡	網引驛
兵庫縣穀物檢查所別府港移出檢查員詰所	加古郡	別府港
兵庫縣穀物檢查所會根驛移出檢查員詰所	印南郡	會根驛
兵庫縣穀物檢查所會根港移出檢查員詰所	印南郡	會根港
兵庫縣穀物檢查所厄神驛移出檢查員詰所	印南郡	厄神驛
兵庫縣穀物檢查所伊保港移出檢查員詰所	印南郡	伊保港
兵庫縣穀物檢查所京口驛移出檢查員詰所	飾磨郡	京口驛

兵庫縣穀物檢查所御着驛移出検査員詰所	飾磨郡	御着驛
兵庫縣穀物檢查所英賀保驛移出検査員詰所	飾磨郡	英賀保驛
兵庫縣穀物檢查所白濱村移出検査員詰所	飾磨郡	白濱村
兵庫縣穀物檢查所香呂驛移出検査員詰所	神崎郡	香呂驛
兵庫縣穀物檢查所溝口驛移出検査員詰所	神崎郡	溝口驛
兵庫縣穀物檢查所仁豊野驛移出検査員詰所	神崎郡	仁豊野驛
兵庫縣穀物檢查所甘地驛移出検査員詰所	神崎郡	甘地驛
兵庫縣穀物檢查所鶴居驛移出検査員詰所	神崎郡	鶴居驛
兵庫縣穀物檢查所寺前驛移出検査員詰所	神崎郡	寺前驛
兵庫縣穀物檢查所長谷驛移出検査員詰所	神崎郡	長谷驛
兵庫縣穀物檢查所岩見港移出検査員詰所	揖保郡	岩見港
兵庫縣穀物檢查所平松港移出検査員詰所	揖保郡	平松港
兵庫縣穀物檢查所龍野町移出検査員詰所	揖保郡	龍野町
兵庫縣穀物檢查所赤穂港移出検査員詰所	赤穂郡	赤穂港
兵庫縣穀物檢查所鹽屋港移出検査員詰所	赤穂郡	鹽屋港
兵庫縣穀物檢查所船坂村移出検査員詰所	赤穂郡	船坂村

兵庫縣穀物檢查所那波驛移出検査員詰所	赤穂郡	那波驛
兵庫縣穀物檢查所那波港移出検査員詰所	赤穂郡	那波港
兵庫縣穀物檢查所坂越港移出検査員詰所	赤穂郡	坂越港
兵庫縣穀物檢查所相生港移出検査員詰所	赤穂郡	相生港
兵庫縣穀物檢查所有年驛移出検査員詰所	赤穂郡	有年驛
兵庫縣穀物檢查所石井村移出検査員詰所	佐用郡	石井村
兵庫縣穀物檢查所西庄村移出検査員詰所	佐用郡	西庄村
兵庫縣穀物檢查所石生驛移出検査員詰所	水上郡	石生驛
兵庫縣穀物檢查所柏原驛移出検査員詰所	水上郡	柏原驛
兵庫縣穀物檢查所黒井驛移出検査員詰所	水上郡	黒井驛
兵庫縣穀物檢查所市島驛移出検査員詰所	水上郡	市島驛
兵庫縣穀物檢查所鳴庄村移出検査員詰所	水上郡	鳴庄村
兵庫縣穀物檢查所竹田驛移出検査員詰所	水上郡	竹田驛
兵庫縣穀物檢查所大山驛移出検査員詰所	多紀郡	大山驛
兵庫縣穀物檢查所古市驛移出検査員詰所	多紀郡	古市驛
兵庫縣穀物檢查所福住村移出検査員詰所	多紀郡	福住村

兵庫縣穀物檢查所大芋村移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所草山村移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所岩屋港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所志筑港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所郡家港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所都志港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所江井港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所壙尾港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所明神港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所鳥飼港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所尾崎港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所楠本港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所富島港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所室津港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所假屋港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所由良港移出檢查員詰所

兵庫縣穀物檢查所野島港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所佐野港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所厚濱港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所生穗港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所湊港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所阿萬港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所阿那賀港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所津井港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所灘村移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所沼島村移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所津居山港移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所江原驛移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所城崎驛移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所竹野驛移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所佐津驛移出檢查員詰所
 兵庫縣穀物檢查所香住驛移出檢查員詰所

兵庫縣穀物檢查所三江村移出檢查員詰所
 城崎郡 三江村
 兵庫縣穀物檢查所鏡驛移出檢查員詰所
 城崎郡 鏡驛
 兵庫縣穀物檢查所高橋村移出檢查員詰所
 高橋郡 高橋村
 兵庫縣穀物檢查所資母村移出檢查員詰所
 高橋郡 資母村
 兵庫縣穀物檢查所八鹿驛移出檢查員詰所
 高橋郡 八鹿驛
 兵庫縣穀物檢查所養父驛移出檢查員詰所
 養父郡 養父驛
 兵庫縣穀物檢查所和田山移出檢查員詰所
 朝來郡 和田山驛
 兵庫縣穀物檢查所生野驛移出檢查員詰所
 朝來郡 生野驛
 兵庫縣穀物檢查所新井驛移出檢查員詰所
 朝來郡 新井驛
 兵庫縣穀物檢查所梁瀬驛移出檢查員詰所
 朝來郡 梁瀬驛
 兵庫縣穀物檢查所金浦移出檢查員詰所
 朝來郡 梁瀬驛
 兵庫縣穀物檢查所竹田驛移出檢查員詰所
 朝來郡 竹田驛
 兵庫縣穀物檢查所諸寄港移出檢查員詰所
 美方郡 諸寄港驛
 兵庫縣穀物檢查所久谷驛移出檢查員詰所
 美方郡 久谷驛
 兵庫縣穀物檢查所濱坂驛移出檢查員詰所
 美方郡 濱坂驛
 兵庫縣穀物檢查所居組驛移出檢查員詰所
 美方郡 居組驛

兵庫縣穀物檢查所東河村移出檢查員詰所
 朝來郡 東河村
 兵庫縣穀物檢查所八田村移出檢查員詰所
 美方郡 八田村
 兵庫縣穀物檢查所育波港移出檢查員詰所
 津名郡 育波港
 兵庫縣穀物檢查所王子驛移出檢查員詰所
 加西郡 王子驛
 兵庫縣穀物檢查所木見移出檢查員詰所
 明石郡 押部谷村、木見
 兵庫縣穀物檢查所布施畑移出檢查員詰所
 明石郡 伊川谷村、布施畑
 兵庫縣穀物檢查所奧畑移出檢查員詰所
 明石郡 垂水村、奧畑
 兵庫縣穀物檢查所田原驛移出檢查員詰所
 加西郡 九會村
 兵庫縣穀物檢查所市原驛移出檢查員詰所
 多可郡 日野村
 兵庫縣穀物檢查所坂越村驛移出檢查員詰所
 赤穂郡 坂越村
 兵庫縣穀物檢查所播州赤穂驛移出檢查員詰所
 赤穂郡 赤穂町
 兵庫縣穀物檢查所高雄村驛移出檢查員詰所
 赤穂郡 高雄村
 兵庫縣穀物檢查所八木港移出檢查員詰所
 飾磨郡 八木村
 兵庫縣穀物檢查所掃守驛移出檢查員詰所
 三原郡 掃守驛
 兵庫縣穀物檢查所一本松驛移出檢查員詰所
 三原郡 一本松驛
 兵庫縣穀物檢查所市村驛移出檢查員詰所
 三原郡 市村驛

三、米穀検査規程中改正ノ件

(1) 明治四十一年一月 米穀検査規則中改正ノ件

兵庫縣令第八號

大正六年三月同縣令第一六號ヲ以テ一部改正

大正七年七月同縣令第四九號ヲ以テ一部改正

大正八年二月同縣令第四號ヲ以テ移出検査手数料改正

大正九年三月同縣令第二七號ヲ以テ移出検査手数料改正

大正十年二月同縣令第一四號ヲ以テ移出検査手数料改正

大正十一年六月同縣令第三六號ヲ以テ一部改正

一、米穀検査除外令

明治四十一年二月告示第六四號ヲ以テ但馬國五郡ヲ米穀検査除外ノ旨告示ス

大正六年三月告示第一一五號ヲ以テ除外令ヲ廢止セラル

(2) 明治四十一年五月 穀物検査所、同出張所、名稱位置及所轄區域中改正ノ件

告示第二六〇號

大正五年四月告示第一四五號ヲ以テ尼崎市制施行ニ付伊丹出張所ノ所轄區域ニ同市ヲ追加セラル

大正六年六月告示第二三〇號ヲ以テ城崎郡ニ豊岡、出石郡ニ出石、養父郡ニ八鹿、朝來郡ニ和田山、美方郡

ニ村岡ノ五出張所ヲ追加セラル

大正八年十一月告示第五二六號ヲ以テ明石市制施行ニ付明石出張所ノ所轄區域ニ同市ヲ追加セラル

大正九年三月告示第一八九號ヲ以テ米穀検査所名ヲ穀物検査所ト改稱セラル

(3) 明治四十一年九月 移出検査員派出所、同詰所名稱位置中改正ノ件

告示第四〇八號

明治四十一年十一月告示第五三二號ニテ川邊郡尼崎港、辰巳橋、水上郡鳴庄村、津名郡假屋港移出検査員詰

所追加、多紀郡下瀧驛トアルヲ水上郡下瀧驛ト改正セラル

明治四十二年四月五日告示第一五六號

川邊郡中山驛、六瀬村、有馬郡藍本驛、廣野驛、道場驛、飾磨郡白濱村、揖保郡袴崎村、多紀郡草山村、津

名郡由良港、野島港、厚濱港、生穂港詰所ヲ追加シ津名郡洲本港詰所ヲ派出所ト改正セラル

明治四十二年七月告示第三二七號ヲ以テ飾磨港、網干港、福良港移出検査員詰所ヲ派出所ト改稱セラル

明治四十一年九月土山驛移出検査員派出所全曾根港詰所ヲ追加セラル

明治四十二年十二月告示第五四九號ヲ以テ川邊郡園田村、全神津村、佐用郡石井村、江川村、幕山村、西庄

村、移出検査員詰所ヲ追加セラル

明治四十三年四月告示第一三六號ヲ以テ津名郡楠本港、尾崎港、三原郡沼島港、飾磨郡京口驛移出検査員詰所ヲ追加シ飾磨郡天神驛詰所ヲ廢止セラル

明治四十五年三月告示第一二一號ヲ以テ安栗郡三方村移出検査員詰所ヲ追加シ川邊郡中山驛、加古郡阿岡港
氷上郡下瀧驛、安栗郡繁盛村、下三方村詰所ヲ廢止セラル

大正元年十二月告示第一六九號ヲ以テ津名郡佐野港移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正二年四月告示第一九〇號ヲ以テ印南郡國包驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正二年六月告示第二六〇號ヲ以テ飾磨郡英賀保驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正二年九月告示第三七〇號ヲ以テ多可郡西脇驛移出検査員派出所加東郡社口驛、全大門口驛、全派出所及
加東郡瀧野驛、全粟生驛、全小野町驛、揖保郡平松港詰所ヲ追加セラル

大正二年十一月告示第四三四號ヲ以テ多可郡野村驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正三年四月告示第一一三號ヲ以テ揖保郡皆崎驛移出検査員派出所ヲ同郡龍野町驛ニ全詰所ヲ追加シ揖保郡
皆崎村、佐用郡江川村、幕山村、詰所ヲ廢止セラル

大正四年三月告示第九八號ヲ以テ加西郡北條町驛同法華口驛移出検査員派出所及加西郡長驛、同網引驛、武
庫郡芦屋驛ニ同詰所ヲ追加セラル

大正四年七月告示第二七九號ヲ以テ有馬郡新道場驛、同有馬口驛、揖保郡新宮町驛ニ移出検査員詰所ヲ追加
セラル

大正五年四月告示第一四六號ヲ以テ尼崎港、及辰巳橋詰所ノ位置ヲ尼崎市ニ改稱セラル

大正五年四月告示第一五〇號ヲ以テ津名郡垂井港移出検査員詰所ヲ江井港詰所ト改稱セラル

大正五年五月告示第一五九號ヲ以テ多紀郡篠山町移出検査員派出所ヲ追加セラル

大正五年十月告示第三七一號ヲ以テ加東郡市場驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正五年十一月告示第四〇七號ヲ以テ美囊郡別所驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正五年十二月告示第四二六號ヲ以テ印南郡國包驛移出検査員詰所ヲ厄神ト改稱セラル

大正六年六月告示第二五三號ヲ以テ美囊郡三木驛移出検査員派出所ヲ追加セラル

大正六年八月告示第二八六號ヲ以テ城崎郡外四郡ニ移出検査員詰所ヲ設置ノ件告示セラル

大正六年八月告示第三〇三號ヲ以テ美方郡ニ八田村移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正六年十月告示第三八九號ヲ以テ津名郡育波港移出検査員詰所ヲ追加シ神崎郡大山村、安栗郡三方村移出
検査員詰所ヲ廢止セラル

大正七年一月告示第一二號ヲ以テ加西郡王子驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正八年十一月告示第五二五號ヲ以テ明石港移出検査員派出所、明石驛全詰所ノ位置ヲ明石市ニ改正セラル

大正九年三月告示第二二二號ヲ以テ明石郡木見、布施畑、奥畑移出検査員詰所ヲ追加セラレ武庫郡東須磨村
移出検査所ヲ廢止セラル

大正九年十一月告示第六八〇號ヲ以テ加西郡田原驛移出検査員詰所ヲ追加セラル

大正十年八月告示第五六一號ヲ以テ多可郡市原驛、赤穂郡坂越村驛、播州赤穂驛、高雄村驛ニ移出検査員詰
所ヲ追加セラル

大正十一年八月告示第五四八號ヲ以テ飾磨郡八木港移出検査員詰所ヲ追加セラル

(4) 明治四十一年五月 米穀検査施行手續改正

大正七年七月訓令乙第九五五號ヲ以テ第三條玄米等級ニ四等ヲ追加ノ旨改正セラル

大正十一年三月訓令乙第二七四號ヲ以テ第三條末項ニ左ノ事項ヲ加フル旨改正セラル

生産者ノ請求ニ依リ生産検査合格米ノ區別ヲ爲ストキハ左ノ標準ニ據ルベシ

甲、玄米移出合格二等級以上ノモノ

乙、玄米移出合格三等級以上ノモノ

丙、玄米移出合格四等級以上ノモノ

移出検査員ハ生産検査員カ前項ニ依リ附シタル甲、乙、丙ノ區別ニ拘束セラル、コトナシ

第九條ヲ削除シ以下各條ヲ繰上グ

(5) 明治四十一年八月 米穀移出検査料徴收規程中改正ノ件

明治四十二年四月三十日縣令第一七號ヲ以テ領收証票種類一俵ノ次ニ「五俵」「綠色」ヲ追加セラル

大正六年縣令第一七號ヲ以テ検査手数料改正ニ依リ從來ノ(領收証票)領收証票用紙引換方ヲ令達セラル

大正八年二月縣令第五號ヲ以テ移出検査手数料金三錢ニ増額ニ付從來ノ領收証票用紙引換方ヲ令達セラル

大正九年三月縣令第二六號ヲ以テ移出検査手数料金四錢ニ改正ニ付從來ノ領收証票引換方ヲ令達セラル

大正十年二月縣令第一五號ヲ以テ移出検査手数料金五錢ニ改正ニ付從來ノ証票引換方ヲ令達セラル

(6) 明治四十一年八月 米穀移出検査料徴收手續中改正ノ件

大正十一年四月訓令甲第五號ヲ以テ手續第一條第五條第六條第二項中「主事」トアルヲ「出張所長」ニ改メ

第三條中「上席書記及出張所書記」トアルヲ「主事補及出張所主事補」ニ改メ第五條第二項中「主事」トアルヲ「出張所長」ニ改正セラル

(7) 明治四十一年五月 穀物検査所職制改正ノ件

大正五年六月告示二一三號ヲ以テ改正セラル

(勅令第八十八號米穀検査所職員待遇法制定ノ結果ニ依ル)

大正九年九月告示第五四七號ヲ以テ兵庫縣穀物検査所職制ヲ改正セラル

(勅令第二四七號地方産業職員制公布ノ結果ニ依ル)

大正十一年九月告示第五四八號ヲ以テ穀物検査諸規程中書記トアルヲ主事補ト改正セラル

大正十一年三月告示第二〇二號ヲ以テ穀物検査所職制ヲ改正セラル

(産業部長ヲ所長ニ各郡長ヲ出張所長ニ任命技師技手検査員主事補ヲ置キ其他技手検査員ハ知事、郡長ノ

指揮ニ依リ穀物生産改良ノ獎勵指導ニ従事セシムベク規定セラル)

(8) 明治四十一年五月 穀物検査所處務規程中改正ノ件

大正七年七月達第二〇號ヲ以テ規程第十二條ノ帳簿及報告様式中生産検査簿、生産検査成績報告、移出検査

簿及移出検査成績報告書様式ヲ改正セラル

大正十一年三月達第六號ヲ以テ規程第一條第一項第三號及第十條第一項中「監督員主事」トアルヲ「助手」ニ第五條第一項、第六條、第十條第二項、第十二條第二項中「主事」トアルヲ「出張所長」ニ改メ第三條中「所長」上ニ「出張」ノ二字ヲ加ヘラル

兵庫縣訓令甲第二十號

内務部
米穀検査所

米穀輸出検査員被服給與規則左ノ通定ム

兵庫縣知事 服部 一三

明治四十二年六月十五日

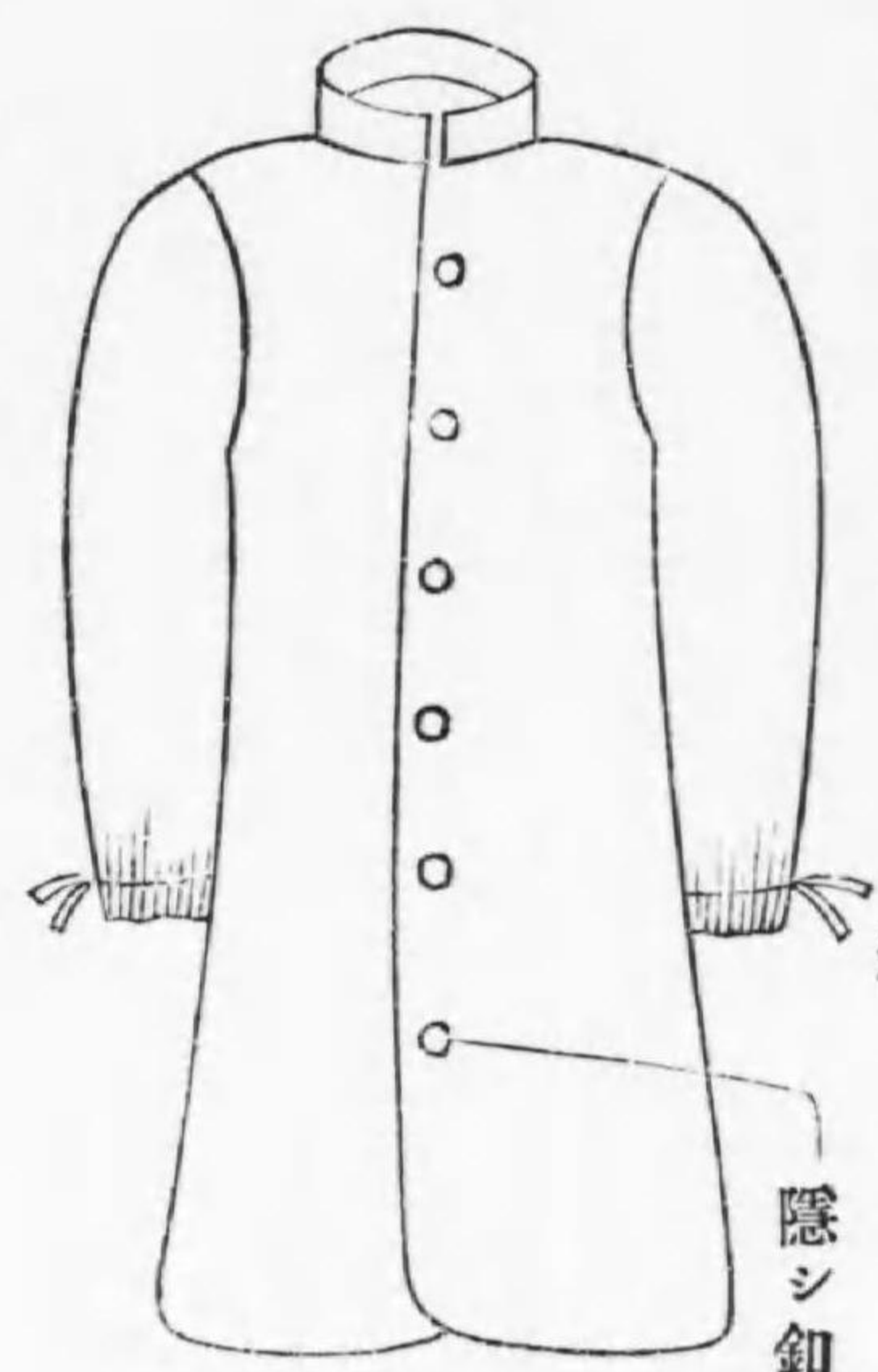
(9) 米穀輸出検査員被服給與規則

- 第一條 米穀輸出検査員ニハ上衣ヲ給與ス但米穀検査所長ニ於テ給與ノ必要ヲ認メサルモノハ此限ニ在ラス
- 第二條 給與品ノ員數、給與期日及使用期間ハ左ノ如シ

員數	一	着
給與期日	每年七月一日	
使用期間	滿一箇年	

- 第三條 前條給與期日後新任及他ヨリ轉職ノ者ニハ使用殘期間相當ノ給與品ヲ給與ス
- 第四條 給與品ハ其ノ裏面ニ白布ヲ附シ之ニ番號使用期間及被給與者ノ氏名ヲ記載スヘシ
- 第五條 使用期間ノ終ラサル給與品ハ退職轉職死亡等ノ際之ヲ返納スヘシ
- 第六條 使用期間内ニ於ケル給與品ノ修繕費ハ被給與者ノ自辨トス
- 第七條 給與スヘキ上衣ノ服制左ノ如シ

地質毛織子 黒地



附則

本令ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

四、米穀検査事業成績（拾五年間）

(1) 米作付反別、收穫高、年別表

種別	年度別			種別	年度別		
	明治卅一年度	明治卅二年	明治卅三年		明治卅一年度	明治卅二年	明治卅三年
作付米	陸米	100	100	反別計	陸米	76,410	78,993
	糯米	6,000	3,740		糯米	2,636	2,519
	粳米	100	100		計	108	108
收穫高	陸米	74,550	74,550	收穫高	陸米	74,550	74,550
	糯米	108	108		糯米	2,636	2,519
	計	75,636	75,668		計	77,186	77,069
一反	陸米	22,330	22,330	一反	陸米	22,330	22,330
	糯米	2,068	1,896		糯米	1,896	1,896
	計	24,398	24,226		計	24,226	24,226
歩收	陸米	22,330	22,330	歩收	陸米	22,330	22,330
	糯米	2,068	1,896		糯米	1,896	1,896
	計	24,398	24,226		計	24,226	24,226
高	陸米	22,330	22,330	高	陸米	22,330	22,330
	糯米	2,068	1,896		糯米	1,896	1,896
	計	24,398	24,226		計	24,226	24,226
收穫	陸米	22,330	22,330	收穫	陸米	22,330	22,330
	糯米	2,068	1,896		糯米	1,896	1,896
	計	24,398	24,226		計	24,226	24,226

(2) 米穀生産検査債數年別表

郡種別	年度別		郡種別	年度別		郡種別	年度別		郡種別	年度別	
	明治卅一年度	明治卅二年		明治卅一年度	明治卅二年		明治卅一年度	明治卅二年		明治卅一年度	明治卅二年
武郡	合格	175	177	川邊郡	合格	181	181	有馬郡	合格	155	168
	不合格	536	913		不合格	276	107		不合格	507	179
郡計	合格	711	718	郡計	合格	711	718	郡計	合格	711	718
	不合格	1,072	1,826		不合格	2,836	1,184		不合格	2,836	1,184
美郡	合格	153	194	石郡	合格	81	81	明郡	合格	34	34
	不合格	393	463		不合格	231	231		不合格	381	381
郡計	合格	184	218	郡計	合格	115	115	郡計	合格	72	72
	不合格	486	526		不合格	462	462		不合格	409	409

郡種赤	郡保揖	郡崎神	郡磨飾	郡南印	郡古加	郡西加	郡可多	郡東加	郡養	年度別	
										明治四十四年度	明治四十五年度
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	合格	不合格
108 955	276 334	174 254	329 479	148 678	268 704	268 704	86 426	338 792	156 843	1450	1450
105 935	278 336	176 256	331 481	150 680	270 706	270 706	88 428	340 794	158 845	1452	1452
102 902	275 333	173 253	328 478	147 675	267 703	267 703	85 425	337 791	155 842	1449	1449
100 880	273 331	171 251	326 476	145 673	265 701	265 701	83 423	335 789	153 840	1447	1447
101 881	274 332	172 252	327 477	146 674	266 702	266 702	84 424	336 790	154 841	1448	1448
103 903	277 335	175 255	330 480	149 677	269 705	269 705	87 427	339 793	157 844	1451	1451
104 904	278 336	176 256	331 481	150 678	270 706	270 706	88 428	340 794	158 845	1452	1452
105 905	279 337	177 257	332 482	151 679	271 707	271 707	89 429	341 795	159 846	1453	1453
106 906	280 338	178 258	333 483	152 680	272 708	272 708	90 430	342 796	160 847	1454	1454
107 907	281 339	179 259	334 484	153 681	273 709	273 709	91 431	343 797	161 848	1455	1455
108 908	282 340	180 260	335 485	154 682	274 710	274 710	92 432	344 798	162 849	1456	1456
109 909	283 341	181 261	336 486	155 683	275 711	275 711	93 433	345 799	163 850	1457	1457
110 910	284 342	182 262	337 487	156 684	276 712	276 712	94 434	346 800	164 851	1458	1458
111 911	285 343	183 263	338 488	157 685	277 713	277 713	95 435	347 801	165 852	1459	1459
112 912	286 344	184 264	339 489	158 686	278 714	278 714	96 436	348 802	166 853	1460	1460
113 913	287 345	185 265	340 490	159 687	279 715	279 715	97 437	349 803	167 854	1461	1461
114 914	288 346	186 266	341 491	160 688	280 716	280 716	98 438	350 804	168 855	1462	1462
115 915	289 347	187 267	342 492	161 689	281 717	281 717	99 439	351 805	169 856	1463	1463
116 916	290 348	188 268	343 493	162 690	282 718	282 718	100 440	352 806	170 857	1464	1464
117 917	291 349	189 269	344 494	163 691	283 719	283 719	101 441	353 807	171 858	1465	1465
118 918	292 350	190 270	345 495	164 692	284 720	284 720	102 442	354 808	172 859	1466	1466
119 919	293 351	191 271	346 496	165 693	285 721	285 721	103 443	355 809	173 860	1467	1467
120 920	294 352	192 272	347 497	166 694	286 722	286 722	104 444	356 810	174 861	1468	1468

郡種別	年度別		明 治 十 一 年 度	十 二 年 度	十 三 年 度	十 四 年 度	十 五 年 度	大 正 元 年 度	二 年 度	三 年 度	四 年 度	五 年 度	六 年 度	七 年 度	八 年 度	九 年 度	十 年 度	十 一 年 度		
	合 格	不 合 格																		
佐用郡	合	不	5463	5800	5446	5871	5819	5567	5736	495	868	3076	4707	4789	5659	4279	6249	6254	6695	
粟田郡	合	不	7470	8065	7686	7404	7547	7646	8111	8053	7208	8498	7204	6833	8439	8493	8493	8406	8346	8346
氷上郡	合	不	211	36	124	133	170	38	38	83	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
多紀郡	合	不	9694	898	110	124	143	167	199	44	133	147	147	154	163	163	173	197	181	643
津名郡	合	不	2060	1374	1758	1733	2063	1490	1664	155	183	149	155	158	163	163	173	173	173	173
三原郡	合	不	180	26	179	194	195	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197

郡種別	年度別		明 治 十 一 年 度	十 二 年 度	十 三 年 度	十 四 年 度	十 五 年 度	大 正 元 年 度	二 年 度	三 年 度	四 年 度	五 年 度	六 年 度	七 年 度	八 年 度	九 年 度	十 年 度	十 一 年 度		
	合 格	不 合 格																		
城崎郡	合	不	1080	740	495	851	74	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
出石郡	合	不	1080	740	495	851	74	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
養父郡	合	不	1080	740	495	851	74	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
朝來郡	合	不	1080	740	495	851	74	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
美方郡	合	不	1080	740	495	851	74	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
合	合	不	3231	3474	3474	3287	3141	3445	3583	3583	2915	3588	3588	3588	3588	3588	3588	3588	3588	3588
計	不	不	3451	3693	3693	3466	3368	3615	3799	3799	3177	3848	3848	3848	3848	3848	3848	3848	3848	3848

(3) 米穀移出検査債數年別表

郡種別	年度別									
	明治四十一年度	明治四十二年度	明治四十三年度	明治四十四年度	明治四十五年度	明治四十六年度	明治四十七年度	明治四十八年度	明治四十九年度	明治五十年度
武庫郡	五二四三	一三六九七	一三三三〇	一七四〇七	一八四三〇	二二九一八	五九四四	一六九六五	二八五六	一四六九九
川邊郡	二五八六五	三三〇〇六	二九九九三	三三三三三	三六二九八	三九四九〇	五二四三	三五一〇三	四八二六	四〇三九九
有馬郡	四二六〇一	九一九〇三	五八〇九四	七五二〇	七〇九九一	六七一四一	九六二五七	七四七八	九八六九九	七五三四
明石郡	一一一三三	一八四九	一〇六	九七四三	九八八九	九四七	一〇〇	七〇七六	一〇〇	六三三
美濃郡	五三三三	三〇一七	五三三七	五三三七	五二二七	五〇四四	九八〇	二二七〇	七九八〇	二二四

1111

郡種別	年度別									
	明治四十一年度	明治四十二年度	明治四十三年度	明治四十四年度	明治四十五年度	明治四十六年度	明治四十七年度	明治四十八年度	明治四十九年度	明治五十年度
加東郡	七五三三	六七三九四	八六八四四	七三二	八二五八八	一三六	一五九	一八五	一七二	一七二
多可郡	一一四九〇	二三八二	二八五〇四	二八五〇	三二七六六	四六九六六	六八八二八	五三五六	六九七二六	六七二二
加西郡	二六七〇	五二七九	七三三七	一一〇五	四三七七	三〇九九	四六八	四三九四	七二五四	七二五四
加古郡	二二二	三三三	二六八	二四九	一九六	二二二	三三三	一四六	一五〇	二二二
印南郡	五七四四五	九九四八四	五九七四四	三八五五八	三五六九五	七三三六	九三六三	六〇八四三	五九四七	四九四七
飾磨郡	一九四三	四六二五七	二五三七三	二四七三五	二六六三四	二九九九九	三三九九九	一七二七五	二八二二八	二六九七一

1111

郡種別	年度別		郡種別	年度別	
	一	二		一	二
神	支	米	神	支	米
計	計	計	計	計	計
一	二	三	一	二	三
二	三	四	二	三	四
三	四	五	三	四	五
四	五	六	四	五	六
五	六	七	五	六	七
六	七	八	六	七	八
七	八	九	七	八	九
八	九	十	八	九	十
九	十	十一	九	十	十一
十	十一	十二	十	十一	十二
十一	十二	十三	十一	十二	十三
十二	十三	十四	十二	十三	十四
十三	十四	十五	十三	十四	十五
十四	十五	十六	十四	十五	十六
十五	十六	十七	十五	十六	十七
十六	十七	十八	十六	十七	十八
十七	十八	十九	十七	十八	十九
十八	十九	二十	十八	十九	二十
十九	二十	二十一	十九	二十	二十一
二十	二十一	二十二	二十	二十一	二十二
二十一	二十二	二十三	二十一	二十二	二十三
二十二	二十三	二十四	二十二	二十三	二十四
二十三	二十四	二十五	二十三	二十四	二十五
二十四	二十五	二十六	二十四	二十五	二十六
二十五	二十六	二十七	二十五	二十六	二十七
二十六	二十七	二十八	二十六	二十七	二十八
二十七	二十八	二十九	二十七	二十八	二十九
二十八	二十九	三十	二十八	二十九	三十
二十九	三十	三十一	二十九	三十	三十一
三十	三十一	三十二	三十	三十一	三十二
三十一	三十二	三十三	三十一	三十二	三十三
三十二	三十三	三十四	三十二	三十三	三十四
三十三	三十四	三十五	三十三	三十四	三十五
三十四	三十五	三十六	三十四	三十五	三十六
三十五	三十六	三十七	三十五	三十六	三十七
三十六	三十七	三十八	三十六	三十七	三十八
三十七	三十八	三十九	三十七	三十八	三十九
三十八	三十九	四十	三十八	三十九	四十
三十九	四十	四十一	三十九	四十	四十一
四十	四十一	四十二	四十	四十一	四十二
四十一	四十二	四十三	四十一	四十二	四十三
四十二	四十三	四十四	四十二	四十三	四十四
四十三	四十四	四十五	四十三	四十四	四十五
四十四	四十五	四十六	四十四	四十五	四十六
四十五	四十六	四十七	四十五	四十六	四十七
四十六	四十七	四十八	四十六	四十七	四十八
四十七	四十八	四十九	四十七	四十八	四十九
四十八	四十九	五十	四十八	四十九	五十
四十九	五十	五十一	四十九	五十	五十一
五十	五十一	五十二	五十	五十一	五十二
五十一	五十二	五十三	五十一	五十二	五十三
五十二	五十三	五十四	五十二	五十三	五十四
五十三	五十四	五十五	五十三	五十四	五十五
五十四	五十五	五十六	五十四	五十五	五十六
五十五	五十六	五十七	五十五	五十六	五十七
五十六	五十七	五十八	五十六	五十七	五十八
五十七	五十八	五十九	五十七	五十八	五十九
五十八	五十九	六十	五十八	五十九	六十
五十九	六十	六十一	五十九	六十	六十一
六十	六十一	六十二	六十	六十一	六十二
六十一	六十二	六十三	六十一	六十二	六十三
六十二	六十三	六十四	六十二	六十三	六十四
六十三	六十四	六十五	六十三	六十四	六十五
六十四	六十五	六十六	六十四	六十五	六十六
六十五	六十六	六十七	六十五	六十六	六十七
六十六	六十七	六十八	六十六	六十七	六十八
六十七	六十八	六十九	六十七	六十八	六十九
六十八	六十九	七十	六十八	六十九	七十
六十九	七十	七十一	六十九	七十	七十一
七十	七十一	七十二	七十	七十一	七十二
七十一	七十二	七十三	七十一	七十二	七十三
七十二	七十三	七十四	七十二	七十三	七十四
七十三	七十四	七十五	七十三	七十四	七十五
七十四	七十五	七十六	七十四	七十五	七十六
七十五	七十六	七十七	七十五	七十六	七十七
七十六	七十七	七十八	七十六	七十七	七十八
七十七	七十八	七十九	七十七	七十八	七十九
七十八	七十九	八十	七十八	七十九	八十
七十九	八十	八十一	七十九	八十	八十一
八十	八十一	八十二	八十	八十一	八十二
八十一	八十二	八十三	八十一	八十二	八十三
八十二	八十三	八十四	八十二	八十三	八十四
八十三	八十四	八十五	八十三	八十四	八十五
八十四	八十五	八十六	八十四	八十五	八十六
八十五	八十六	八十七	八十五	八十六	八十七
八十六	八十七	八十八	八十六	八十七	八十八
八十七	八十八	八十九	八十七	八十八	八十九
八十八	八十九	九十	八十八	八十九	九十
八十九	九十	九十一	八十九	九十	九十一
九十	九十一	九十二	九十	九十一	九十二
九十一	九十二	九十三	九十一	九十二	九十三
九十二	九十三	九十四	九十二	九十三	九十四
九十三	九十四	九十五	九十三	九十四	九十五
九十四	九十五	九十六	九十四	九十五	九十六
九十五	九十六	九十七	九十五	九十六	九十七
九十六	九十七	九十八	九十六	九十七	九十八
九十七	九十八	九十九	九十七	九十八	九十九
九十八	九十九	一百	九十八	九十九	一百

郡種別	年度別	美支米		方支米		計
		計	支米	計	支米	
郡種別	明治四十一年度	八〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	明治四十二年度	五五〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	明治四十三年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	明治四十四年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	大正元年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	大正二年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	大正三年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	大正四年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	大正五年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇
	大正六年度	一〇〇〇	一四〇	二八〇	一四〇	二二八〇

(4) 玄米移出検査俵數種別等級區別表 (本表ハ梗)

種別	年度別	大粒				
		一等	二等	三等	四等	計
種別	明治四十一年度	九五三七	一九三	二二	一六	一〇〇〇
	明治四十二年度	四七六三	二五〇	九五	七五	五〇〇
	明治四十三年度	七二七三	三二八	八四	一〇〇	八〇〇
	明治四十四年度	七一九三	三〇九	一〇八	一〇〇	八〇〇
	大正元年度	六、九四七	三三六	一〇八	一〇〇	八〇〇
	大正二年度	四、五五七	二六二	一〇八	一〇〇	八〇〇
	大正三年度	一、九三九	一九四	一〇〇	一〇〇	八〇〇
	大正四年度	一、七九六	一四〇	一〇〇	一〇〇	八〇〇
	大正五年度	三、三八八	二二八	九六	一〇〇	八〇〇
	大正六年度	二、三〇八	二二一	六八	一〇〇	八〇〇

種別	年度別	小粒				
		一等	二等	三等	四等	計
種別	明治四十一年度	一、二五五	八五七	二二九	七九	二、三六〇
	明治四十二年度	六、五五〇	一、四三三	四七	一〇〇	八、〇〇〇
	明治四十三年度	四、四六〇	八七三	三〇七	一七九	五、七二九
	明治四十四年度	九、一五五	五、九六四	二、三二	一五	一五、〇〇〇
	大正元年度	四、一〇一	五、三二八	二、三二	一四	一五、〇〇〇
	大正二年度	四、〇〇	二、四	四四	一〇	一五、〇〇〇
	大正三年度	六、八四九	九四七	四二	一〇	八、〇〇〇
	大正四年度	四、〇六六	四、〇六六	三、三	二五	八、〇〇〇
	大正五年度	五、四四五	五、四四五	三、八	七九	一〇、〇〇〇
	大正六年度	六、三〇九	六、三〇九	七、七	一〇〇	一〇、〇〇〇

(5) 精米移出検査俵數種別等級區別表 (本表ハ梗)

郡種別	年度別	大粒				
		一等	二等	三等	四等	計
郡種別	明治四十一年度	三、〇〇七	四、二六二	一、九三三	一〇、〇八九	二〇、〇〇〇
	明治四十二年度	四、二〇五	六、五三三	九、九〇八	四、二一八	二〇、〇〇〇
	明治四十三年度	四、七二九	四、七四九	六、六四八	四、二〇九	二〇、〇〇〇
	明治四十四年度	五、一六	三、五五五	五、七〇三	二、六五二	二〇、〇〇〇
	大正元年度	四、七三六	二、〇三四	六、一〇五	二、九七七	二〇、〇〇〇
	大正二年度	四、七〇三	二、六三四	四、七九八	三、六〇三	二〇、〇〇〇
	大正三年度	四、〇八一	一、三七一	五、二二九	三、三〇八	二〇、〇〇〇
	大正四年度	四、〇〇九	一、〇四二	四、三七一	三、二九九	二〇、〇〇〇
	大正五年度	四、四四六	一、三〇七	四、八八九	三、七四四	二〇、〇〇〇
	大正六年度	四、〇九九	二、九七	三、七二五	三、一九八	二〇、〇〇〇

種別	年度別	
	明治四十四年度	明治四十五年度
一等	三〇八二	八六五二
二等	三二〇七	二九〇一
三等	七六五七	一八〇一
四等	二七〇五六	九六九
五等	九〇九三	二〇二七
不合格	二二八六	二五五〇
計	一四八	四〇五
合計	二五六	六六四

(6) 米穀仕向地別移出検査俵数年別表

仕向地	年度別									
	明治四十四年度	明治四十五年度	明治四十六年度	明治四十七年度	明治四十八年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度	大正五年度
大阪府	三六	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
京都府	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
愛知縣	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九	二〇九
千葉縣	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三
和歌山縣	三九七	三九七	三九七	三九七	三九七	三九七	三九七	三九七	三九七	三九七

種別	年度別									
	明治四十四年度	明治四十五年度	明治四十六年度	明治四十七年度	明治四十八年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度	大正五年度
德島縣	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三
香川縣	一九八	一九八	一九八	一九八	一九八	一九八	一九八	一九八	一九八	一九八
東京府	五三六	五三六	五三六	五三六	五三六	五三六	五三六	五三六	五三六	五三六
神奈川縣	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四
廣島縣	五四四	五四四	五四四	五四四	五四四	五四四	五四四	五四四	五四四	五四四
高知縣	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九
岡山縣	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八
長野縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
北野縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
北海道	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
三重縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
靜岡縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
岐阜縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
石川縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
鳥取縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
群馬縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
山梨縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
奈良縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
歌洲縣	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
其他	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
計	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一

(7) 產地別移輸入米俵數年別表

產地名	年度別									
	明治四十年度	明治四十一年度	明治四十二年度	明治四十三年度	明治四十四年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度	大正五年度
大阪府	11,900	12,700	13,500	14,300	15,100	15,900	16,700	17,500	18,300	19,100
京都府	4,400	4,600	4,800	5,000	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000	6,200
岡山縣	9,200	9,500	9,800	10,100	10,400	10,700	11,000	11,300	11,600	11,900
徳島縣	5,500	5,700	5,900	6,100	6,300	6,500	6,700	6,900	7,100	7,300
宮崎縣	4,400	4,600	4,800	5,000	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000	6,200
熊本縣	3,900	4,100	4,300	4,500	4,700	4,900	5,100	5,300	5,500	5,700
石川縣	3,600	3,800	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800	5,000	5,200	5,400
奈良縣	3,300	3,500	3,700	3,900	4,100	4,300	4,500	4,700	4,900	5,100
山口縣	2,700	2,900	3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	4,100	4,300	4,500
福井縣	2,500	2,700	2,900	3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	4,100	4,300
鹿兒島縣	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
香川縣	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
愛媛縣	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
廣島縣	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300
島根縣	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200
鳥取縣	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
滋賀縣	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
三重縣	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
福井縣	900	950	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300	1,350

(8) 神戸米穀肥料市場米價平均相場年別表

播	年度別	年度別									
		明治四十年度	明治四十一年度	明治四十二年度	明治四十三年度	明治四十四年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度	大正五年度
青一等	上内四	115.00	116.00	117.00	118.00	119.00	120.00	121.00	122.00	123.00	124.00
青二等	中内	110.00	111.00	112.00	113.00	114.00	115.00	116.00	117.00	118.00	119.00

開催年度	區別	年度別																			
		明治四十四年度	明治四十五年度	明治四十六年度	明治四十七年度	明治四十八年度	明治四十九年度	大正元年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度										
米馬但	青三等																				
	赤三等																				
米波丹	青三等																				
	赤三等																				
米路淡	青三等																				
	赤三等																				
米津攝	青三等																				
	赤三等																				
米磨	青三等																				
	青四等																				
	赤一等																				
	赤二等																				

(9) 俵米、小作米、刺米品評會開催數年別表

開催年度	區別	出品數		受賞數	
		合計	最少	合計	最少
明治四十四年度	一	五七三六	二六七〇	一七〇九六	九八三
明治四十五年度	二	六〇八九	二四九〇	一七六九六	四九〇
明治四十六年度	三	六八八九	二六三八	一八〇四	四九九
明治四十七年度	四	五四一四	二五五五	一四七五	五三〇
明治四十八年度	五	五〇九九	三〇二一	一七〇七	六九七
明治四十九年度	六	四〇五五	一六五四	一六〇三	六〇七
大正元年度	七	五七四四	一五七四	一八六八	四三
大正二年度	八	七〇九九	一六七〇	一八七三	一〇
大正三年度	九	七四〇九	一六七〇	一八七三	一〇
大正四年度	一〇	七五〇八	一六七〇	一八七三	一〇

(10) 俵米共同販賣數年別表 單位 俵

區別	共同販賣數	全上俵數		一ヶ所ニ置ケル加入人員		同上販賣俵數		一石ノ賣價		平均	時價ニ比シ平均一石ノ利益
		合計	最少	最多	最少	最多	最少	最高	最低		
明治四十四年度	四八	二七九	五二六	五六	三	八八〇	二〇	一四〇	一七〇	一五〇	七
明治四十五年度	五九	三二〇	六二五	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
明治四十六年度	五九	三二〇	六二五	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
明治四十七年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
明治四十八年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
明治四十九年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正元年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正二年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正三年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正四年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正五年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正六年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正七年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正八年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正九年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五
大正十年度	六四	三七九	六八〇	六〇	三	一〇〇〇	七	一五九	一七〇	一五〇	五

(11) 穀 蠹 驅 除 成 績 調 査 年 別 表

區 別	驅除倉庫數			倉庫立法尺	所要藥品數量	積米其他 積込數	成績(真好 稍不真)
	一年度	二年度	三年度				
一 明治							
二 四	二六〇	九四八	二二二	六七七	八八〇	五〇二	三〇
三 四	二八〇	七九九	一五五	八八〇	九七九	三三〇	二二
四 元	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
五 二	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
六 三	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
七 四	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
八 五	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
九 六	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
十 七	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
十一 八	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
十二 九	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三
十三 十	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三

(12) 酒 造 米 俵 數 價 格 調 査 年 別 表

區 別	酒造米		賣却 掛米	俵數計	全 壹 掛 最 高
	一年度	二年度			
一 明治					
二 四	二八〇	九四八	二二二	六七七	八八〇
三 四	二八〇	七九九	一五五	八八〇	九七九
四 元	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
五 二	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
六 三	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
七 四	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
八 五	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
九 六	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
十 七	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
十一 八	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
十二 九	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五
十三 十	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五

石ノ 賣價	普通		一石ノ 時價	時價 最高	ニ比シ 最低	一石ノ 利益	利益 平均	總計
	一年度	二年度						
一 明治								
二 四	二八〇	九四八	二二二	六七七	八八〇	五〇二	三〇	二八〇
三 四	二八〇	七九九	一五五	八八〇	九七九	三三〇	二二	二八〇
四 元	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
五 二	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
六 三	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
七 四	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
八 五	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
九 六	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
十 七	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
十一 八	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
十二 九	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三
十三 十	三三三	六八〇	二四九	九七九	二六五	三六〇	三三	三三三

(13) 農業倉庫入庫米檢查俵數調查年別表 (單位俵)

區別	大 粒					小 粒					合計	特 定	
	一 等	二 等	三 等	四 等	不 合 格	計	一 等	二 等	三 等	四 等			不 合 格
明治十一年													
明治十二年													
明治十三年													
明治十四年													
大正元年													
大正二年													
大正三年													
大正四年													
大正五年													
大正六年													
大正七年													
大正八年	一八八	三三六	三八六	二八八	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
大正九年	一八八	三三六	三八六	二八八	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
大正十年	一八八	三三六	三八六	二八八	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
大正十一年	一八八	三三六	三八六	二八八	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七

五、神戸米穀肥料市場沿革

兵庫港ハ元大輪田泊ト云ヒ遠ク天平ノ昔行基菩薩ノ創建ニ係ル、延喜ノ年以後相門ノ權力旺盛ナルヲ及ビ永ク願ミラレサリシモ、平清盛政權ヲ得ルニ及ンデ大々的修築ヲ加ヘ、屢々風濤ノ厄ニ遭遇シ非常ノ困難ヲ極メシモ長寛元年遂ニ工ヲ終レリ、其後朝廷ニ奏シテ追加修復ノ事業ヲ國家ノ仕事ニ移シ、長ク此ノ地ノ繁榮ヲ圖リシ爲人民多ク移リ住ミ一時ハ商家薈ヲ列フルノ殷賑ヲ呈セリ、然ルニ壽永ノ乱後世ハ刈菰ノ如ク乱レ清盛ノ企圖モ空シク怒濤岸ヲ嚙ミ、白馬天ニ躍ルノ荒涼タル有様トナレリ

建久七年東大寺ノ碩徳俊乗坊重源、此地ニ來リ清盛ノ遺業ノ荒廢ニ屬スルヲ見、慨歎措カス、一箇緇素ノ身ヲ以テ之レガ改築ヲ計リ遂ニ之ヲ完成シテ兵庫經ケ島升米ト稱スル財源ヲ課シ長ク東大寺ノ管理スル處トナレリ室町時代ノ末世ニ於テモ兵庫關ハ寺門ノ管理ニ屬シ、武門ノ驕傲ト雖モ一指ヲ染ムルコト能ハサリシモノ、如ク、長享以降天正ノ頃迄ハ武家ト寺門トノ爭奪ノ巷トナリ、互ニ之ノ好財源地ヲ得ントシテ爭ヘリ、天正八年池田信輝花隈城ヲ陥レ紀州根來ノ僧兵ガ占領セシ、兵庫ノ地ニ兵庫城ヲ築クニ至レリ、其當時兵庫ノ城下ハ市街整然各國貨物ノ輻輳地トナリ、東西一里四町南北十九町ノ大市街ニシテ非常ノ殷賑ヲ極メタリ

其後豊臣氏大阪城ヲ築キシヨリ、大阪ノ繁榮ニ伴ヒ、西國ヨリ大阪ニ向フ所ノ船舶悉ク先ヅ兵庫ニ碇泊シ、荷物ヲ親船ヨリ枝船ニ積取リ大阪ニ送リシカバ、兵庫市内ニ諸問屋ナルモノ軒ヲ並べ、豊臣氏ヨリハ片桐且元、増田長盛等ヲ奉行トシテ兵庫ニ代官所ヲ置クニ至リ、商業上樞要ノ地トナリ屈指ノ巨賈移リ住スルモノ多カリキ、豊臣氏亡フルニ及ビ兵庫津ハ尼崎藩ノ領地トナリ、明和八年ニ至リ徳川幕府ノ直轄ニ移リ、或ハ大津或ハ大阪町奉行所支配ノ下ニ公廨ヲ設ケ、代官ヲ派シ名主ヲ置キ以テ明治維新ノ際ニマデ及ビタリ

亭保年間兵庫十二濱ノ諸事統計ノ文書ニ據レバ、町數四十四町、本家千八百八十八棟、借家千七百二十七棟、人數一萬六千六十六人ヲ算シ、降ツテ天明八年ニ至リ竈數五千五百九個、人口一萬九千五百八十八人ニ増加セリ、而シテ住民ノ多クハ商賈ニシテ殊ニ問屋仲買ヲ營業トスルモノ多シ、サレハ明和以前ニアリテハ米穀肥料ノ相場ハ兵庫ノ價格ヲ標準トスルニ至レリ、斯ク商權ヲ振リ諸國廻漕ノ船舶ハ、大船小舟舳舻相衝ミテ此ノ津ニ來往シ住民富殖ノ地トナレリ、當時此地ニ於ケル特有ノ商品タル米穀ニ關スル問屋仲買ハ如何ナル振合ヲ以テ營業シ來リタルカヲ概述センニ、兵庫津ハ往古ヨリ、本邦唯一ノ商業市場トシテ其名最モ著シク其集散貨物ノ中第一位ヲ占ムルモノハ、米穀ニシテ肥料之ニ次グ、之等ノ貨物ハ二百有餘軒ノ問屋及仲買ニ於テ取扱ル、此問屋ナルモノハ問屋株ト稱スル商業株ヲ有シ、領主ヨリ商業上種々ノ特權ヲ與ヘラレ、他人ノ同業ヲ營ムヲ嚴禁セラレ、殆ンド商業ノ全權ヲ支配シ此ノ中ヨリ數名ノ名主ヲ出シ、奉行ノ命令ヲ奉ジ行政上ニモ干與シタレバ、問屋株ナルモノハ頗ル名譽ノ地位ヲ保チタリ、商業上ニ於テハ此ノ下ニ仲買仲間ナルモノアリテ、問屋ヨリ荷物ヲ買受ケ之ヲ地方其他ノ需要者ニ販賣スルヲ業トセリ

而シテ各問屋間ニ於テハ嚴然タル勢力區域ノ存スルアリテ、若シ甲問屋カ乙問屋ノ勢力範圍ヲ侵スコトアレハ、問屋年寄衆及年行司衆ニ届出テ判斷ヲ仰キ解決セシナリ、又大阪ニ於ケル各大名ノ年貢米ノ賣捌モ一切兵庫諸問屋ノ手ニ依リ取扱ハル、等、諸問屋ノ勢力甚タ大ナリシカハ、大阪、江戸等ノ商人中竊ニ兵庫津在來ノ問屋株、穀物仲買株等ノ特許ヲ出願シ、冥加金、運上金ヲ多ク上納スルヲ條件トシテ其筋ヨリ公許ヲ得タル事アリ、其他幕府ヨリ多大ノ課稅ヲ強要セラル、等、其商權ヲ維持スルニ種々ノ困難アリシモ、賦新存

醇今日ノ繁榮ヲ來スニ至レリ

明治維新トナリテ、商業株(問屋株)ナル制ハ御達ニ依リ廢止セラレタリ、舊問屋仲間ハ天明年度ヨリ積立來タリタル、仲間積立銀ナルモノ八千餘圓ノ多額アリ、明治十四年一月此共有金保護ノ爲、廣明舎ナルモノヲ設ケタリシガ明治二十二年四月ニ至リ一同ノ協議ニ依リ解散スルニ決シ共有金ヲ分配セリ、而シテ諸問屋會所ハ始メ兵庫島上町ニアリシガ、明治十七年ノ頃宮内町ノ海岸ニ新築シ、後二十五年頃今ノ宮前町ニ移轉セリ、之レ今日ノ神戸米穀肥料市場ノ生レタル經路ナリトス

六、神戸取引所沿革

本邦取引所ノ起源ハ今ヲ距ル二百五十餘年遠ク寛文年代ノ昔大阪ニ在リタル諸藩藏米ノ賣買取引ニ伴フテ起リシ帳合米取引ニ濫觴シ爾來幾多ノ變遷ヲ經テ今日ニ迄ヘルモノナルカ

神戸ノ地ハ古來海陸交通ノ要衝ニ當リ米穀ノ集散高ハ殆ド全國ニ冠タルヨリ神戸取引所ハ今ヲ距ル大凡二百年享保時代ニ萌芽ヲ發シ明治四年時ノ政府ノ免許ヲ得テ兵庫米會所ヲ設立シ之カ會所ヲ兵庫佐比江町ニ置ケリ九年政府ガ米商會議所條例ヲ制定發布セルヨリ十年三月更ニ兵庫米商會議所ヲ設立シ市場ヲ兵庫新川ニ移セリ爾來多少ノ曲折ヲ經テ二十年五月政府カブールス條例ヲ發布シタルヨリ乃チ該條例ニ據リテ更ニ其組織ヲ更メテ神戸取引所ト稱シ超テ二十六年三月取引所法ノ發布ニ當リ茲ニ組織ヲ會員制度ニ更メ同年三月ヲ以テ神戸米穀株式外五品取引所ヲ設立セリ蓋シ之ヲ神戸取引所ノ前身時代トス、其後二十九年九月更ニ其組織ヲ更メ株式會社神戸米穀株式外四品取引所ト稱シ資本金ヲ二十萬圓ニ増加シ取引物件ヲ米、有價證券、雜穀、

肥料、石油、石炭トセリ即チ之ヲ株式組織ヲ以テスル神戸取引所ノ紀元トス同年十一月神戸市相生町ニ支店ヲ設ケ以テ公債株式ノ賣買取引ヲ行ヘリ三十二年三月更ニ支店ヲ東川崎町ニ移シ其年十一月再ヒ之ヲ本店ニ併合セリ次テ三十九年六月取引物件ノ種目ヲ減シ商號ヲ株式會社神戸米穀株式取引所ト改メ其九月資本金ヲ五十萬圓ニ増加セリ四十年四月再ヒ株式市場ヲ元町通り四丁目ニ新設シ公債株式ノ賣買取引ヲ該支店ニ移シ之ガ取引ヲ行ヘリ大正二年十月又復資本金ヲ八十萬圓ニ増加シ八年二月商號ヲ株式會社神戸取引所ニ更メ同時ニ資本金ヲ二百萬圓ニ増加シ更ニ九年九月三百五十萬圓ニ更メ全年十月地ヲ楠町七丁目三十三番ニトシ工ヲ起シテ全十年十二月二十八日竣工シ大正十一年一月現在ノ新市場ニ移轉セシモノナリ

七、雜 件

(1) 米穀貯藏試驗成績

産米改良事業ノ發達ニ伴ヒ貯藏ノ方法ヲ研究スルハ最モ緊要ナリ然レドモ之レガ講究ニ要スベキ期間ノ甚ダ長期ニ涉ルト共ニ其供試米ノ數量多額ナルト種類及乾燥、調製、俵裝、貯藏倉庫ノ關係等地方斯業ノ改良ニ趣味ヲ有スル篤志家ノ援助ニ俟タザル可カラズ由テ赤穂郡坂越港ノ奥藤研造氏印南郡上莊村ノ大西甚一平氏氷上郡黒井村ノ野村國太郎氏同三崎源之助氏ニ交渉セシニ何レモ快諾ヲ得タルヲ以テ愈研究ノ議一決シ右四家ノ貯藏米並倉庫ヲ借り受ケ貯藏試驗ヲ完成シタルハ深ク四氏後援ノ好意ヲ感謝スル所ナリ而シテ其ノ試驗ノ成績ハ自他ノ參考トナルベキヲ以テ左ニ掲載ス

試驗ノ梗概

一、本試驗ハ大正四年産米ヲ以テシ收穫當時大小粒別乾燥良好ノモノ、普通ノモノ、不良ノモノ各一種ニ付八俵宛即チ四十八俵ヲ倉庫ニ貯藏シ各俵ニ就キ正確ニ容量及重量ヲ檢シ三月ヨリ十一月マテ八ヶ月間毎月下旬ニ各種倉俵ゾ、解俵シ容量、重量及俵裝ノミノ量目並ニ保存ノ状態ト更ニ之レヲ精白シテ搗減歩合其ノ他ノ要項ヲ調査セリ

一、倉庫ノ位置及地勢

兵庫縣赤穂郡坂越村ノ内高谷村千六百二十五番地ニシテ東南ハ人家ニ接シ坂越港トハ凡ソ八丁餘ヲ隔テ西北ハ人家ニ連ナリ約一丁ヲ距テ、千種川ニ沿ヒ西南縣道ヲ挟ミテ田圃ニ對シ東北ハ山ヲ負ヘリ而メ其山ノ湧出水ハ地下ヲ通過スルガ故ニ海拔約二十尺ノ高地ニアルモ米穀貯藏倉庫ノ敷地トシテハ稍々濕潤ナルノ感ナキニアラズ

奥藤家 倉庫

兵庫縣印南郡上莊村ノ内見土呂村三百九十五番地ニシテ南ハ稻田ニ接シ約二丁ヲ隔テ、加古川ニ沿ヒ東ハ道路ヲ挟ミ宅地ニ連ナリ北ハ二間餘ノ空地ヲ隔テ木宅ノ門長屋ニ接シ西ハ家屋ニ連リ四圍平坦海拔四十五尺ノ高地ニシテ排水良好ナル方、氣候溫和ニシテ寒暖ハ別表ニ示スカ如ク激變ナク、米穀貯藏倉庫ノ敷地トシテハ適當ナリト認ム

野村家 倉庫

兵庫縣氷上郡黒井村ノ内黒井村二千四百十一番宅地内ニアリテ東方三間餘ノ庭園ヲ隔テ、本宅ニ接シ西ハ人家ニ接シ南ハ縣道ヲ隔テ、人家アリ北ハ宅地内二間餘ノ空地ヲ隔テ、他ノ倉庫ニ接シ地形ハ北ヨリ南ニ傾斜シテ下水瀧溜ノ憂ナク晴天數日ニ亘ルトキハ土地乾燥ニ過ギ晴雨ニ依リ土地ノ乾燥度合ニ甚シキ懸隔ヲ生ジ米穀ノ貯藏倉庫トシテハ此激變ヲ防ケノ設備ヲ要スト認ム

二、倉庫ノ構造

奥藤家 倉庫

土藏ニシテ桁行十二間、梁行五間半、高サ二間半、屋根裏ハ總テ板ヲ張り其上ニ厚サ二寸ノ土ヲ置キテ瓦ヲ葺キ四圍ハ土壁ノ厚サ四寸、内部ノ周圍ハ三尺毎ニ徑三寸乃至四寸ノ二ツ割杉丸太ヲ以テ俵摺木ヲ釘着トシ、外部ハ土葺石ヨリ一間半高サニ檜杉板ヲ以テ圍ヘリ、庫内ノ地面ハ漆喰叩キ、厚サ二寸、西南ニ高サ一間、幅七尺ノ出入口ヲ設ケ、窓ハ下ヨリ一間半ノ處ニ西北四ヶ所、東南二ヶ所、東北二ヶ所、西南出入口ノ上ニ二ヶ所ヲ開キ、出入口ハ板戸トス、其外側ニ開口五間半、奥行一間半ノ庇ヲ設ケ

大西家 倉庫

土藏ニシテ桁行五間、梁行三間、高サ一間半、其上ニ合掌ヲ組ミ板ヲ張り其上ニ厚サ二寸ノ土ヲ置キ、尙上ニ四寸ノ空間ヲ置キテ屋根地ヲ拵ヘ厚サ二寸ノ土ヲ置キ瓦ヲ葺ク、内部ノ四圍ハ板ヲ以テ圍ヒ地下ヨリ五寸ヲ離レ座板ヲ張り、窓ハ東下方ヨリ七尺五寸上リタル所ニ方二尺ノモノ一個、壁ノ厚サ五寸、出入口ハ北向ニシテ高サ六尺幅四尺五寸ナリ

野村家 倉庫

土蔵ニシテ桁行八間、梁行二間半、高サ二間、屋根是板葺ニシテ其上ニ厚サ二寸ノ土ヲ置キ瓦ヲ葺ク、土面ハ「コンクリート」厚サ二寸、其ノ下ニ砂利二寸ヲ埋メ、壁ノ内面ニハ三尺毎ニ二本ヅ、徑三寸ノ依摺木ヲ釘着シ、窓ハトヨリ八尺ノ處ニ方二尺ノモノ、西側ニ二ヶ所、北側ニ一ヶ所、南側ハトヨリ五尺四寸ノ所ニ一ヶ所、東ニ高サ六尺五寸幅四尺ノ出入口ヲ設ク

三、米ノ積ミ方
奥藤家倉庫ニ於テハ庫内ノ東隅ニ四間ニ二間ヲ割シ五寸角ノ臺木ヲ置キ小口立一俵並ニ醜列ス
大西家倉庫ニ於テハ入口ノ西北隅ニ三間ニ一間ノ場所ヲ定メ座板ノ上ニ五寸角ノ臺木ヲ置キ其上ニ井桁積ニ三俵ヅ、ヲ重ヌ
野村家倉庫ニ於テハ入口ノ右、倉庫ノ東側壁ニ沿ヒタル處ニ三間ニ一間ノ場所ヲ定メ、漆喰ノ上ニ五寸ノ臺木ヲ置キ其上ニ井桁積ニ三俵ヅ、ヲ重ヌ

四、貯蔵ト地勢及溫度トノ關係
奥藤家倉庫ノ貯蔵試驗米ハ入庫ノ當時供試米以外ニ他ノ俵米ヲ多數積込ミアリタルモ梅雨期以前ニ於テ全部ヲ出庫シ米ノ貯蔵上最モ困難ニシテ被害多キ梅雨期ヨリ土用後ニ至ル暑氣激甚ノ時期ニ於テ大倉庫内ニ試驗米ノミトナリ加フルニ數地ノ濕氣ヲ含メルヲ以テ庫内ノ溫度極メテ低ク八月以後解俵ノ分ハ乾燥不長ニシテ下積俵口ニ多少ノ變質米ヲ見タルモ別表ノ如ク試驗終了ノ十月ニ至ルモ容量ニ於テ殆ド減量セラルモノナキハ土地常ニ濕潤ニシテ庫内ノ溫度低キニ依ルモノナランカ

大西家倉庫ハ供試米以外ノ俵米ヲ以テ滿積シアリシガ故ニ四月以後ニ於テハ庫内常ニ蒸熱シ奥藤、野村兩家ノ倉庫ニ比シ庫内ニ於ケル乾燥ノ度合高ク爲メニ八月以後解俵セル試驗米ハ別表ノ如ク幾分ノ裨減ヲ呈セリ、然レドモ庫内ノ氣溫常ニ高カリシガ故ニ殆ド變質米ヲ見ズ野村家倉庫ハ當初供試米以外ノ俵米ヲ滿積セシモ五月頃殆ド出庫シ試驗米ノミトナレルガ故ニ庫内ハ比較的冷涼ヲ保ツコトヲ得タリ元來同地方ハ別表ニ示ス如ク日々寒暖ノ差甚シキモ米質ノ變化ヲ見ズ

五、貯蔵ト晴雨トノ關係
米ハ水分ノ吸收力強ク、且速カナルモノナルガ四月ヨリ七月マテハ雨天多カリシ爲メ同期間解俵ノモノハ概シテ裨積ヘ多シ而シテ乾燥不長ノモノハ幾分變質セルモノアリ、又解俵調査ノ當日晴天ナルト雨天ナルトニ依リ貯蔵米ノ容量ニ多大ノ増減アリ

六、貯蔵ト倉庫トノ關係
貯蔵ト倉庫トノ關係ニ付本試驗ノ成績ニ照ラセバ奥藤家倉庫ノ貯蔵米ハ別表ニ示ス如ク十月解俵ノモノト雖殆ド容量不足ヲ告ゲズ、大西家倉庫ノモノハ九月解俵ノモノニ於テ既ニ減量ノモノアリ、而シテ野村家倉庫ニ貯蔵ノモノハ十月ニ於テ減量セリ、斯ノ如ク容量増減ノ狀況ハ各倉庫トモ異レリ、之レガ原因ヲ研究考査スルニ奥藤家倉庫ニ於テハ供試米以外ノ米ハ三月末ニ於テ出庫シ十二月間ニ五間半ノ大倉庫内ニ試驗米ノミ貯蔵シ加フルニ周圍ニ十ヶ所ノ窓アリ、土間ハ漆喰叩ニテ敷地モ他ノ倉庫ニ比シ冷涼ニシテ空氣ノ流通宜シク、野村家倉庫ニ

於テハ試驗米以外ノ積合セ米ハ七月中ニ殆ド出庫シテ試驗米ノモ殘存シ、土面ハ「コンクリート」ニテ固メ、四圍ノ窓アリテ空氣ノ内流通ク敷地ハ奥藤家倉庫ニ亞キ氣溫低キガ如シ、大西家倉庫ニ於テハ十月貯蔵試驗終了ノ期ニ至ルモ積合セ米滿積シ、且窓ハ一ヶ所ナル爲庫内蒸熱ヲ斷ズシテ空氣比較的乾燥セルガ如シ、而シテ米ノ乾燥良好ノモノハ各倉庫ヲ通シ殆ド容量ヲ減セズ、又十月ニ至ルモ容量ノ減セザルハ庫内ニ於ケル溫度ノ關係ニ依ルコト多シ、然レ共如斯倉庫ニ於テハ多少ノ數米ニ變質ヲ來スコトナシトセズ

本試驗ノ成績ニ依ルニ米穀貯蔵倉庫ヲ新設スル場合ニハ左記各項ノ設備ヲ要スルモノ、如シ
(イ)敷地ハ濕潤ニ失セザル程度ニ於テ幾分ノ水分アルヲ必要トス、乾燥ニ失スルトキハ庫内ニ蒸熱ヲ起シ容量ヲ減ズルコト多シ、濕氣多キトキハ梅雨期ヨリ土用中ニ於テ變質シ又ハ臺附腐蝕米ヲ出スコト多シ
(ロ)長期貯蔵ニハ滿積スルコト不適當ナルモノ、如シ、何トナレバ米ハ醗酵性ヲ有スルモノナルガ故ニ多數ノモノヲ堆積スルトキハ自然蒸熱ヲ發シ變質米ヲ生シ食味ヲ害スルコトアリ

(ハ)倉庫ハ合掌ノ上ニ土三四寸ヲ置キ其上ニ屋根桁ヲ組ミ屋根地ヲ拵ヘ合掌ト屋根地トノ中間ニ五六寸ノ空隙ヲ存シ、壁ノ厚サハ五寸以上トシ、太陽ノ射熱ヲ遮斷スル裝置ヲ設クルコト
(ニ)窓ハ三間ニ二ヶ所位ヲ明ケ下部ニ空氣抜ヲ設ケ晴天ニハ之レヲ開キ雨天ニハ之レヲ閉ヅルコト
(ホ)出入口ハ北向ニ設ルカ又ハ日光ノ直射セザル様樹木ヲ植附クルコト

(ヘ)倉庫ノ東、南、西ハ四五尺ノ間隔ヲ置キ太陽ノ射熱ヲ遮斷スベキ様樹木ヲ植附クルコト
(ト)倉庫内ハ常ニ低溫ヲ保ツ方法ヲ講ズルコト
米ノ長期貯蔵ノ場合注意ヲ要スルコト左ノ如シ
(イ)壁際ニハ約一尺位ノ空間ヲ置クヲ最モ可トス、然レドモ經濟上不可能ナルトキハ壁際ニ成ルベク間隔ノ生ズル様依摺木ノ大ナルモノヲ用ユルコト

(ロ)米俵ノ積ミ方ハ十俵又ハ十一俵以上ヲ重ネザルコト、下敷ニハ必ズ五寸角以上ノ臺木ヲ置クコト
七、貯蔵ト穀蟲驅除トノ關係
野村家倉庫ニ於ケル試驗米ニハ穀蟲發生セシニヨリ二硫化炭素燻蒸ヲ行ヒタル爲穀蟲ハ絶滅シタルモ八月以後ニ於テ解俵セシモノハ別表ノ如ク容量ニ不足ヲ生シタルモノ多シ、是レガ原因ヲ考究スルニ二硫化炭素ノ燻蒸ハ穀蟲驅除ニ偉大ノ効力ヲ有スルノミナラズ燻蒸セシ米ハ乾燥ヲ良好ナラシムルニ與ツテ力アルモノ、如シ、野村家倉庫ニ於ケル試驗米ニシテ五、六兩月ニ於テ解俵調査セシモノ、内乾燥不長ノモノニ多少ノ變質セシ形跡アリシモ燻蒸後ノ試驗米ハ乾燥不長ノモノト雖變質セザルノミナラズ其以前ニ比シ却テ乾燥良好ナルモノ、如シ

八、貯蔵ト包裝トノ關係

今回ノ試験ハ依米ノミヲ以テ之ヲ行ヒタルモノナレバ他ノ包裝ト比較對照シタル具體的成績ヲ得ル能ハザリシモ長期ノ米ノ貯藏ニハ「依」ニ優ル包裝ナシト云フテ憚ラズ、然レドモ製依ノ巧拙良否ニ依リ利害ノ異ナルハ明カナリ、古來依ハ「緊リ」ト云フ、又貯藏ノ依米ヲ檢スルニ奧藤家及大西家倉庫ニ於ケルモノハ充分能ク緊縮セルモ野村家倉庫ニ於ケルモノハ緊縮稍々不充分ナリシヲ以テ六月二十七日ノ解依時期ニ於テ甚ダシク穀蟲發生シ驅除ヲ爲サレバ土用以後ノ貯藏ハ不可能ナルヲ認メ七月二日一時他ノ倉庫ニ移シ穀蟲驅除ヲ行ヒ二日間ヲ經テ再ビ元ノ倉庫ニ貯藏セリ、奧藤家倉庫ノモノハ夏期僅少ノ穀蟲發生ヲ見タルモ其後自然絶滅シ十月試驗終了ノ際ハ穀蟲ノ影ヲ見ズ、大西家倉庫ハ前項ニ述ベタルガ如ク貯藏米以外ノ依米ヲ滿積シ倉庫内甚シク蒸熱ヲ催シタルニ拘ハラズ穀蟲ノ發生少ナシ、此兩家ノ倉庫ニ穀蟲驅除ノ必要ナカリシハ倉庫ノ位置及構造トノ關係ニ因ルモ亦依裝ノ緊縮如何ニモ因レテ知ルベシ

貯藏米ニ對スル依裝ノ重量ハ別表ノ如ク時日ノ經過スルニ從ヒ漸次減量ヲ見タルガ奧藤家倉庫ニ於ケル六、七月及野村家倉庫ニ於ケル七月分ニ限リ貯藏當時ノ重量ヨリ増加セリ、是レガ原因トシテハ前項ニ述ベシガ如ク庫内土間ノ漆喰叩キナルト土地濕分ニ富メルニ加ヘテ梅雨期ナリシガ故ニ外部ノ濕氣ヲ吸收シタルニ依ルモノナランカ、大西家倉庫ニ於ケル貯藏米ノ依裝ハ貯藏當時ノ重量ニ比シ減少スル一方ノミニテ梅雨期ト雖増加ノモノナキハ前項ニ述ベタルガ如ク倉庫内常ニ乾燥セルニ依ルモノ、如シ又別表ニ示セル如ク依裝ノ重量が多ク減ズルモノト否ラザルモノトアリテ是等ノ原因ハ原料粟ノ乾燥程度ノ差異ニヨリ生ゼシモノナルベシ

九、貯藏ト早、中、晚稻及品種ノ關係
早稻米ハ品種ノ如何ヲ問ハズ概ネ脂肪分乏シク土用後ニハ品質ヲ損シ食味惡シキ傾向アルヲ以テ長期ノ貯藏米トシテ中稻、晚稻佳良ナルガ如シ

十、貯藏ト乾燥及變質ノ關係
米ノ貯藏ニ最モ必要ナルハ乾燥ニシテ種類ニ依リ多少ノ差違アルモ本縣下生産米ニ於テハ大體一升ノ重量三百八十五匁以上ナルモノハ殆ド變質腐敗ノ虞ナシト雖三百八十五匁以下ノモノハ依裝ノ緊縮ヲ充分ニシ倉庫ノ設備完全ナラザルトキハ變質ノ厄ヲ免レ難シ又三百八十匁以下ナルトキハ梅雨期以後土用中ニ於テ變質ノ厄ニ罹ルヲ普通トス

十一、貯藏ト梅雨期前後ニ於ケル樹種及土用後ニ於ケル樹種ノ關係
米ノ膨脹期ニ於ケル増量程度及増量ノ時期ハ一定セルモノニ非ズ、其ノ原因多様ニシテ單純ナルモノニアラズト雖茲ニ増減ノ岐ル、重ナル原因ヲ舉ゲレバ左ノ如シ

- (イ)充實ノ完否
- (ロ)乾燥ノ良否
- (ハ)倉庫ノ乾濕程度

充實完全ニシテ乾燥充分ナルモノハ膨脹力強ク、否ラザルモノハ膨脹力微弱ニシテ殆ド増量ヲザルモノアリ、又梅雨ノ貯藏キキト濕潤トトハ大ニ膨脹力ニ影響ヲ及ボスモノニシテ別表試驗ノ結果ニ依ルトキハ奧藤家倉庫ニ於テ乾燥良好ノモノハ八九月、乾燥普通ノモノハ七八月、乾燥不良ノモノハ六七月ヲ以テ最大増量ノ期節トシ、大西家倉庫ニ於テハ七八月ヲ以テ最大増量期トシ、野村家倉庫ニ於テハ六月解依セシモノ増量最モ多カリシモ七月初旬穀蟲驅除ヲ行ヒテヨリ普通最モ多ク増量スベキ時期タル七八月ノ候ニ於テ増量ヲ見ザルニ至レリ、樹種ノ數量ヲ舉ゲレバ各倉庫ニ依リ多少ノ差異アルモ乾燥良好ナルモノハ一依二付一升八合、乾燥普通ナルモノハ一升六合、乾燥不良ノモノハ一升マテ膨脹スル力ヲ有スルモノト見テ差支ナカルベシ

十二、貯藏ト重量ノ關係
貯藏米ノ重量ハ貯藏後十月ニ至ル迄大體ニ於テ増減スルモノニ非ラザルモ別表ノ如ク樹種及樹種ノ關係ヨリシテ一升ノ重量ハ時々變動ヲ免レズ又米ハ品種ニヨリ量目ニ輕重アルモノニシテ大粒ハ小粒ニ比シ稍々輕ク而モ大粒種ハ種類ニ依リ甚ダシキ差異ナキモ小粒種ニ在リテハ種類ノ如何ニ因リ輕重ノ差多シ、赤穂種、成田ノ如キハ輕ク、東京種、勝軍ノ如キハ重シ

十三、貯藏ト穀蟲發生ノ關係
穀蟲ノ發生ハ乾燥ノ良否、依裝ノ完否、倉庫ノ適否ニ原因スルコト勿論ナリ、今回試験ノ結果ニ稽フルニ奧藤家、大西家ノ倉庫貯藏米ハ穀蟲ノ發生極メテ少ナキモ野村家倉庫ニ於ケル貯藏米ニハ穀蟲多ク發生シ驅除ヲ爲サレバ可カラザルニ至レリ、是レ前項ニ述ベタル如ク依裝緊縮ノ充分ナラザリシニ依ルモノ、如ク、又穀蟲ノ種類ニ依リテハ其發生趣ヲ異ニスル傾向アリ穀象、穀賊ノ如キハ品質ノ如何ヲ問ハズ乾燥ノ不良ナルモノニ發生スルモ穀蛾ハ腹白多ク脂肪分少ナク總テ種類ノ劣等ナルモノニ發生少ナク概ネ外皮薄ク甘味多キ優良ノ品種ニ發生シ易キモノ、如シ

十四、貯藏ト搗減ノ關係
搗減ノ多少ニ影響スル重ナル原因ハ左ノ如シ

- (イ) 籾ノ乾燥ト籾ノ充實トノ關係ハ別表ニ示セル如ク貯藏當時乾燥良好ニシテ能ク充實セルモノハ玄米一石二付一升乃至四升、普通ノモノハ五升乃至七升、不良ノモノハ八升乃至一斗一升位ノ搗減ヲ生ズルガ如シ
- (ロ) 早、中、晚稻ニ因ル搗減ノ歩合ハ別表ノ如ク奧藤家貯藏米中四、五、七月解依調査ノモノ、内小粒種ニシテ乾燥良好ナルモノハ早稻米ニシテ乾燥普通ノモノニ比シ搗減多ク從テ重量輕シ、之レニ依レバ早稻米ハ何種ヲ問ハズ中、晚稻ニ比シ概シテ搗減多ク重量輕キモノト知ルベシ

(ハ) 品種ニ依ル搗減歩合
早稻米ノ搗減多キハ前項ノ如クナルガ腹白多キ種類ハ腹白少ナキ種類ニ比シ搗減多キガ如シ

十五、精米機械ノ種類

石油發動機投杵

一斗
一斗重量
一分間ノ杵落

一斗張
二貫
五十八乃至六十回

奥藤家貯藏米

一五六

精米機名

名古屋市河合式精米機

大西家貯藏米

一分間……二百二十三回

杵回轉數

野村家貯藏米

壘輪

大阪今橋式摩擦機械
四分三十秒ニシテ一回轉チナセリ
輸出検査三等白米

十六、貯藏米ト白米トノ重量關係

別表ノ如ク乾燥ノ長否、品種ノ如何ヲ問ハズ米一升ノ重量三百九十四、五匁アルモノ又三百七十匁内外ノモノト辨精白ト爲シタルトキノ一升ノ重量ハ殆ド同一ニシテ三百七十匁乃至三百七十五匁ニ止マルモノナルガ之レガ原因タル米ノ重量ノ重キモノハ搗減少ナク輕キモノハ搗減多クシテ白米トナシタル正味ノ重量ハ別表ノ如キ結果ヲ呈スルモノナリ

十七、早、中、晩稻及品種ニ因ル白米其否ノ關係
別表ノ如ク精白シタルモノニ付調査セシニ早稻米及腹白多キ米ヲ以テハ「白面」良キ白米ヲ得ラザルモノトス、大粒種ニアリテハ雄町、山田種、政岡ノ類、小粒種ニアリテハ目ノ出、勇崎、薄皮等優良ノ白米ヲ得ベク、神力、器量好等ハ普通白米以上ニ出ル能ハズ

十八、産地ト早、中、晩稻及品種ニ因ル精米ノ關係
別表ノ如ク精白ノ程度ハ輸出三等米ヲ標準トシ各所同様ナルガ精米ニ於テハ各地各依トモ差異アルチ免レズ、之レガ原因ヲ攻究スルニ概テ左ノ如シ

(イ)産地氣候ノ寒暖ニ因ルモノ、如ク野村家倉庫貯藏米ハ奥藤、大西兩家ノ倉庫ニ貯藏セシモノニ比シ總テ精米多キハ生産地ナル丹波ハ播州ニ比シ寒氣ノ甚シキニ依ルナランカ
(ロ)品種ニ依リ精米ノ多少ノ差アルモノ野村家倉庫ニ於ケル九、十ノ二ヶ月分チ白米ト爲シタルモノハ他ノモノニ比シ精米甚ダ多キチ示セリ
(ハ)貯藏當時ヨリ三月ニ至ル間ハ解俵検査チ行ハザルチ以テ其ノ期間ニ就キテハ明言スルチ得ザルモ三月以後ニ於ケル毎月ノ精米調査スルニ三月ヨリ十月ニ至ル月々ノ精米調査増シタルハ時日ノ經過ニ隨ヒ外皮厚クナルモノナランカ
之レニ反シ時日ヲ經ルニ隨ヒ搗減り多キハ別表ニ依リ明カナリ而シテ乾燥良好ナルモノハ概テ精米少ナク乾燥不良ナルニ從ヒ精米量チ増ス、精米ノ重量ハ別表ノ如ク米ノ乾燥良好ナルモノハ輕ク乾燥ノ劣ルニ從ヒ増スモノ、如シ、白米ト精米ノ關係ニ就キテハ一回チ重キチ試驗チ行ハハ一層興味アル事實ヲ發見スルコト、信ズ
碎米ノ數量ハ別表ノ如ク乾燥佳良ナルモノニ少ナク、其ノ不良ナルニ從ヒ多ク生ズルモノナリ、碎米ノ重量ハ乾燥優ルモノノ比較的重ク其ノ劣ルモノ輕シ

十九、白米トナシタルモノ、置減リ關係
奥藤家、大西家、野村家ノ三倉庫ニ於テ貯藏セル米ヲ精白後奥藤家ノ分ハ三十日間貯藏シ其間第三日ヨリ六回、大西家ノ分ハ十一日間貯藏シ第二日ヨリ四回、野村家ノ分ハ十日間貯藏シ翌日ヨリ四回ニ涉リ容量及重量チ調査セシニ容量ハ第一日ニ於テ全減量ノ大部分チ減シ其後ハ大ナル異變ヲ見ズ、重量ハ日數ノ經過ニ從ヒ漸次減量セリ

米穀貯藏試驗成績表

奥藤家倉庫

次月	別種粒	別種品	別晚中早	貯藏當時		解俵當時		精搗		米		精搗		貯藏期間	貯藏平均溫度	産地名
				量重	量容	量重	量容	量重	量容	量重	量容	量重	量容			
大	岡山天狗	中	中	一六八〇〇	四〇〇〇	一三六〇〇	三六〇〇	一三三〇〇	三六〇〇	一三九〇〇	三六〇〇	一三三〇〇	三六〇〇	—	—	高雄村
雄	中	上	否	一六八〇〇	四〇〇〇	一三六〇〇	三六〇〇	一三三〇〇	三六〇〇	一三九〇〇	三六〇〇	一三三〇〇	三六〇〇	—	—	高雄村
町	中	中	是	一六八〇〇	四〇〇〇	一三六〇〇	三六〇〇	一三三〇〇	三六〇〇	一三九〇〇	三六〇〇	一三三〇〇	三六〇〇	—	—	高雄村

備考	月十		次月
	平大	粒	
鼠喰ハ平均ニ算入セス	均小	神均	別種粒
		力均	別種品
		晚中	別晚中早
		下	否真燥乾
		量重	貯
		量容	藏
		量依	當
		量一升	時
		量重	解
		量容	俵
		量依	當
		量一升	時
	間時	精搗	
	量容	精	
	量重	米	
	量一升容	碎米	
	量重	容	
	合步	精搗	
	數日	藏貯	
	溫度	平均	
		貯藏	
		產地	
		地名	

備考	粒小		粒大		種別
	下	中	下	中	
表中太字ハ各調査日間ニ於ケル減量ヲ示ス	均小	神均	別種粒	別種品	別種品
		力均	別晚中早	別晚中早	別晚中早
		下	否真燥乾	否真燥乾	否真燥乾
		量重	貯	貯	貯
		量容	藏	藏	藏
		量依	當	當	當
		量一升	時	時	時
		量重	解	解	解
		量容	俵	俵	俵
		量依	當	當	當
		量一升	時	時	時
		間時	精搗	精搗	精搗
	量容	精	精	精	
	量重	米	米	米	
	量一升容	碎米	碎米	碎米	
	量重	容	容	容	
	合步	精搗	精搗	精搗	
	數日	藏貯	藏貯	藏貯	
	溫度	平均	平均	平均	
		貯藏	貯藏	貯藏	
		產地	產地	產地	
		地名	地名	地名	

置減試驗成績表

赤穂郡坂越村 奥藤家倉庫

備考	月四		月三		次月
	平大	粒	平大	粒	
鼠喰ハ平均ニ算入セス	均小	神均	別種粒	別種品	別種品
		力均	別晚中早	別晚中早	別晚中早
		下	否真燥乾	否真燥乾	否真燥乾
		量重	貯	貯	貯
		量容	藏	藏	藏
		量依	當	當	當
		量一升	時	時	時
		量重	解	解	解
		量容	俵	俵	俵
		量依	當	當	當
		量一升	時	時	時
		間時	精搗	精搗	精搗
	量容	精	精	精	
	量重	米	米	米	
	量一升容	碎米	碎米	碎米	
	量重	容	容	容	
	合步	精搗	精搗	精搗	
	數日	藏貯	藏貯	藏貯	
	溫度	平均	平均	平均	
		貯藏	貯藏	貯藏	
		產地	產地	產地	
		地名	地名	地名	

米穀貯藏試驗成績表

大西家倉庫

粒大	別種	置減試驗成績表									
		第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	第七日	第八日	第九日	第十日
中	上	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5
100	100	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5

鼠喰		鼠喰		鼠喰	
月	十	月	十	月	十
平大	粒小	粒大	粒大	平大	平大
均小	均小	均小	均小	均小	均小
147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5

鼠喰		鼠喰		鼠喰	
月	九	月	八	月	八
粒小	粒大	粒小	粒大	粒小	粒大
均小	均小	均小	均小	均小	均小
147.5	147.5	147.5	147.5	147.5	147.5

